デジタルツールで描く！
魅力を引き出す
女の子の服の描き方
かわいい服でドレスアップ！
洋服から靴、カバンまで女の子のかわいい服や小物を
ガーリー、フェミニンなどのスタイル別に解説!!
マイナビ

デジタルツールで描く！
魅力を引き出す
女の子の
服の描き方
マイナビ

● はじめに ●

この本をお手に取っていただきありがとうございます。本書「デジタルツールで描く！魅力を引き出す女の子の服の描き方」は、絵に描き起こすのが大変といわれている女の子の洋服の描き方をまとめた本です。

かわいい女の子を描く上でキャラに似合う服を描けることは重要ですが、女性の服は種類やパーツが多く
「服の描き方がわからない」
「シワや影がうまく描けない」
というふうに、服を描くのは難しいという声を聞きます。
さらに、日常の私服といった洋服になると学校の制服のように形が決まっているわけではないため現代ファッションに関する知識まで必要になり、
「調べても種類がありすぎて把握しきれない」
「そもそも似合う服がわからない」
など、着せる服を一つ決めるのにも多大な時間がかかり、意欲がしぼんでしまうことも少なくありません。

そこでこの本では、ガーリー、フェミニン、カジュアルなどの女性の代表的なファッション 22 種を「キュート系」、「アクティブ系」、「クール系」という 3 つのカテゴリーに分類し、各ファッションを描く上で押さえたい特徴や代表的な洋服の描き方を、それぞれのファッションごとにピックアップして収録しました。

もし「自分はあまりファッションに詳しくないな…」と思っている人でも、この本の中で気に入ったファッションがあれば、その特徴を読み、描き方の手順に沿って自分のキャラに代表例の洋服を描いていくだけでも、簡単にそのテイストのファッションを着せることができます。また、同じテイストを持つ作例やコーディネートの例も収録していますので、慣れてきたら違う服や別のテイストのファッションとの自由な掛け合わせも楽しんでみてください。

本書がこの本を手に取ってくださった方にとって、「女の子の服を描くのは楽しい！」と思えるきっかけになることができましたら幸いです。

スタジオ・ハードデラックス

本書の使い方 how to use this book?

●女の子の服の描き方がわかる＆資料として使える

本書は、イラストや漫画における女の子キャラに似合う洋服の描き方に特化した解説書です。多彩な作風で描かれたさまざまな洋服の特徴と制作ポイントをファッションスタイル別に収録していますので、ファッション資料としてもお使いいただけます。

① 各ページで解説する項目のテーマと概要。本文中では、服装の特徴が表れている点や似合うキャラ、組み合わせに向いてるほかのテイストなどを解説しています。

② キャラや服の作例イラスト。カラーイラストはそのスタイルの中でも特徴的な要素を多くおさえたコーディネートの例を掲載しています。

③ 各ファッションテイストを表現する上で押さえるポイント。種類が多いスタイルではバリエーションを広げるために追加で押さえておくべき要素も解説しています。

④ 服の描き方を紹介する手順イラスト。主にカラーイラストで紹介した洋服を中心に、服を描いていくやり方やポイントを解説しています。

●各章について

第1章 女の子の服のきほん

本書で紹介するファッションスタイルのおおまかな分類、洋服をコーディネートするために知っておきたい知識の解説、色の選び方、似合う洋服の選び方といった基礎知識を紹介。章末コラムでは本書に出てくるファッション用語を解説します。

第2章 キュート系の洋服

ガーリー、フェミニンに代表される「かわいらしさ」を重視したファッションスタイルと、それぞれのテイストを押さえた特徴的なアイテムやコーディネート例を紹介します。

第3章 アクティブ系の洋服

カジュアルを中心にしたラフな洋服やスポーティ系、アウトドア系などに見られる機能性を重視した服など、「動きやすさ」に軸を置いたスタイルとアイテムを紹介します。

第4章 クール系の洋服

エレガンス、コンサバといった上品なスタイルからゴシック、ロックなどの個性的なスタイルまで、女性的な「かっこよさ」を表現するスタイルを紹介します。

第5章 ルームウェア＆アウター

自宅でリラックスするルームウェアや秋冬向けの装いであるアウター類、服の印象付けに役立つ柄・模様の紹介など、表現の幅を広げるアドバイスを紹介します。

CONTENTS

第1章
女の子の服のきほん

さまざまなファッションスタイル

現代の女の子のファッションは、日常的なラフな格好から日本で独自に発展した個性的なスタイルまで幅広いジャンルが存在します。その中でも特に女の子を魅力的に見せるスタイルを紹介していきます。

キュート系

女の子らしさを追求したガーリー、ちょっと大人の女性らしさを引き立てるフェミニンのほか、物語の世界から飛び出してきたような幻想的な服が特徴のメルヘン、ロリータなど何よりも「かわいらしさ」を重視したスタイルです。

ガーリー

ガーリー
（バリエーション）

ロリータ

メルヘン

アクティブ系

「動きやすさ」と女の子らしさを融合させた活動的な印象のスタイル。私服の代表格であるカジュアル系統を筆頭に、屋外活動向けの服を街着に落とし込んだアウトドア、スポーティなど機能性とかわいさを両立させたファッションが特徴です。

クール系

かわいさだけに留まらない、女性の「かっこよさ」も魅力に変えるのがクール系のスタイル。気品あふれるエレガンスや芯の強さを感じさせるロック、独自の世界観を表現するゴシックなど、ほかの系統にはないスタイリッシュさを追求したファッションです。

ファッションスタイルの傾向

ファッションには都会的、民族的などそれぞれのスタイルが持つイメージがあり、長い歴史の中でそれらは８つのイメージに大別されてきました。ここでは本書で扱うスタイルのイメージを紹介します。

ファッションイメージの相関図

相関図は対象的なファッションイメージを４組に並べて構成しています。日本独自に誕生したファッションなどもあるためすべてがこの図の中に当てはまるわけではありませんが、各ファッションが持つイメージのおおまかな傾向は把握することができます。

モダン（現代的）

ソフィスティケート（洗練、都会的）
モード
トラッド

マニッシュ（男性的）
ロック
ストリート

エレガンス（優雅、上品）
コンサバ
フェミニン

カジュアル
アメカジ
キレカジ
セレカジ　など

アクティブ（活動的）
スポーティ
アウトドア

ロマンティック（空想的、少女的）
ガーリー

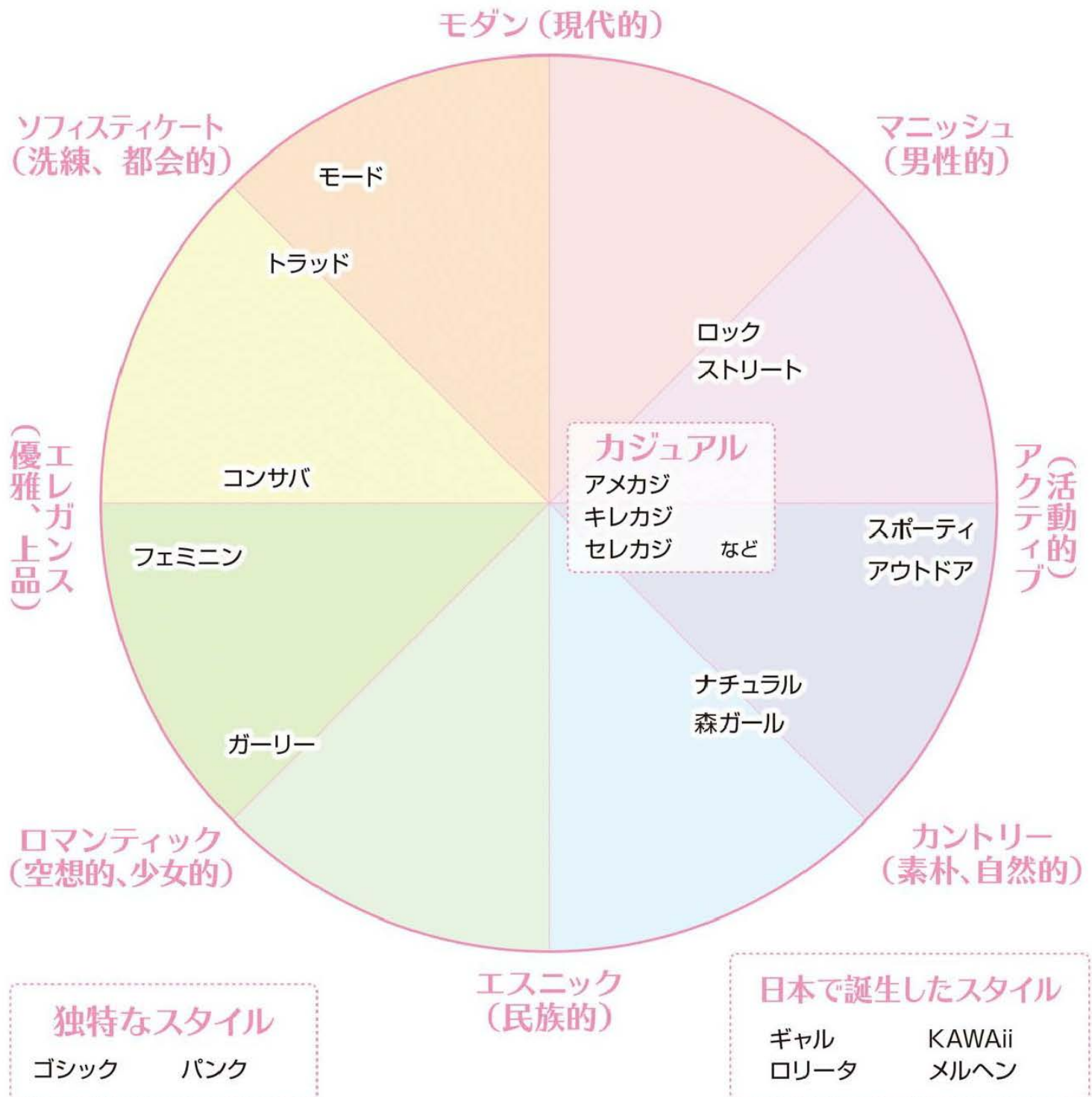
カントリー（素朴、自然的）
ナチュラル
森ガール

エスニック（民族的）

独特なスタイル

ゴシック　パンク

日本で誕生したスタイル

ギャル　KAWAii
ロリータ　メルヘン

対象的なファッションスタイル

モダン（現代的）対エスニック（民族的）のように、相関図で対極の位置にあるイメージのファッションは正反対の性質を持っています。

ファッションの組み合わせは自由

相関図はあくまでイメージの関連性を図にしたもので、実際のファッションに制限を加えるものではありません。服の組み合わせはあくまで個人の自由です。

エスニックなスカートにカジュアルなカットソーを合わせたアクティブさを感じさせるエスニックスタイル。

ガーリーな白ワンピースにカジュアルなデニムジャケットを合わせて総合的にカジュアルな印象に。こういった着方も現代ではよく見られます。

Lessons 03

ファッションの基本と種類

ファッションスタイルは身に付ける衣服だけでなく、靴やバッグなどの小物も組み合わせた総合的なコーディネート（コーデ）で印象が決まります。基本的な服の呼び方や、服の種類を見ていきましょう。

洋服の呼び方

シャツやブラウスのような上半身に身につけるものはトップス、下半身に履くものはボトムスなど、部位や役割によって総称が異なります。女性服の場合は、上下が一体化しているワンピースもあります。

ワンピース

トップスとスカートが一体化した女性服。本来はワンピースドレスの略称で、フォーマルな作りのワンピースはドレスとして扱われます。

小物（ベルト）

小物（バッグ）

肩にかけるショルダーバッグ、手に持つクラッチバッグなど多くの種類があります。携行品として必須のアイテムなので、色や形がコーデに大きく影響します。

小物（帽子）

キャップやハットなど形や装飾が異なるものがたくさんあります。衣服の系統に合わせたものを着用するのが基本です。

アウター

トップスの上に羽織る服の総称です。ジャケット、カーディガン、ロングコートなど大きさや形状が異なるものが多様にあります。

上半身に着る服の総称でシャツ、ブラウスなどを指します。ワンピースの上半身側をトップと呼ぶこともあります。

ボトムス

下半身に身に付ける服の総称。スカートとパンツのような形状が異なるものや長い短いなどにかかわらず、すべてがボトムスとして扱われます。

パンプスやサンダル、スニーカーなどがあります。バッグと同じく必ず身に付けるアイテムなので色や形のバランスが重要になります。

靴

洋服の種類

トップス

女性らしい印象のものはブラウスやシャツが中心。透け感のあるレースやかわいらしいフリルがついたものがあります。ラフなカジュアルトップスとしてはＴシャツやカットソーなどもあります。

アウター（羽織着）

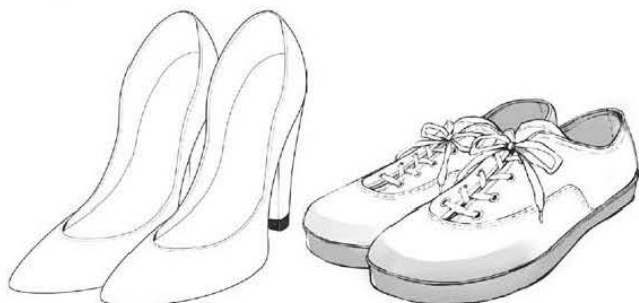
カーディガンやボレロのようなやわらかい女性らしいシルエットのほか、デニムジャケット、スタジアムジャンパー、テーラードジャケットのようなメンズライクなアイテムも活用されます。

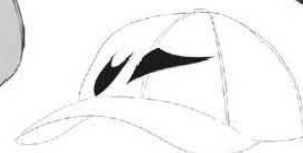
ボトムス

スカートには裾が広がるフレアタイプ、タイトなタイプなどさまざまなバリエーションがあり、丈の長さでも印象が変わります。パンツも細身なものからラフなものまで幅広い選択肢があります。

ワンピース

少女らしいものはスカートが広がるフレアタイプが中心。大人向けになるとスカートやウエストが絞られたタイトタイプが中心になります。ウエストの絞り位置が普通かハイウエストかでも印象が異なります。

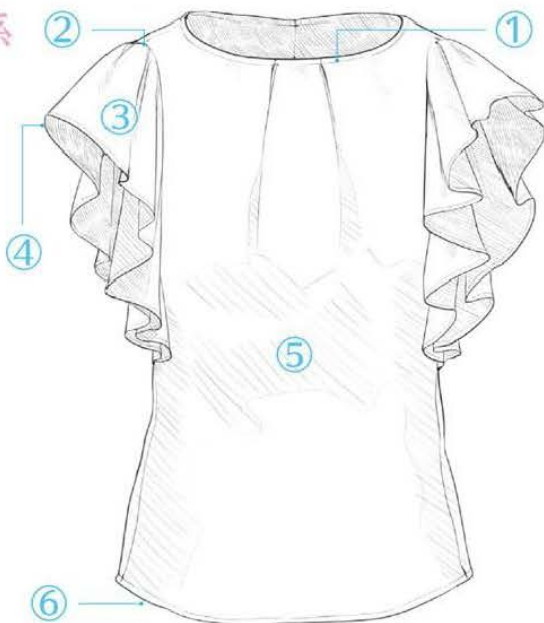
シューズ

ヒールがあるパンプスやサンダルは女性的なテイストの服で広く活用され、足先やかかと部のデザインにも個性が表れます。カジュアル系などのラフなコーデにはスニーカーなどのメンズライクなアイテムも活躍します。

小物

必需品のバッグをはじめ、帽子、時計、イヤリングやブレスレットといったアクセサリーなどさまざまなアイテムがあります。主役ではなくあくまでワンポイントとしてアクセントを加えるために活用されるケースが大半です。

洋服のしくみと名称

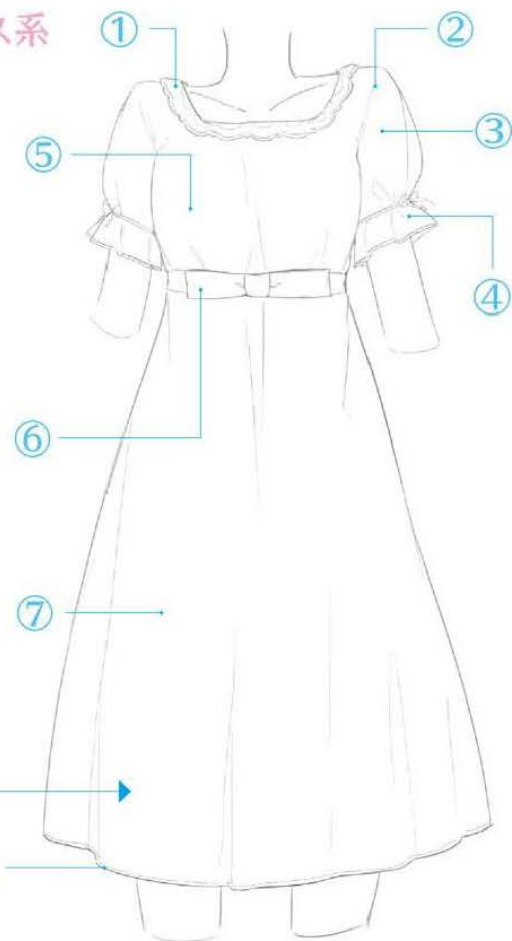
トップス一つをとっても多彩なデザインがある洋服ですが、服の構造や各部位の呼び方はある程度共通しています。それぞれの服を描く上で、最低限おさえておきたい構造と名称を紹介します。

ブラウス系

①襟元
②肩口
③袖
④袖口
⑤前身頃
⑥裾

シャツ系

①襟
②前立て
③肩口
④袖
⑤袖口
⑥前身頃
⑦裾

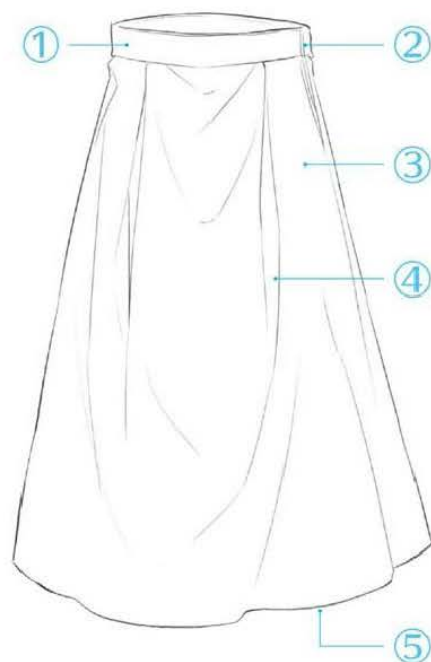
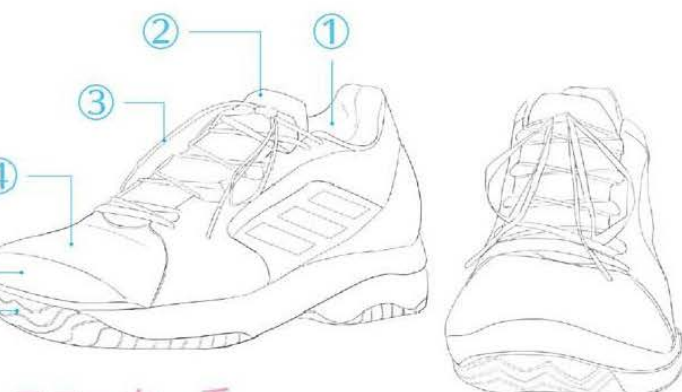
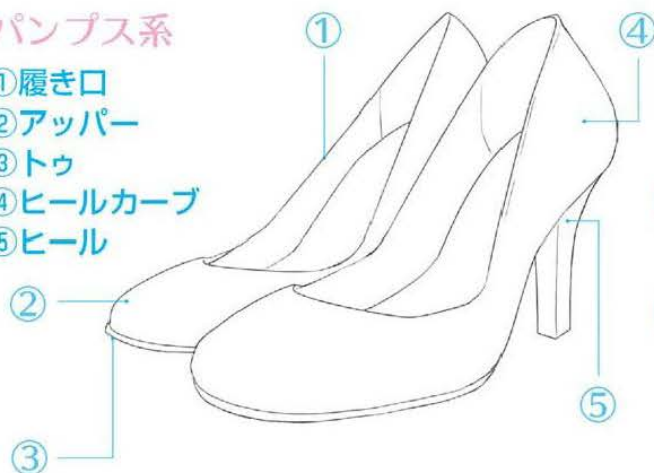
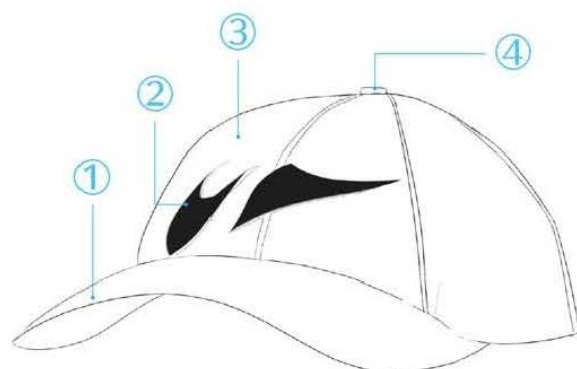
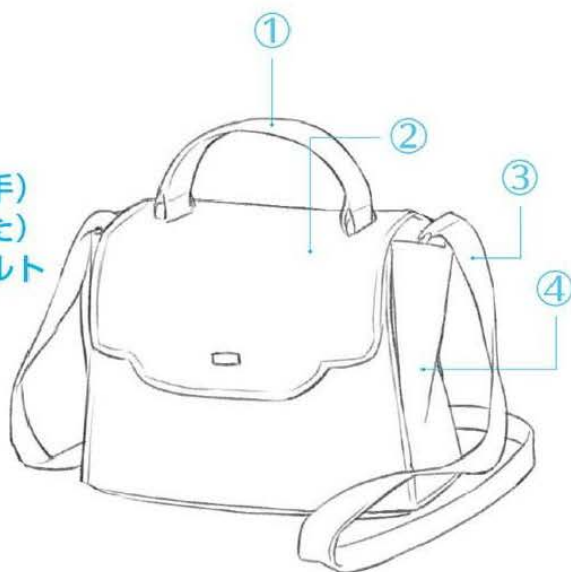
ワンピース系

①襟元
②肩口
③袖
④袖口
⑤前身頃
⑥ウエスト
⑦スカート
⑧裾

襟元から裾に向かってアルファベットの「A」のように広がったスカートの種類を「A ライン」と呼びます。

パンツ系

①ウエストベルト
②ベルトループ
③フライ
④ポケット
⑤アウトシーム（縫い目）
⑥前身頃
⑦裾

裾の部分を折ったスタイルを「ロールアップ」と呼びます。

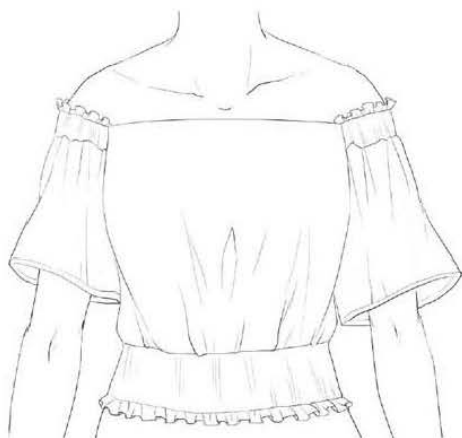
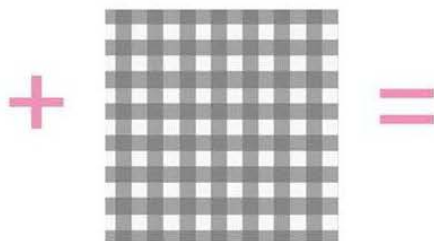
ジャケット系
①襟
②肩口
③袖
④袖口
⑤前立て
⑥ボタンホール
⑦裾
⑧ポケット
⑨ボタン
⑩前身頃
スカート系
①ウエスト
②ホック
③前身頃
④タック
⑤裾
パンプス系
①履き口
②アッパー
③トゥ
④ヒールカーブ
⑤ヒール
スニーカー系
①履き口　②タン（べろ）　③靴ひも　④アッパー
⑤トゥ　⑥靴底
バッグ系
①取っ手（持ち手）
②フラップ（ふた）
③ショルダーベルト（バンド）
④マチ
帽子系
①ブリム（つば）　②ロゴマーク　③クラウン
④天ボタン（天）

柄や小物の役割

柄には季節感やファッションイメージを与える効果があり、柄物の服を使うとテイストを大きく変えることができます。一方で、小物はコーデにまとまりを持たせる仕上げアイテムになります。

柄を貼るだけで別テイストに

同じ形の服でも、無地と柄入りでは印象が大きく異なります。柄や模様が持つイメージ（P138）を参考に、柄物の服を用いて好みのテイストを表現してみましょう。

ボーダー

ナチュラルめのシンプルな無地のカットソーがボーダー柄でカジュアルなカットソーに変身。重ね着にも使えるアイテムになりました。

ギンガムチェック

きれいめの落ち着いたオフショルダーの白ブラウスをギンガムチェックにすると一気にガーリーアイテムへと変わります。

花柄

カジュアルな無地のスカートに花柄が加わることで、落ち着きと上品さが漂うフェミニンな花柄スカートに。生地の色も変えるのがポイントです。

小物はコーデを支える必須アイテム

せっかく服を描いたけれど物足りない、理想のスタイルにはもう一声ほしい、といったときには、小物で印象を変えると全体をまとめやすくなります。

帽子をかぶる

モードっぽいツートンカラーながら顔が甘くギャルっぽさも感じる女の子。パンツや襟と同系色の黒いハットをかぶることで、全体の統一感を強調し、イメージをモードで固定しています。

サングラスをかける

大胆な切り替えワンピースにイヤリングやブレスレットのアクセで決めた女性。きれいな顔に視線がいきがちだったところに、サングラスで目元を隠すことで全体のコーデを主役に押し上げています。

バッグを持つ

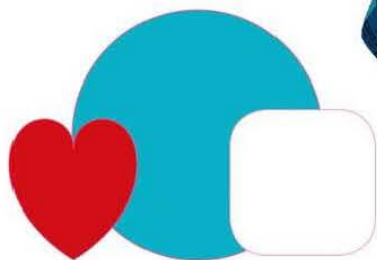
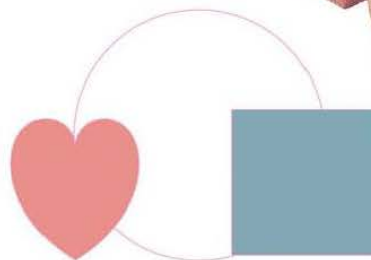
ノースリーブのトップスとタイトスカートにロングのアウターとスタイリッシュな雰囲気の女性。クラッチバッグを持つことで全体が引き締まり、大人のお姉さん風のエレガンスさが加わりました。

色の選び方

使い方一つで印象を大きく左右する色。描いてもしっくりこないときは、メインカラーを決める、各スタイルのイメージカラーに合わせるなど、パターン化された選び方から決めてみるのもおすすめです。

メイン・サブ・アクセントの色を決める

一番多く使うメインカラーを１色選び、二番めに使うサブカラー、差し色などのアクセントにするアクセントカラーを決めて計３色でまとめる方法。色数を絞ることで全体にまとまりが生まれやすくなります。

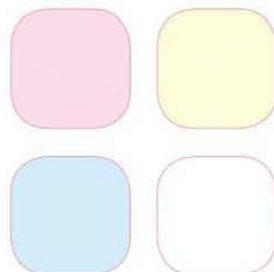
メイン：ターコイズブルー
サブ：ホワイト
アクセント：レッド

メイン：ホワイト
サブ：デニムブルー
アクセント：ピンク

色が持つイメージで選ぶ

女の子らしさが出るピンク、クールで知的な黒、など色自体が持つイメージを軸にして色を決める方法。ワントーンでまとめつつ、同系色か差し色のアクセントカラーを使うとシンプルながら洗練された印象になります。

アクティブ

クール

スタイルごとのイメージカラーにあわせる

気品のあるエレガンスなら高級感を感じさせるグレイッシュトーンの紫系、個性的でファンシーなKAWAii系ならパステルカラーのピンクやイエローなど、スタイルそのものが持っている色を使うと失敗を避けやすくなります。

季節にあった色を使う

夏は爽やかな白や青色主体、秋はマットで彩度低めの色など、春夏秋冬の四季から連想するイメージカラーや柄を服の彩色やコーデに反映させる方法です。多くの人の共通認識となっている色でまとめることで統一感を出します。

キャラタイプ別服装の選び方

自分のキャラにどんな服を着せたらいいのかわからない、というときはキャラのタイプからイメージで決めてしまうのも手です。ここでは、編集部の視点で分類したキャラタイプ別のおすすめテイストを紹介します。

かわいいヒロインタイプ

かわいさを前面に押し出したい、ヒロインらしいかわいい服を着せたいという場合には、少女感の強いガーリーや甘めの服が多いメルヘン、ロリータ系のテイストがおすすめです。

おすすめテイスト
○ガーリー　○メルヘン
○ロリータ

優しいお姉さんタイプ

少女っぽさよりも大人びた女性らしさを出したいというときは、フェミニンやキレカジなどのきれいめでありながらほどよくラフで開放感のあるテイストでお姉さん感を出しましょう。

おすすめテイスト
○フェミニン　○カジュアル
○キレカジ

コミュ力高いポジティブタイプ

誰とでも仲良くなれるような明るいタイプのキャラであれば、アメカジやストリートなどアクティブな印象が強いテイストでまとめるのが似合います。

おすすめテイスト
○アメカジ　○ギャル
○ストリート

クールな大人の女性タイプ

経験豊富で大人の魅力あふれる女性キャラは、セレカジやエレガンスのようなラグジュアリー感のあるテイストで余裕のある雰囲気を醸し出しましょう。

おすすめテイスト
○セレカジ　○エレガンス

行動力がある アクティブタイプ

考えるより先に行動してしまう、一人で旅に出たりするようなバイタリティあふれるキャラには、アウトドアやスポーティなどの活動的なファッションが向いています。

おすすめテイスト

○アウトドア
○スポーティ

自分を持っている 個性派タイプ

人とは違う感性やぶれない芯の強さを持ったキャラであれば、モードやロックなどのクール系ファッションがマッチします。独自の世界観を持ったキャラならゴシック、あるいはKAWAii系もアリです。

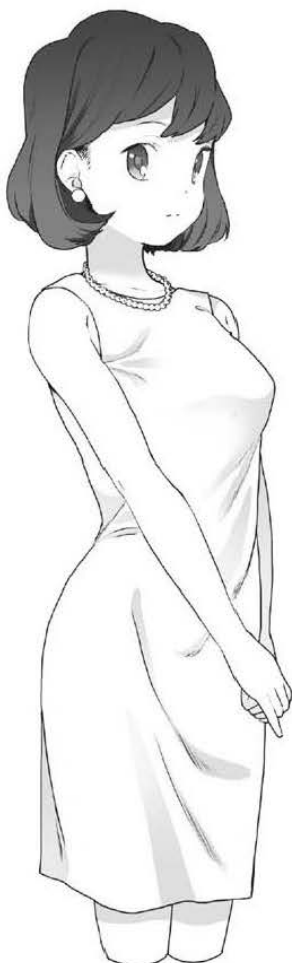
おすすめテイスト

○モード　○ロック
○ゴシック　○KAWAii

落ち着きのある お嬢様タイプ

規律や規則を守る品行方正なキャラや箱入り娘などのお嬢様キャラであれば、淑女感のあるコンサバや伝統とカジュアルさをミックスしたトラッドのテイストがおすすめです。

おすすめテイスト

○コンサバ　○トラッド

自然体の マイペースタイプ

枠にとらわれない自由人、ほんわかしていて何にも流されないようなマイペース系キャラは、ナチュラル、森ガールなどのゆるい自然派テイストや、エスニックのような民族風のテイストを取り入れてみましょう。

おすすめテイスト

○エスニック　○ナチュラル
○森ガール

Column

ファッション用語集

●アースカラー
茶色やカーキなど、自然や大地を想像させる落ち着いた色の総称。

●アッパー
靴のパーツのうち、足の甲を覆う部分のこと。

●甘辛コーデ
可愛らしさ（甘）をベースに、それを引き締めるカッコよさ（辛）も取り入れたコーデのこと。

●甘ロリ
優しげで可愛らしい色合いを基調としたロリータスタイルのこと。

●カジュアルダウン
カジュアルな着こなしをよりカジュアルな方向へと着崩すこと。

●ケーブル編み
立体的で、縄のようなねじれた模様をつくるニットの編み方。

●こなれ感
オシャレな服装を無理なく、自然体に着こなしている様子のこと。

●シック
品よく落ち着きがあり、洗練されている様子のこと。

●シルエット
衣服そのものの形状や、それを着たことによってできる輪郭のこと。

●ドレッシー
フォーマルな場で着用するような、改まった品の良さがある格好のこと。

●ドレスダウン
フォーマルな着こなしをカジュアル寄りへと着崩すこと。

●ドレープ
ゆとりのある布を垂らしたとき、その動きに沿って自然にできるひだのこと。

●ネックライン
トップスの襟ぐりの形のこと。顔周りの印象を大きく左右します。

●外し
個性を表現するために意図的に定石から外した異質点、およびそれを作る行為のこと。

●プチプラ
値段は安いが、そうは見えない華やかさや実用性を持っているアイテムのこと。

●フラップ
アウターのポケットや鞄の口につく、雨除け用のふたのこと。

●プリーツ
ハッキリと折り山ができ、立体感のあるひだのこと。主にスカートに用いられます。

●マニッシュ
男性的なこと。スーツスタイルをベースにした服装に使われる傾向があります。

●身頃
トップスの構造のうち袖や襟を除いた、胴体を覆う部分のこと。

●メルトン
ウールなどを圧縮したのち起毛させ、フェルトのような質感にした厚手の生地。

●メンズライク
男性的なこと。マニッシュと比べカジュアル寄りな服装に使われる傾向があります。

●リブ
縦に入った線が特徴的な伸縮性のある編み。アウターの袖口やセーターに使われる。

第2章

キュート系の洋服

ガーリーテイスト

フリルやリボン、花柄といった女の子らしいかわいさを強調する甘めなテイストや、やわらかく軽快な雰囲気を重視したスタイル。色味も明るく優しげな、純粋無垢なイメージを高めるものが好まれます。

白ワンピースコーデ

純白のワンピース、ウエストや袖口にあしらわれた赤いリボン、ワンピースと色合いを統一した白ソックスとローヒールのパンプスでまとめた可憐なコーデ。手首や首元のさりげないアクセサリーがちょっと大人の顔をのぞかせるガーリッシュな装いです。

POINT

“ガーリー”のポイント

①ワンピースや甘く優しい色使いで少女感を引き出す

ガーリーな雰囲気づくりで重要なのは、ふんわりとした空気感を表現することにあります。ワンピースの軽やかさや白とパステル系中心のカラーリングで女の子らしい甘さを存分に引き出し、かわいらしさを印象づけましょう。

②定番のリボンで女の子らしいアクセントをプラス

女の子らしさあふれる装飾といえば、やっぱりリボン。複数使う場合は色味を全体で統一しつつ、服装中のアクセントや小物のデザインにさりげなく取り入れていくことで、コーディネートの華やかさがグッと増します。

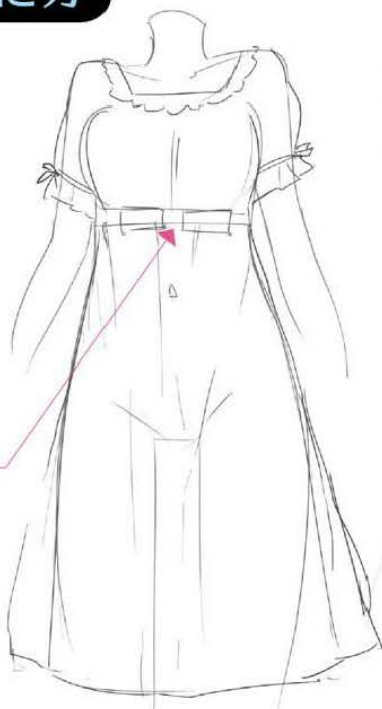
③小物使いであどけなさを魅力に変える

足元も丸みのあるローヒールなパンプスでソフトなイメージにまとめるとかわいらしくなります。どこか幼さを感じさせる白のショートソックスと合わせることで純粋無垢な雰囲気が増し、ガーリーな印象がより高まります。

ワンピースの描き方

①おおまかなアタリを描く

体のアタリを描き、その上にワンピースのアタリを描きます。袖口のリボンや襟元などの装飾もおおまかに描いていきます。

ワンピースのウエストは実際の腰よりも少し高めのハイウエストの位置にする

②襟元や袖、ウエスト周りを描く

アタリを整えてウエストから上の部位を清書していきます。襟は花びらをイメージして弧を縁や内側にいくつも描いて装飾的にします。

胸や袖口の絞られている箇所にはシワを描き入れる。袖口は少し斜めになるように

③スカートを描く

膝丈ほどの位置に裾の線を描き、裾に向かって広がるAラインの形状を意識しながら、ゆるやかなフレアスカートに仕上げていきます。

袖リボンの結び目は袖の外側につける

④袖口やウエストにリボンを描く

袖口やウエストに絞りを入れているリボンの形を描いていきます。袖口は小さめのリボン、ウエストは大きなベルト状のリボンにしてメリハリをつけましょう。

奥まっている腰の端ら辺に影を入れると立体感が出る

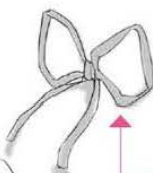
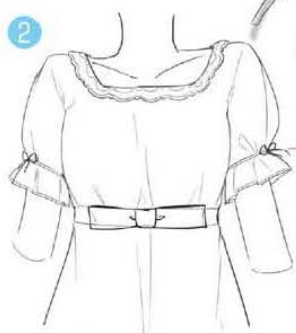
リボンの描き方

まずウエストの中央にリボンのアタリを、袖の部分には平筆のような太いペンでリボンの輪とひもを描きます。次にウエストのリボンはベルトに沿うようなサイズで形を描き、袖口のリボンはアタリを細いペンでなぞって線を２重にしていきます。

①

②

拡大図

平筆でアタリを描く

⑤仕上げて完成

全体のシワの間やウエストの両端などに影を描いて完成です。やわらかい生地のため、裾から伸びるスカートのシワも短くまばらにします。

ブラウス&スカートコーデ

清潔感のあるショート丈の白ブラウス、花柄の膝上丈スカート、ベルト、ショルダーバッグ、アンクル（足首）ストラップサンダルを組み合わせた爽やかな夏色ガーリッシュコーデ。髪を片方だけリボンで結び、ワンポイントにすることで甘めな印象に仕上げています。

POINT

"ガーリー"のバリエーション

①ゆるめのシルエットを適度に取り入れる

清楚な雰囲気を漂わせる白のブラウスはガーリーコーデの基本。広めに開いた襟ぐりやワイドめの袖などほどよくシルエットをふんわりさせることで、ガーリーらしいやわらかい印象を持たせることができます。

②鮮やかな柄スカートで大人びた一面を演出

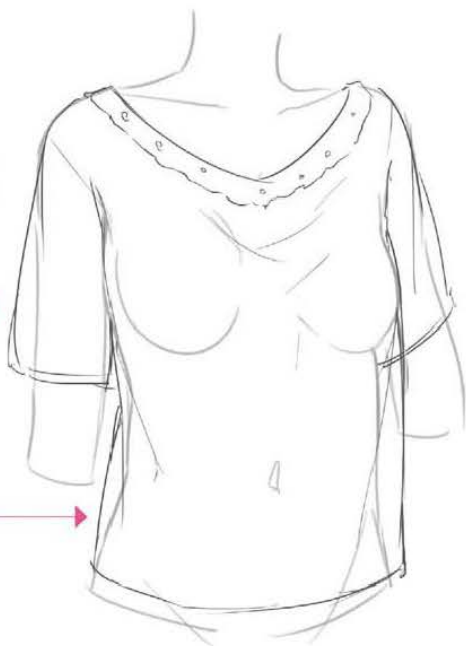
花柄を全面に用いたスカートなどは、ガーリーな印象バツグンの定番アイテムです。鮮やかな花の色彩とベース色の黒との対比が、柄の華やかさを引き立てつつ少し大人びた雰囲気も感じさせます。ストレートなスカートの場合は丈を短めにするとほどよく引き締まります。

③小物を使って色合いに統一感を持たせる

上手な小物使いの基本は、色合いのどこかに統一感を持たせることです。バッグとベルトをブラウンで合わせる、リボンはブラウス、サンダルはスカートの柄と近い系統の色味を選ぶなど、小物を利用して全体にまとまりを出すのがポイントです。

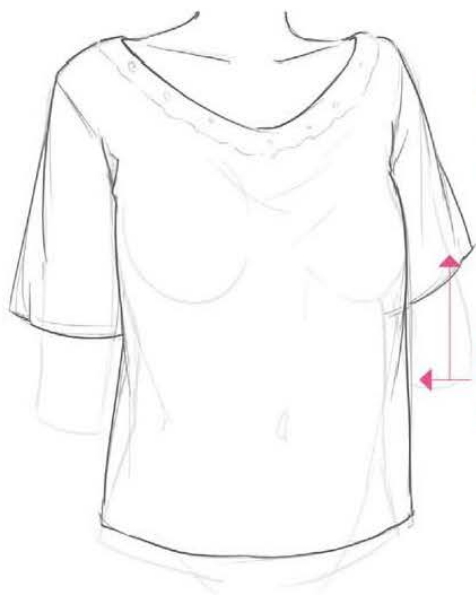
ブラウスの描き方

①ブラウスのアタリを描く

上半身とブラウスのアタリを描きます。胸、肩、腰周りを参考に、ブラウスの襟や全体の形をおおまかに作っていきます。

②襟、袖口、裾の線を描く

体が露出する襟元、袖口、裾の部分の線を整えていきます。襟元は体の鎖骨も描いておくと目安にしやすくなります。

③袖と前身頃の線を描く

②で描いた線を参考に、袖や胴部分の線を引いてブラウスのアウトラインを描いていきます。

④襟元を描き込む

襟の花びらを模したデザインの縫い目を描いていき、等間隔で小さな丸を飾りとして描いていきます。

⑤シワを描き込む

③で描いたシワのラフをさらに整えていきます。脇の下、袖、裾など細部まで描き込んでいきましょう。

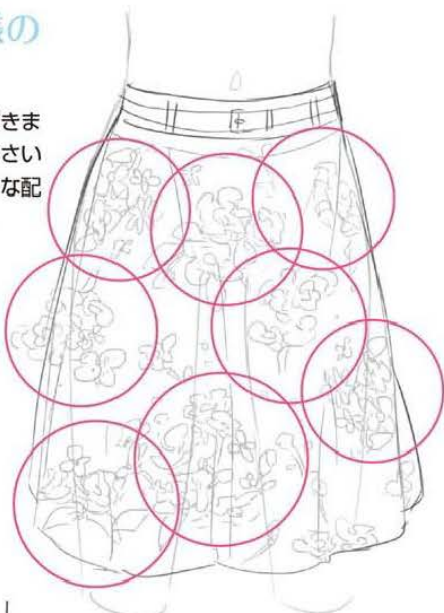
⑥仕上げて完成

胸元や脇、腕の内側、胸の下などに影を入れて完成です。襟には影をほとんど入れず、その下の縁に入れて立体感を出しましょう。

花柄スカートの描き方

①スカートと模様のアタリを描く

下半身とスカートのアタリを描きます。柄の花模様も大きい花と小さい花の大小をつけながらおおまかな配置をアタリで描いていきます。

花模様のアタリを同じくらいの大きさのまとまりで点在するように配置する

②ウエストと裾の線を描く

ウエストとベルト、裾の線を描いていきます。横の線を先に描いておくと形が整えやすくなります。

裾の線はウエストよりも幅を広くしておく

③スカートのアウトラインとシワを描く

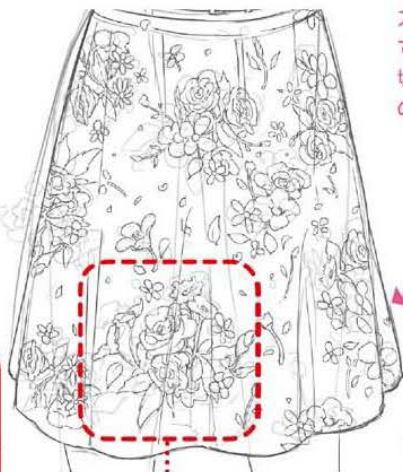
ウエストから裾に向かってシワを描きながら縦の線を繋げてスカートのアウトラインを描いていきます。

生地がやわらかいので上下のシワは繋がらないようにする

④ベルトを描く

ウエストのベルトループやベルト、ベルトの留め具を描き込んでいきます。ベルトはやや細めに描くと女性らしさが出ます。

⑤花柄の模様を描く

①のアタリで描いた花柄の模様を描きます。手描き、1つ描いてコピー、花びらや葉のブラシを使うなど、自分がやりやすいやり方で描いていきましょう。

スカートのシワに合わせて花模様を歪ませたり切ったりするとスカートの立体感が出る

⑥仕上げて完成

シワの間や生地の凹みなどに影を描いて完成です。影を描く際は模様を無視してスカートのシワなど生地の形のみを参考にして描いていきましょう。

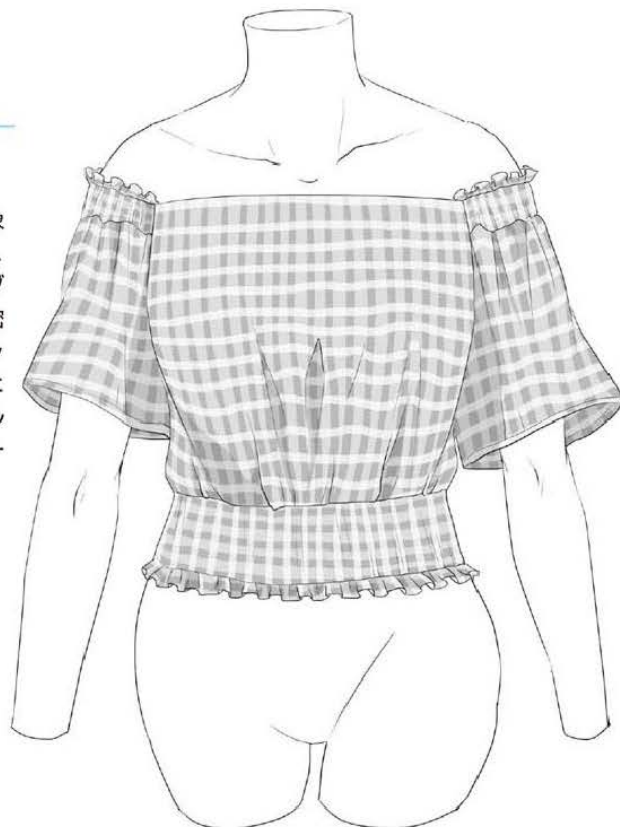
模様を無視してもスカートの形に合わせて影を描けば立体的に見える

ガーリーテイストのコーデ&アイテム

シャツブラウス

男性用のシャツと同じように前開きで襟のあるタイプのブラウス。襟が丸みのあるものであったり、身頃にフリルやレースが施されたりといったディテールがあると、よりガーリーな印象が高まります。

オフショルダーブラウス

春夏らしい爽やかな印象を与えることができる、肩が露出したタイプのブラウス。体のラインに密着するのではなく、ギャザーやフリルを施すことで少し膨らみのあるシルエットにするとガーリーな雰囲気が増します。

キュロットパンツ

裾へ向けて広がっていくため、パッと見た印象はスカートのようなショートパンツ。プリーツはあまりハッキリとは入れず、ボーイッシュな雰囲気をほどよく残したほうがよりかわいらしさが引き立ちます。

ミディアム丈スカート

膝が隠れるくらいの丈のスカートは、清楚で品の良いイメージを与えることのできるアイテムです。トップスはタイトかつシンプルなものを合わせると、かわいらしくやわらかな印象をより強調することができます。

ショートブーツ

およそ足首が隠れるほどの丈のブーツ。シンプルでかわいらしいものからゴテっとしてハードな印象のものまでさまざまなタイプがあり、特に前者は合わせるコーデを選ばず履くことができます。色はブラウン系がオススメ。

フェミニンテイスト

女性らしい品がありながら、キュートな雰囲気もしっかりと保ったスタイル。レースなどの透け感のある素材が好んで用いられるなど、ガーリー系と比較すると大人っぽさを強く意識しつつかわいさを出しています。

ノースリーブワンピースコーデ

ウエストに絞りの入った花柄ワンピース、光沢感のあるクラッチバッグ、パールカラーのパンプスでまとめた上品なコーデ。ノースリーブによる肌見せや肌の色に近いパンプスによる脚長効果で大人の女性らしさを前面に押し出しつつ、花模様の襟でキュートな雰囲気も持たせています。

POINT

"フェミニン"のポイント

①かわいらしくも大人っぽい雰囲気を大切に

かわいさを大切にするという点で、ガーリーテイストと共通する部分も多いフェミニン。肌見せする、スタイリッシュなバッグを持つなど、より大人の女性らしい上品な雰囲気を全面に出していくことが、２つのテイストを差別化する上での大きなポイントです。

②花柄アイテムも落ち着きを感じられるものを

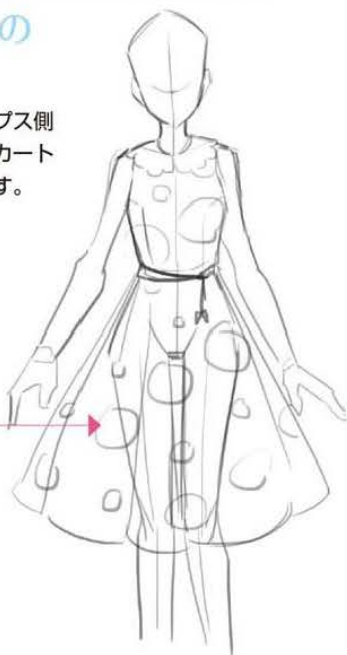
女の子っぽい印象の強い花柄アイテムも、全体的に落ち着いたトーンとすることで品の良さを感じられる大人なスタイルとなります。柄特有の華やかさはキープしつつ、シックな雰囲気も取り入れていきましょう。

③小物使いや髪型で気品を出す

美しくまとめたアップヘアやヒール高めのパンプス、控えめで上品な細ベルト、さりげないブレスレットなど、服だけでなく髪型や小物でも大人感や高級感を演出することが重要です。

ノースリーブワンピースの描き方

①体とワンピースのアタリを描く

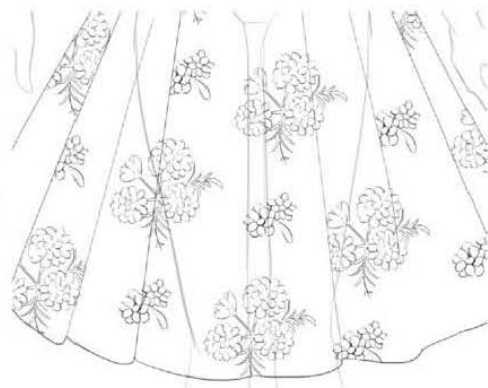
腰の位置にベルトを描き、トップス側は体のラインに沿うように、スカートは円錐状に広げるように描きます。

②ワンピースのラフを描く

アタリを参考にワンピースのラフを描きます。スカートのひだ、ベルト、柄のラフも描いて、完成形に近いイメージを整えていきます。

③襟と柄を描く

シンプルな半円形を連続させて襟の縁を描きます。服の柄は②で描いた花柄を清書し、服の生地に合わせてバランスを見ながら配置します。

④スカートの柄とシワを描く

スカートのひだを清書し、③で描いた花柄をコピーして配置します。柄は生地に合わせて一部を消したり曲げたりするとスカートに立体感が出ます。

⑤腰の飾りを描く

ウエストの絞りの周りに緩く巻きつけた細いベルトを描きます。ベルトの金具にはチェーンでぶら下がったリボンのアクセサリーをワンポイントで加えています。

⑥仕上げて完成

胸元やスカートのひだ、シワやベルト周りに影を描き入れ、立体感をつけて完成です。

肩掛けアウターコーデ

オフショルダーのラッフルブラウスに同系色のカーディガンを肩掛けし、タイトな膝丈のペンシルスカートやショルダーバッグ、サンダルを組み合わせた大人のお姉さんコーデ。アウターは袖を通さず肩に掛け、ショルダーバッグをアウターの下にインすると野暮ったくならず品のある印象にまとまります。

POINT

“フェミニン”のバリエーション

①肌の露出を調節し上品さと華やかさを両立

清楚でかわいらしい白のラッフルブラウスも、オフショルダーにするとグッと大人っぽくなり女性らしい華やかさや色気を醸し出します。アウターを羽織りとして合わせて肌の露出を抑えることで、かわいさと色気をほどよく兼ね備えたバランスを持たせられます。

②タイトなシルエットで女性らしさを強調

腰から脚にかけて密着するようなシルエットをとるペンシルスカートは、フェミニンな印象を特に強めてくれるアイテムの一つです。ウエスト位置も高めのため、全体的にスッキリと洗練された雰囲気が生まれます。

③主張を抑えた小物でバランスを取る

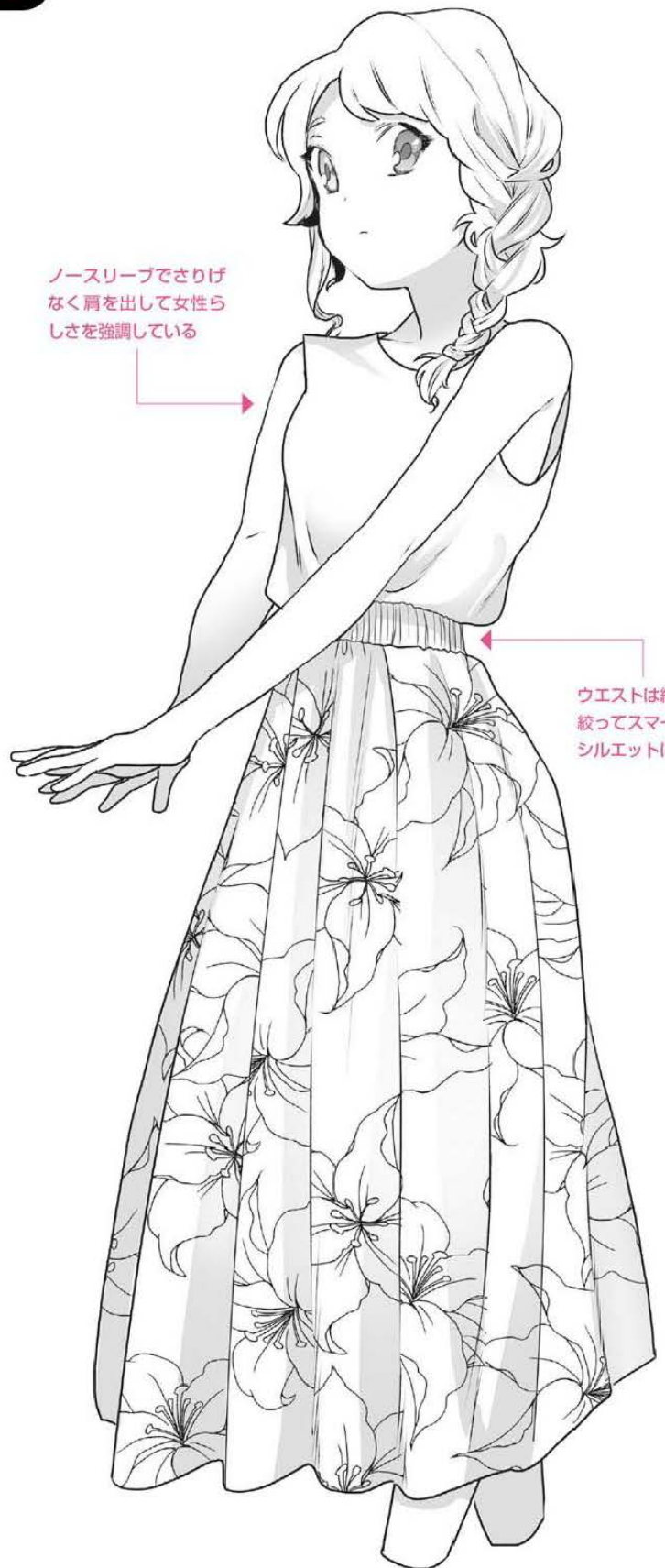
トップスやボトムスで十分に華やかさが出ている場合は、シンプルで渋めのトーンのサンダルやベーシックなブラウン寄りのバッグなど、足元や小物に落ち着いたデザインや色のアイテムを置くと見た目がうるさくならず全体のバランスが取りやすくなります。

フェミニンテイストのコーデ&アイテム

花柄フレアスカート

アサガオの花のように、波打ちながらふんわりと広がっていくシルエットが優しげな雰囲気のフレアスカート。全体に少し小ぶりな花柄が散りばめられることで、より華やかで女性的な印象が高まります。

ハイヒールパンプス

7～10cm ほどの高さのヒールを持つタイプのパンプス。かかとが大幅に持ち上げられるため抜群の美脚効果があり、大人の女性らしい華やかな印象が深まりますが、そのぶん重心がつま先側に偏ります。

ノースリーブでさりげなく肩を出して女性らしさを強調している

ウエストは細めに絞ってスマートなシルエットに

柄スカートコーデ

大きめなハイビスカスが全面にプリントされたミディアム丈スカートがインパクト抜群なコーデ。柄を主役にするためにトップスはシンプルにしつつ、ヘアアレンジにも一工夫を加えて全体の雰囲気を自然になじませています。

ノースリーブトップス

全体へ施された精緻なレース模様が印象的なノースリーブタイプのブラウス。軽やかさと豪華なイメージを両立しつつ、少しハイネックなデザインにより品の良い印象を引き立てています。

ラッフルスリーブブラウス

肩から脇にかけて、ラッフルフリル（大きめなひだ状の装飾）が施されているタイプのブラウス。ふんわりと華やかなラッフルやフリルは、フェミニンな印象を特に高めてくれる装飾です。

バケツバッグ

名前の通り、バケツのようなシルエットをした小ぶりのバッグ。コロッとした形状ながら主にレザー素材が用いられるため高級感があり、大人っぽさとかわいらしさを両立することができます。

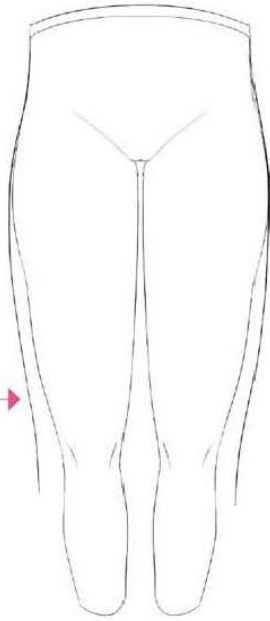
ケリーバッグ

台形型のふた付きレザーハンドバッグ。「ケリー」の愛称はこのバッグを愛用していた王妃の名前に由来しており、その美しさや優雅なイメージから多くの女性が憧れる、高級バッグの代名詞的な存在です。

レース柄ペンシルスカートの描き方

①スカートのアウトラインを描く

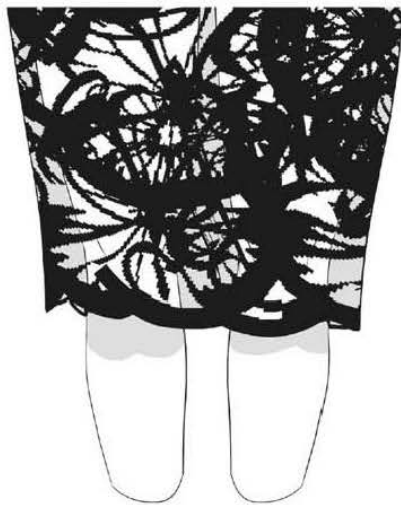
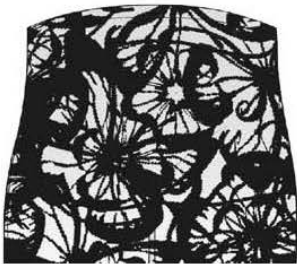
下半身のアタリに合わせてアウトラインを描いていきます。太ももの一番太い部分までは体の線にぴったりと沿わせ、膝まで指１本から２本分の隙間を作りつつ描いていきます。

裾を体に寄せるように描くとタイトな形状に見える

②花柄のブラシで模様を描く

花柄のテクスチャブラシを用意してレースの模様を描きます。体のラインがわかるかわからないかくらいの密度になるまでブラシで塗り重ねます。

上図のような花柄の素材を用意してブラシに設定する

③影を加える

レース模様の下にレイヤーを作り、スカートの上側は肌が見えないよう足の上から影を塗り、下部は足が透けて見えるように隙間だけ影を塗ります。

④模様を反転する

模様のレイヤーを範囲選択し、「境界線」などのツールで選択範囲を１～２ピクセル縮小して白で塗りつぶします。

縮小によって白く塗られなかった部分が模様を縁取る主線となり、レースの線画風の見た目に仕上がる

腰の周りの主線を消してレース模様をぼかしている

⑤模様をなじませる

総レースのペンシルスカートは内部にもう一枚短いスカートが入っています。腰に近い位置の模様をぼかす、主線を消すなどして模様をなじませるとレースの質感が高まります。

⑥仕上げて完成

ウエストの位置からシワを描くなど、全体のバランスを調整して完成です。女性らしいレース柄とタイトなペンシルスカートのシルエットで大人っぽい印象に仕上がりました。

Lessons 03

ナチュラルテイスト

体を包み込むようなゆるやかな服を用いたやわらかい雰囲気を持つスタイル。リネン（麻）やコットンといった天然素材を使った淡い色合いの服が多く、優しく落ち着きのある装いが特徴です。

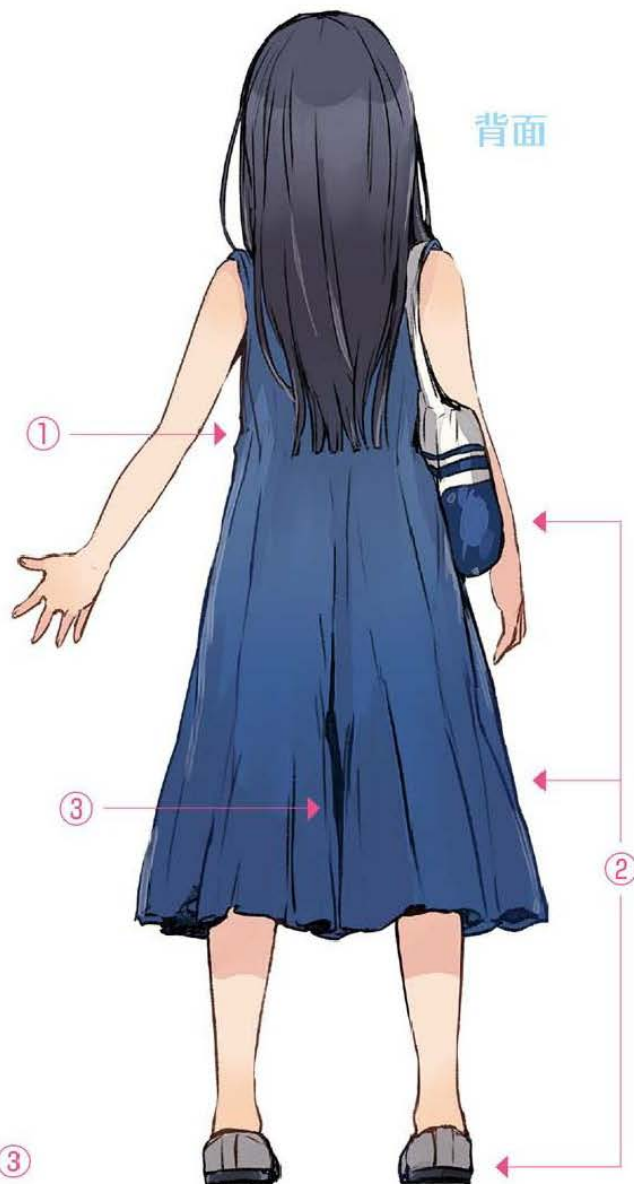
リネンワンピースコーデ

ゆったりとしたAラインのシルエットが特徴的な濃紺のリネンワンピースに同系色の肩掛けトートバッグとキャンバス地のスニーカーを合わせた清涼感のあるコーデ。ノースリーブによる肌見せが瑞々しいお姉さん感を演出します。

前面

①

③

②

POINT

“ナチュラル”のポイント

①ゆったりめのデザインにする

ナチュラルテイストの服はAラインのワンピースや裾が広いブラウスなど、体のラインが出にくい服が中心です。スカートや裾にドレープを作るとゆったり感が出ます。

②派手さを抑えたシンプルな色にする

自然体を重視しているため、服の色合いも淡い色が多い傾向にあります。白、ベージュ、紺などの定番色をワントーンでまとめるとナチュラル感を出しやすくなります。

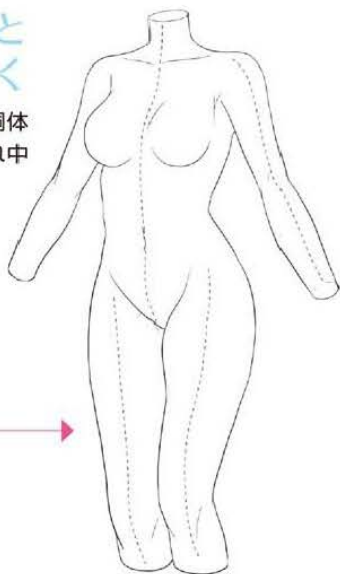
③生地の質感を表現する

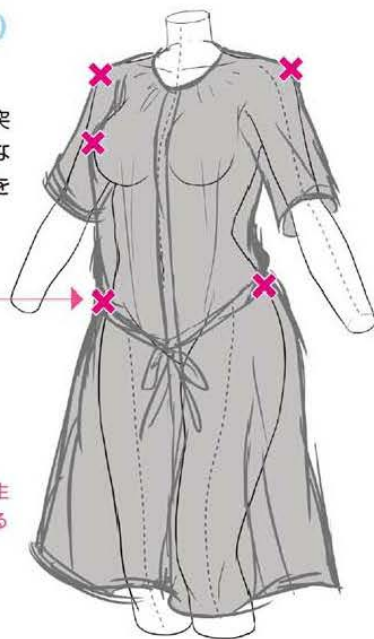
服の表面をざらつかせたり、シワを多めに描いたりするとリネンやコットンなどの天然素材を使っている質感が出ます。

リネンワンピースの描き方

①体のラインと中心線を描く

全身のアタリを描き、胴体と両腕、両足にそれぞれ中心線を描いていきます。

ナチュラル系の服はシルエットが出にくいので、腕や足にも中心線を描いておくと服の形が描きやすくなる

②ワンピースのラフを描く

両肩、胸、腰骨など体の突起している部分に注意しながら、ワンピースのラフを描いていきます。

突起している部分は生地が体に接触している

③襟とボタンの線を描く

体の中心線を参考にしながら、襟やボタン、ボタンを留める前開きの線を描いていきます。

直線を繋げてかくかくさせるとリネンのやや硬い生地の質感が出る

④アウトラインを整える

ラフの線を整えて清書していきます。アウトラインは短い直線をいくつも繋げるように描いていきます。

⑤リボンを描く

腰骨の位置から体の中央やや下に向かってちょうちょ結びのひもを描きます。

斜めの線を加えてひもをねじっている様子を表現する

⑥仕上げて完成

服のシワに合わせて影を描いて仕上げて完成です。シワの形は縦に細長いダイヤモンドを描くようなイメージで入れるとそれらしくなります。

レースチュニックの描き方

①体とチュニックのアタリを描く

体のアタリを描き、アタリに添うようにしてチュニックのアタリを描いていきます。

チュニックが首の位置に向かって円錐形になっているようにイメージする

②チュニックの線を描く

体の胸の下にチュニックの切り替え線を描きます。切り替え線の位置から下に線をストンとおろし、スカートを円錐状に広げます。

チュニックの腰周りは体の胴周りよりも広く隙間がある

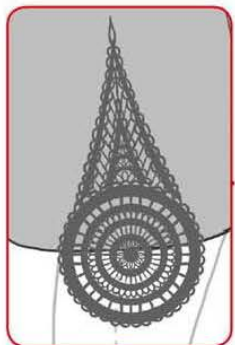
③襟と肩口に飾りを描く

襟と肩口の縁に、模様の元となる半円形を等間隔に描いていきます。

④レース模様の柄を作る

半円形を清書し、レース模様を入れていきます。模様の縁は花びらのような形にします。

⑤レース模様の柄を作る

スカートの裾にあしらうレース模様を描いていきます。ブラシを使って丸と三角を組み合わせた模様を作ります。

⑥仕上げて完成

模様をコピーしてスカートの形に沿うように角度をつけながら等間隔で並べていきます。最後に影を描いて完成です。

服のシワに合わせて縦に長いシワを描く

ナチュラルテイストのアイテム

薄手のジップパーカー

リネンのざらついた質感がついた前開きのパーカー。前を閉じたままスカートなどと合わせるとナチュラル感が出るコーデになります。

ケーブルニット

大きなケーブル編みのニットセーター。パンツにもスカートにも相性がよく、落ち着きのある大人っぽい印象を与えます。

生成りのブラウス

白とベージュの中間のような淡い色合いのブラウス。軽やかでフェミニンな印象もあり、女性らしいナチュラルな雰囲気を演出できます。

クリスタルプリーツスカート

足首まで隠れるクリスタルプリーツの入ったロングスカート。カジュアル系にも使えるアイテムで、大学生や20代女性にも似合います。

ガウチョパンツ

ゆるやかに裾が開いたワイドパンツの一種。ブラウスなどと合わせるとゆったり感のあるお姉さん風のコーデになります。

キャンバススニーカー

キャンバス地のモノトーンスニーカー。素足を見せるように履くと緩い印象を持たせることができます。

森ガールテイスト

森にいそうな女の子というイメージから生まれたスタイル。ナチュラル系に似たゆるやかなシルエットやアースカラー系の落ち着いた色合い、柄やフリルを多用した乙女っぽさを強調したデザインが特徴です。

カントリー風コーデ

クラシカルなチュニック、ヘアバンド、柄やチュールを重ねたレイヤードスカート、切り替え柄のレギンス、編み上げブーツに、花で飾られたバスケットを持ったコーデ。童話に登場する街娘のような、どこか懐かしさを感じるお出かけスタイルです。

背面

③

①

②

前面

③

②

①

POINT

“森ガール”のポイント

①ゆるやかなシルエットにする

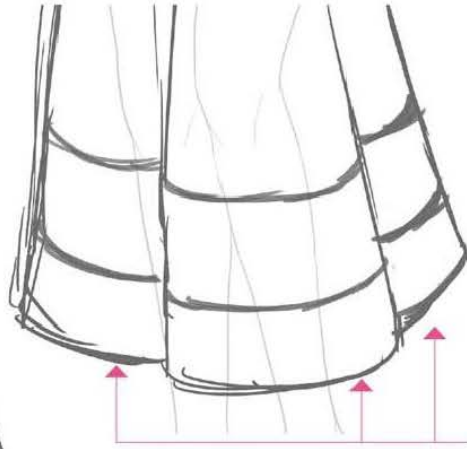
ゆったりめのワンピースやレイヤードスカートなど、ボディラインがはっきりしない服や生地がやわらかくドレープができやすい服を重ねるとゆるふわな印象を与えます。

②彩度低めの落ち着いた色を使う

カーキなどのアースカラー、アイボリーや生成り色などのクリーム系カラーなど、草木のような目に優しい落ち着きのある色が定番です。

③レトロなデザインを取り入れる

細かな装飾が入ったクラシカルなチュニックやアンティーク感のある少女趣味なワンピースなど、古き良き時代の少女らしさを彷彿とさせるデザインを一部に盛り込むと雰囲気が出ます。

カントリー風レイヤードスカートの描き方

スカートのひだもおおまかに３つに分ける

①スカートのアタリを描く

下半身のアタリを参考に、足首の上ほどの長さでスカートのアタリを描きます。３枚の生地が重なっている様子をイメージし、膝下と脛の高さに横線を描いてスカートを３分割します。

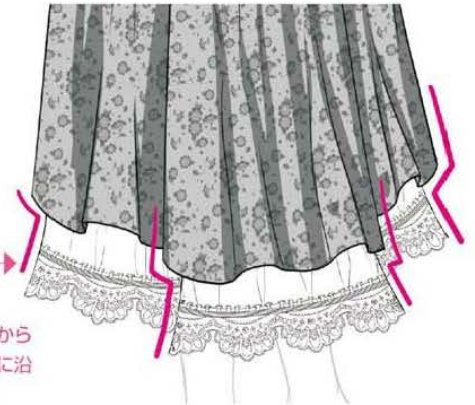
②メインのスカートの線を整える

腰から２本目の横線の長さまで、メインとなるスカートを描きます。裾の線を波打たせて、スカート全体にゆったりとしたシワを描き込みます。

③柄と影を入れる

スカートにトーンやテクスチャで柄を貼ります。花や草などの植物柄を使うと森ガールらしくなります。

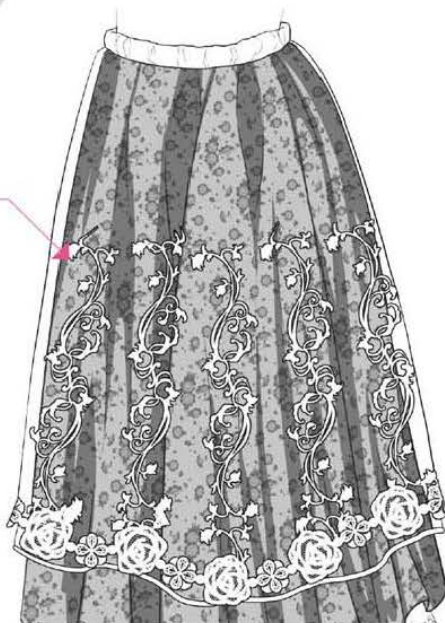
凹んでいる部分やふくらんでいる部分の端側に影を入れていく

柄スカートより内側から大きなひだのラインに沿うように描いていく

④別のスカート生地を描く

メインの柄スカートの下から一番下の横線のラインまでレース生地のスカートを描きます。

柄がひとつ完成したらコピーして並べていく

⑤刺繍レースのチュールを描く

柄スカートの外側にチュール（薄手の透け生地）に刺繍を施したスカートを描きます。柄スカートより大きめにアウトラインを取り、草木や花のモチーフをアールヌーヴォ風の曲線で描きます。

装飾が細かい柄は主線を薄くする

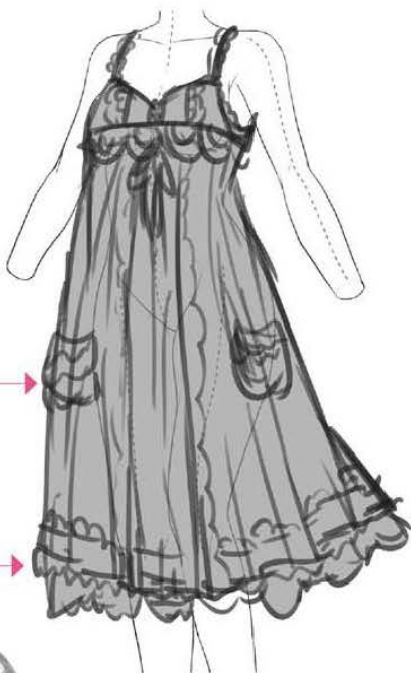
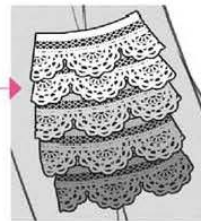
⑥仕上げて完成

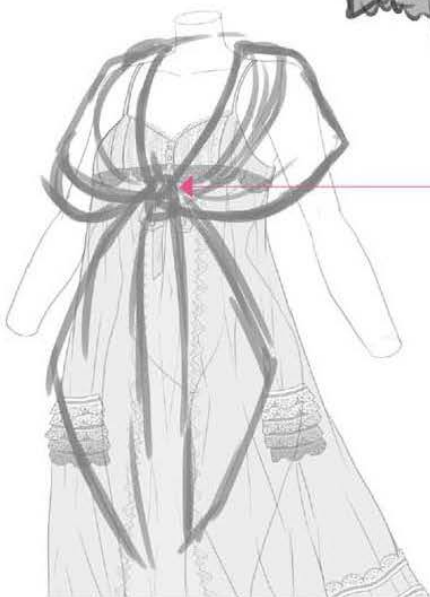
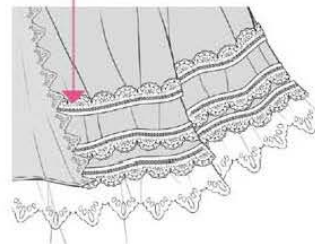
チュール生地のスカートを白く塗り、柄スカートをうっすら透けるくらいの不透明度に調整して完成です。

ロングワンピ&ショールの描き方

①ワンピースのアタリを描く

全身のアタリを参考に、膝丈のワンピースのアタリを描きます。胸から下はあまりくびれさせず、生地をなだらかに広げるようにスカート部分を描いていきます。

アタリ段階で刺繍やレースが入る位置もおおまかに決めておく

トーンやレースの素材を作り、色や向きを変えながらコピーして貼り付けて密度を高める

②細部に刺繍レースを描く

ワンピースのアウトラインを清書し、胸元や切り替え、ポケット、裾などに刺繍とレースを描き込んでいきます。

ショールの結び目の位置

③ショールのアタリを描く

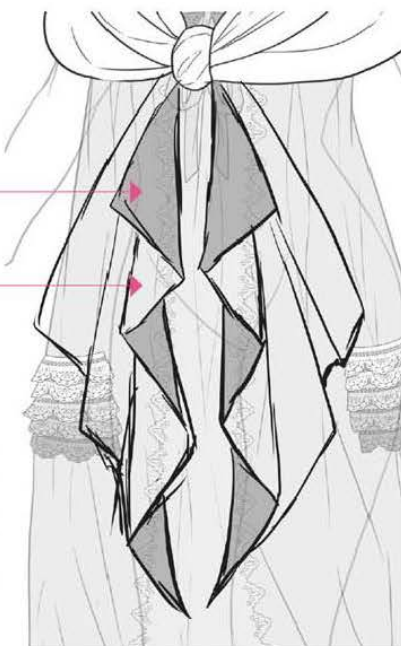
肩から二の腕をぐるりとおおうようにショールのアタリを描いていきます。胸の中央を結び目にして、その下に生地を垂らします。

④肩周りの線を描く

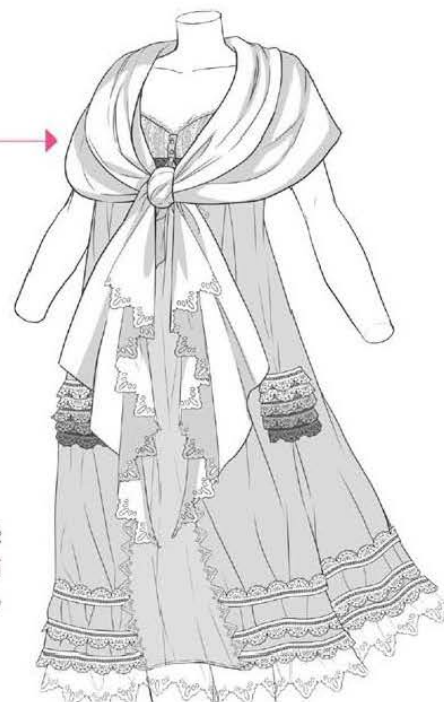
シワの線は首の後ろ側から胸の結び目に向かって収束していきます。結び目に近いほどシワを多めに描いていきましょう。

表と裏を交互に塗り分けると一枚の布であることがわかりやすくなる

⑤垂らした生地を描く

結び目の下に垂らした生地を下描きします。ひし形をイメージしながらアウトラインを描き、中央のひだになっている部分は三角形を交互に描くように描いていきます。

生地が重なった部分には大きな影を入れる

⑥仕上げて完成

垂らしたショールを清書し、縁にレース模様をジグザグに描き込みます。シワや生地の凹んだ部分に影を描いて完成です。

森ガールテイストのアイテム

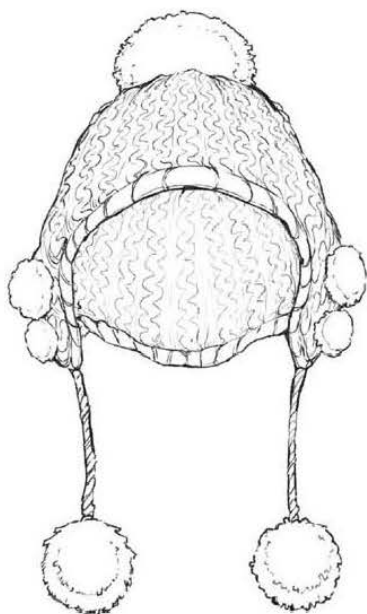
ロングニット カーディガン

丈が膝から膝上ほどまであるニット生地のロングカーディガン。体を包み込むやわらかい質感とゆったりとしたシワが優しげな雰囲気を醸し出します。

レース カーディガン

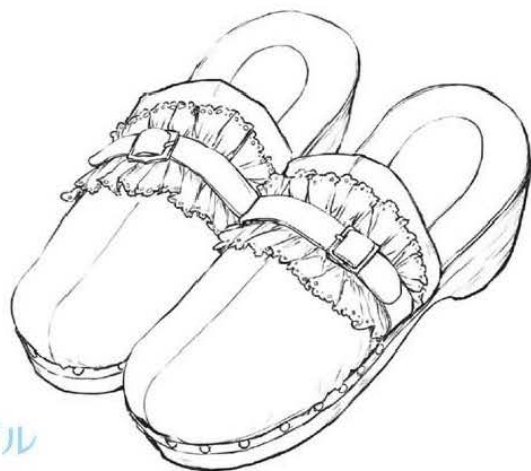
フリル上のレース生地に花柄の刺繍があしらわれた前開き式のアウター。女の子らしさを強調した森の妖精のようにかわいらしい印象のカーディガンです。

ポンポンつき ニット帽

頭頂部や耳に毛糸やファーで作られたもこもこのポンポンがついたニット帽。耳からぶらさがった飾りのポンポンなどがキャラクターにあどけないかわいらしさを与えます。

ストール

刺繍や模様などがあしらわれた肩掛け。肩を覆って胸の前で結ぶと森ガールらしい印象になります。レース生地や透かし編みにしたニットなど、透け感のあるデザインが向いています。

バスケット

植物などの素材を編んで作られたカゴ状のバッグ。縁や取っ手にフリルや花などを飾ると森の中を歩く童話の少女のような雰囲気が出ます。

サボサンダル

スウェーデン伝統の木靴（サボ）が由来の靴底が木でできたサンダル。足の甲は花びらのようなレース素材を装飾するとかわいらしくなります。

メルヘンテイスト

リボンやフリル、レース生地を多用して女の子らしさや甘さを前面に押し出した、ガーリーとロリータの中間と言えるスタイル。ふんわりとした緩やかなシルエット、童話に出てくるようなかわいい服が特徴です。

ジャンパースカートコーデ

エプロンドレスとも呼ばれるジャンパースカート、セーラー服風のリボンブラウス、英国風の学生カバンと帽子という制服ライクな組み合わせ。女の子らしいメルヘンチックな雰囲気ながら上品さも感じる装いです。

POINT

“メルヘン”のポイント

①少女感や清楚さを出す

小さなリボンのワンポイントがついた帽子や靴など、やや幼めのあどけなさを感じさせるアイテムを身に付けると少女感が強まります。全体の配色は白、ネイビー、ピンク、えんじ色などが主流で、落ち着いた色合いで清楚な印象を持たせるのがポイントです。

②リボンやフリルなどの装飾をあしらう

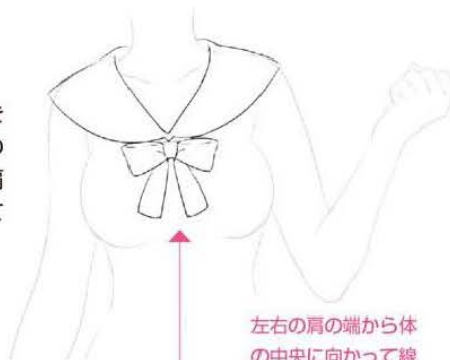
トップスの胸元や襟、スカートの裾、帽子やカバンなどの要所にリボンやフリル、レースを飾り付けると、甘みのある女の子らしさが強調されます。

③ウエストを絞ったスカートを履く

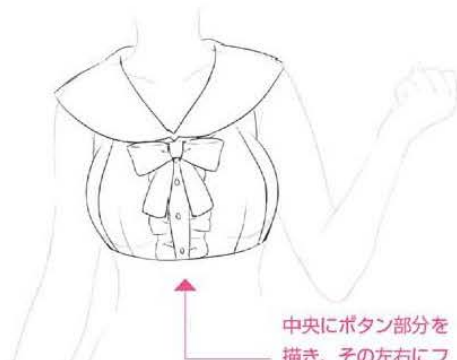
ワンピースや単体のスカートに限らず、スカートのウエスト部分は細めに絞ったシルエットが主流です。スカートの形状はフレアスカートが多く、体のラインにメリハリがつくのでスタイルがよく見えます。

ジャンパースカート+ブラウスの描き方

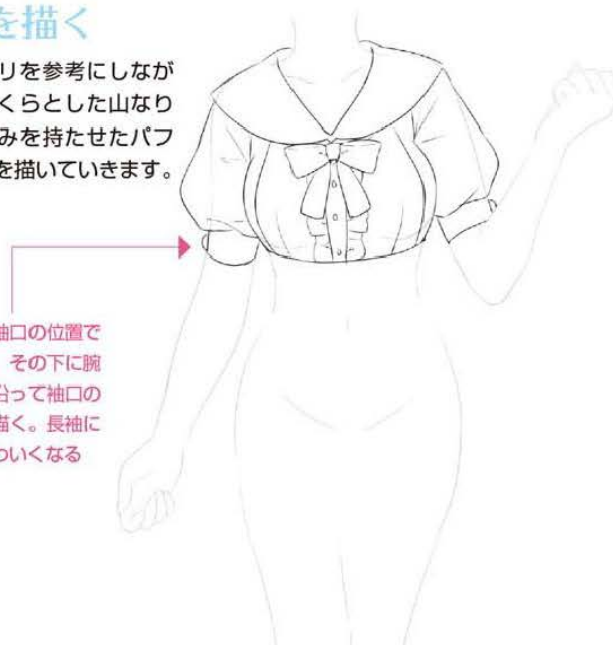
①体のアタリと襟を描く

体のアタリと襟、リボンを描いていきます。襟は首の付け根から肩の端まで、肩のラインに添うようにして描いていきます。

左右の肩の端から体の中央に向かって線を引いて襟を描き、リボンを描き加える

②ブラウスの胸元を描く

胸のアタリに添ってブラウスの胸元を描いていきます。両端には胸の形に添って縦線を入れてスカートを支える紐部分を描きます。

中央にボタン部分を描き、その左右にフリル状の飾りを描く

③袖を描く

腕のアタリを参考にしながら、ふっくらとした山なりのふくらみを持たせたパフスリーブを描いていきます。

袖の線は袖口の位置ですぼませ、その下に腕の太さに沿って袖口のカフスを描く。長袖にしてもかわいくなる

④スカートを描く

胸の下から膝上までの範囲にスカートを描きます。ウエスト部分は胸の下に線を引いてコルセットのようにぴったり体に添わせた形にすることで、引き締まったシルエットになります。

スカートは腰骨の位置からなだらかに広がる曲線で膝上の高さまで描く。裾は波打った線で動きをつけ、軽やかな印象に仕上げる

⑤フリルやボタンを描き込む

ボタンはスカートのウエストの位置に、フリルはスカートの裾の動きに合わせて波打つように一つずつ描いていきます。

Ωがいくつも連なっている様子をイメージして短い間隔で裾に沿ってフリルを描いていく

⑥仕上げて完成

襟とジャンパースカートに色をつけ、全体に影を加えて完成です。フリルや袖のシワにも影を描き込み、ふんわりとした質感を表現しましょう。

胸の下側はウエストが絞られて大きく凹んだ形状になっているため一帯に影ができる

生地が重なった部分や凹んだ部分に影を入れる

フリルブラウスの描き方

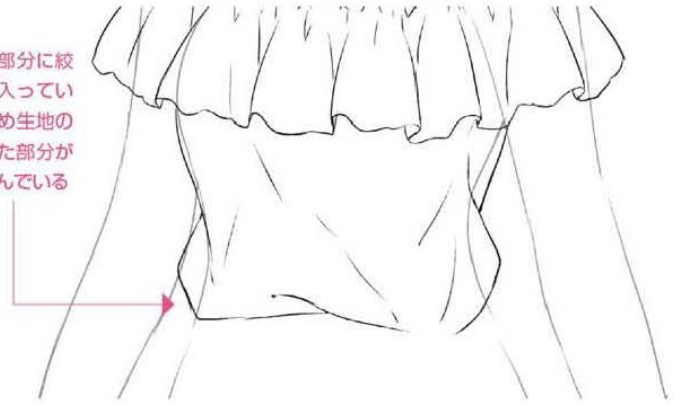
①胸元のフリルを描く

体のアタリを参考に、肩のやや下あたりからフリルの帯を描いていきます。曲線気味にフリルのひだを描き入れます。

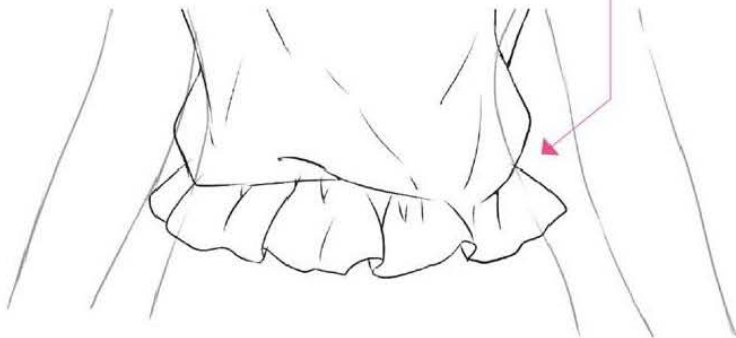
下側のフリルは幅が広くところどころ凹んで波打った線になる

②ブラウスを描く

フリル下の胴部分を描いていきます。腰のあたりは密着させず、体のアタリよりも大きめに服の線を描いていくとふわふわとした緩い質感が出ます。

裾の部分に絞りが入っているため生地の余った部分がたるんでいる

③裾のフリルを描く

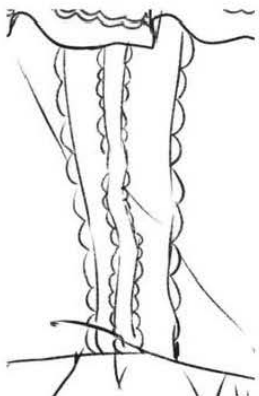
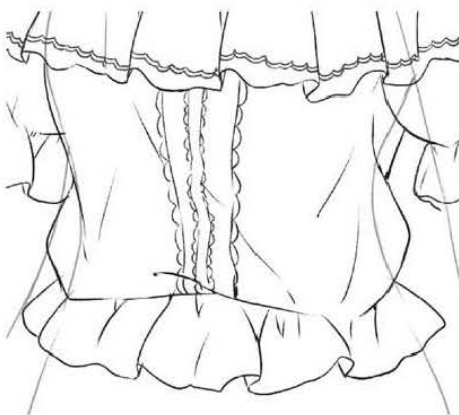
胸から腰にかけてを逆三角形のシルエットに見せるため、裾のフリルは胸元のフリルよりも小さめに描いていきます。

フリルの長さも短めにする

④ひもと袖を描く

胸から首の後にかけてホルターネックのひもと、フリルの下から袖を描いていきます。袖は二の腕の位置に絞りが入った、輪郭の大きいパフスリーブを描きます。

袖口の絞った位置から短くて小さいフリルを描き加える

⑤ブラウスの柄を描く

胴部分の中央や胸元のフリルの先に柄を描き、ブラウスの装飾を増やします。

中央の柄は一枚の布に半円形のひだがついているイメージで、内側と外側で大小をつけている

⑥仕上げて完成

ブラウスに影を描いて完成です。やわらかく緩い生地の服には凹凸ができやすいので、シワやフリルの下、付け根に影を描いていきましょう。

服に絞りが入っている箇所は生地が奥まって影ができやすくなる

メルヘンファッションのアイテム

花柄ワンピース

襟やスカートのフリルがロリータ系の甘さを加えている花柄ワンピース。胸元にアクセントとして置かれているリボンや長袖で丸みのあるシルエットが、よりメルヘンチックな雰囲気を出しています。

ニットカーディガン

大きな襟ぐりにフリルとリボンがついているガーリーな印象のニットカーディガン。ニットのケーブル編みのもこもことした質感が女の子らしく、かわいらしい印象を引き出しています。

リボン付きブラウス

リボンのついた長袖のフリルブラウス。大きなリボンとフリル付きの襟がメルヘンチックな印象を与えつつ、ブラウスのカッチリとしたシルエットが上品な雰囲気を出しています。お嬢様キャラクターにも似合うデザインです。

編み上げスカート

細いリボンの編み上げとウエストの引き締まりがクールな印象を与えるクラシカルなスカート。フリルブラウスなどと合わせると甘さを抑えられ、清楚な印象を与えます。

アンクルソックス&パンプス

ロリータ風の大きなフリルが特徴の足首丈のレース柄ソックスと少女感のあるシンプルなパンプス。靴下は短いほうが膝上丈のスカートと相性がよく、パンプスやサンダルに合わせても足元が華やかに見えます。

サッチェルバック

イギリスの伝統的な学生カバン。現実のカバンそのままではなく、花柄など女の子らしいモチーフを表面や縁、角などに加えることでメルヘンテイストなかわいらしさが引き立ちます。

ロリータテイスト

ロココ時代のお姫様をモチーフに、フリルやレースで豪華に装飾されたドレスなどを基調とするスタイル。白やピンクといったかわいらしい色が好まれる、少女性を深く追求したファッションです。

甘"ロリ"ワンピースコーデ

フリルやリボンをふんだんにあしらったドレス風のワンピース、姫袖のボレロ、ボンネットタイプのヘッドドレス、キュートな柄がプリントされたタイツにチョコレート色のぺたんこ靴で少女性を強調。お菓子のように甘い色使いと装飾でまとめた甘ロリコーデです。

前面

背面

①

②

③

POINT

"ロリータ"のポイント

①定番服はワンピースかジャンパースカート

ロリータテイストの服は、ワンピースタイプかジャンパースカートタイプが主流でその上にボレロやカーディガンを着用します。一般的なワンピースらと比べるとドレス的な側面が強く、パニエ（スカートを広げるための下着）を履いて大きく広がったスカートや優美さを感じさせる豪華な装飾を持つのが特徴です。

②頭と足元のアイテムも重要な要素

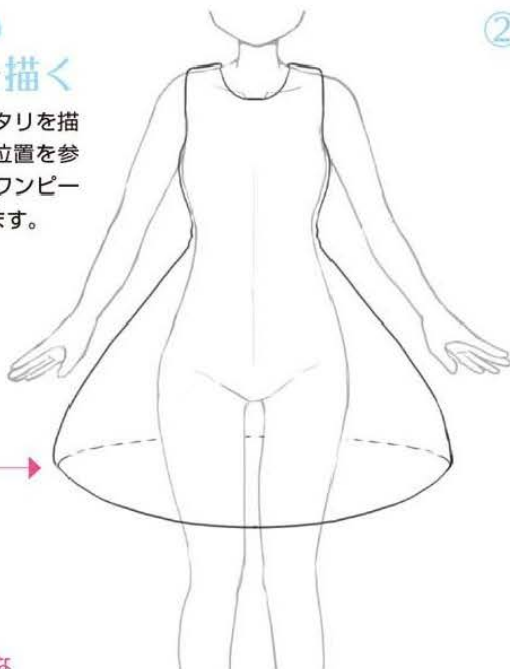
ヘッドドレスやリボンカチューシャといった装飾性の高い頭飾りは、服装が華美なロリータスタイルには欠かせないアイテムです。特にフリルがふんだんに施されたヘッドドレスは、お嬢様っぽさやクラシカルな雰囲気を強めてくれます。靴は少女らしいぺたんこ靴、あるいは厚底のものが好まれます。

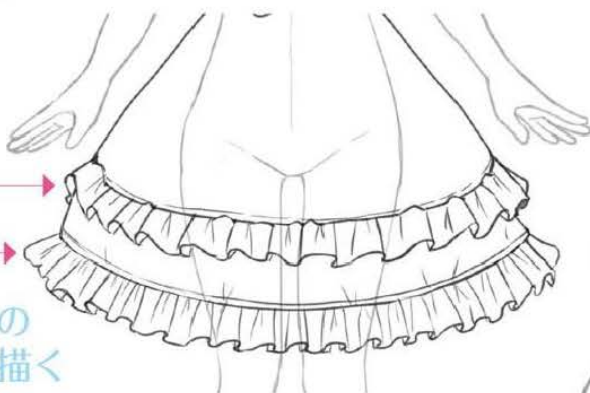
③肌の露出はできるだけ控える

ソックスやタイツのチョイスに並々ならぬ拘りが感じられるのも、ロリータならではの特徴です。お人形のように清楚な白色や華やかな柄が施されたものが中心であり、服のデザインが七分袖というような例外を除き、原則として素肌が露出しないようにします。

甘“ロリ”風ワンピース&ボレロの描き方

①ベースのアタリを描く

膝下までを含むアタリを描き、肩、腰、膝の位置を参考にベースとなるワンピースのアタリを描きます。

②トップス部分とスカートを描く

襟と前立て、ウエストのリボンを描き、スカートにはフリルを描く位置にアタリで線を描いておきます。

③スカートのフリルを描く

②のアタリを元に端から端へ向かってカーブを描くようにフリルを描いていきます。

④ボレロを描く

首から二の腕を包むようにボレロを描いていきます。襟は立て襟で首元を覆い、腕から胸元へかけてもフリルを描いて装飾しつつ肩を隠します。

⑤袖やリボンを描く

ボレロから腕先にかけて手を包み込むように口がラッパ状の姫袖を描いていきます。スカートの裾や胸元には大きなリボンの装飾を加えます。

⑥仕上げて完成

細部の装飾を描き足し、リボンやスカートに色を塗って完成です。

ヘッドドレス（ボンネット）の描き方

①頭部とアタリ線を描く

頭部のアタリを描き、ボンネットをはめたい位置にカチューシャのような形のアタリ線を描きます。

耳の真上からもう片方の耳に向かってまっすぐに頭を通るラインにアタリを描く

②ブリム（つば）を描く

①のアタリをベースにボンネットのブリム（つば）の部分を描いていきます。放射状に広がるように描いていきましょう。

ブリムの内側に生地の繋ぎ目となる線を引いていく

③フリルを描く

①のアタリをベースに放射状にフリルを描いていきます。フリルを縫い付けてある根本からシワができている様子を表現しましょう。

シワは頭部の黒いアタリ側に向かって描いていく

④耳元の飾りを描く

ボンネットの端、耳の近くにジグザグに織り込んだ装飾を描いていきます。

ブリムの形に沿ってジグザグの線で装飾を加えていく

⑤装飾を描き足す

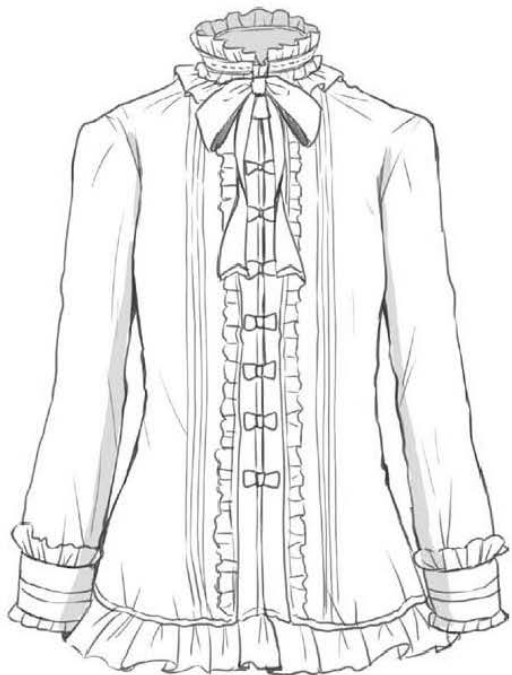
ブリムの縁や頭のリボン、耳元のアクセサリーを描いていきます。リボンは中央にビスケットをあしらった形をイメージしています。

⑥仕上げて完成

頭部の黒いアタリを取り払い、リボンの斜線や耳飾りのいちご柄など細部を描き込んで仕上げて完成です。

ロリータテイストのアイテム

クラシカルブラウス

立ち襟や前身頃へ贅沢に施されたフリルがレトロな雰囲気を醸し出すブラウス。色味は清楚さを際立たせる白やパステルピンクが定番です。襟から胸元にリボンが加わるとお嬢様的な印象がさらに強まります。

ジャンパースカート

袖なしの身頃を持つタイプのスカートで、インナーに必ずブラウスなどを合わせることを前提として作られている点がワンピースとの大きな違いです。ロリータ好きの間では「JSK」という略称で呼ばれることもあります。

ロリータとゴスロリの違い

ゴスロリは「ゴシック・アンド・ロリータ」の略であり、ロリータファッションにゴシック（P118）の黒を基調とした色合いや十字架などの退廃的なモチーフを取り入れたファッションを指します。ロリータ、ゴシックともに別のスタイルでありながらヨーロッパドレスのクラシカルな装いやドレス調のデザインが源流にある点や、ロリータには甘いテイストのまま色だけを黒くした黒ロリと呼ばれるジャンルがあるなど分類が複雑ではありますが、本来的にはロリータとゴスロリは別物のファッションスタイルです。

ゴスロリコーデ例

KAWAii テイスト

原宿を拠点に発展した、パステルカラーやファンシーなモチーフを基調とする個性的なスタイル。女の子の永遠の憧れである"かわいい"を、あふれるほどの少女性で幻想的かつポップに表現しています。

フェアリーポップコーデ

柄入りのトップスにカーディガン、シフォン生地のスカート、ニーハイ、スニーカーを組み合わせ、髪の色まで含めて全体をパステルカラーのパープル、ピンク、イエローでまとめたファンシーコーデ。帽子やポシェットもキュートで背中には天使の羽根がプリントされているなど、フェアリー感満載の個性派スタイルです。

POINT

"KAWAii"のポイント

①パステルカラーでポップにまとめる

個性的でポップなスタイルこそがKAWAii系の真髄です。やわらかなパステルカラーを中心とした多色使いやフリルやリボンを装飾過多なまでに施すことで、オンリーワンなかわいらしさを追求します。

②足元はがっしりした靴をアクセントに

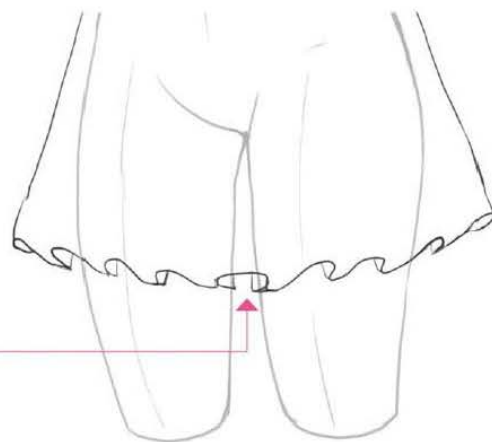
服装のキュートなイメージと反して、靴はゴツめの厚底ラバーが主張するものを主に着用します。底部のミスマッチ感をポイントにするため、カラーリングやデザインはあくまでかわいらしさを崩さないのが重要です。

③全身を盛りつつ持ち物はコンパクトに

帽子やバッグなどの小物も、装飾された服装と同じくかわいらしさを全面に押し出しつつ、コーデ全体のバランスを崩さない程度に個性的なものを使っていきます。動物をモチーフにしたポシェットなども、少女性を主張するアクセントとして最適です。

シフォンスカートの描き方

①スカートのアタリを描く

下半身のアタリを参考に、腰から太ももにかけてスカートのおおまかなアタリを描いていきます。

②裾の線をひだ状にする

裾の線をひだが連続した形で描き、ひだのボリューム感を表現します。あとで折れ線が描きやすいように、ひだは大きめの形で描くのがポイントです。

③重なった生地の線を描く

ウエストから裾の各ひだに向かって、生地が交互に折り重なっている線を描いていきます。線は各ひだの頂点を目安に引いていきます。

④シフォンのアタリを描く

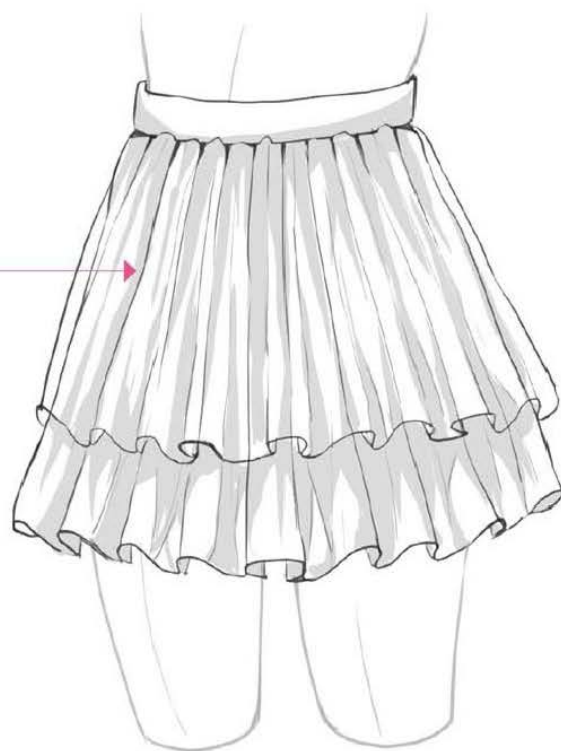
スカートの上に重ねるシフォン生地のアタリを描きます。横幅は下のスカートより少し広めに、丈は下のスカートよりの3/4くらいの位置までの丈にします。

シフォンの中央のひだも
「Ω」の形で描く

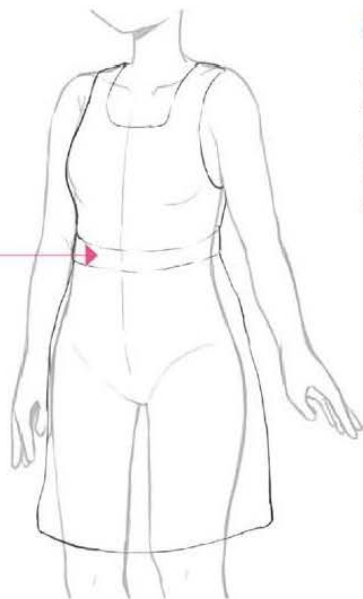
⑤シフォンのシワを描き込む

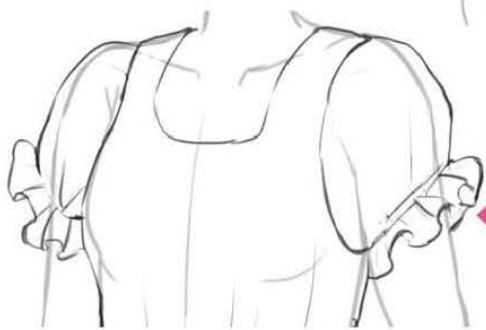
②、③の手順と同様に裾に大きなひだを描いてウエストに向かって線を繋げます。ひだとひだの線の間隔がなるべく同じくらいになるように意識しましょう。

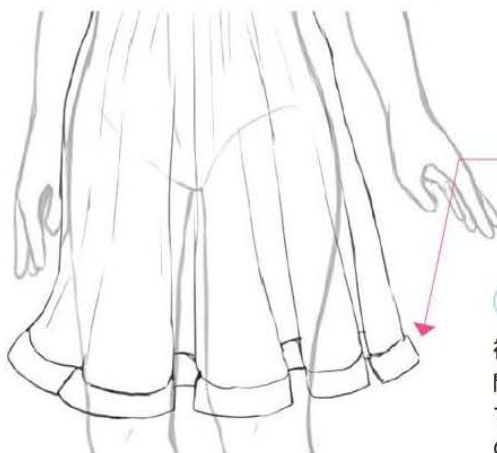
⑥仕上げて完成

ウエストやそれぞれのひだの影になっている部分を描いて完成です。生地が多重に折り重なっているスカートなので影の面積も広くなるのが特徴です。

パフスリーブワンピースの描き方

①ワンピースのアウトラインを描く

体のアタリの肩、腰、膝の位置を参考にワンピースのおおまかなアウトラインを描きます。

②裾のひだを描く

スカートの裾にボリュームのあるひだを連続して描いていきます。ひだのサイドからウエストに向かって線を繋げてひだの線を描きます。

③パフスリーブを描く

肩口から二の腕あたりまでを丸く包むパフスリーブ(ふくらんだ袖)を描きます。袖口は斜めにきゅっと絞り、ひらひらのフリルを描いて飾ります。

④裾の縁を描く

裾からやや内側に向かって等間隔の幅で縁の線を描きます。縁の幅は⑤で描くフリルの幅のアタリになります。

⑤細部を描き足す

スカートの裾をひだの流れに沿ってフリルに描き直します。パフスリーブの袖口にはシワを加えて生地が寄ってる様子を表現するなど、細部を描き込みます。

⑥仕上げて完成

ワンピースの表面を地層のようにいくつもの段に分け、それぞれに濃い色や薄い色を描いてポップなマルチカラーのワンピースに仕上げて完成です。

KAWAii テイストのアイテム

プリントスウェット

ポップな絵柄がプリントされたスウェットパーカー。体型が出ず絵柄のインパクトも強調されるオーバーサイズのものを着用し、ダボッとしたシルエットやあまり気味の袖丈を活かしたコーディネートにまとめます。

フェアリーワンピース

たっぷりのフリルやリボンがキュートな幼さを感じさせるデザインのワンピース。厚底のパンプスなどで個性を出しつつも極力シンプルなコーデにまとめると、ワンピースの持つ無垢なイメージが際立ちます。

ポップ風ブルゾン

カラフルなカラーリングや個性的な柄でポップなイメージを強調したタイプのブルゾン。光沢感のある生地が用いられることが多く、スポーティながらも機能性よりかわいらしさに大きく重きを置いた独特な雰囲気が特徴です。

Lessons 08

キュート系のエトセトラ

かわいらしさを重視したキュート系のスタイルに似合うパステルカラーやお菓子モチーフのメイク道具をはじめ、髪型やスカートの動きなどキュートスタイルを描くにあたって役立つ要素をご紹介します。

メイク道具

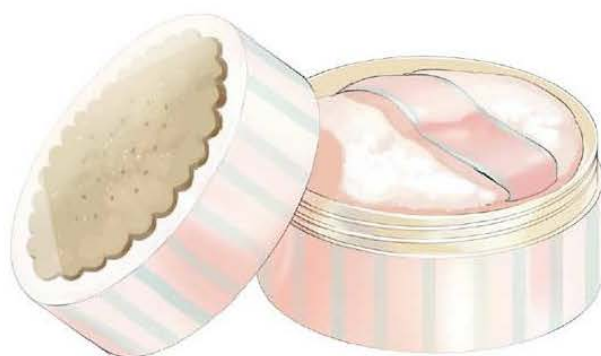
化粧ポーチ

パステルピンクをベースにかわいらしいドーナツ柄があしらわれた化粧ポーチ。エナメル生地で少しだけ大人っぽさを演出しています。ファスナーの持ち手がティーカップ型になっているのがポイントです。

口紅

淡いピンクのラメ入りリップに、パステルブルーのドットがかわいい口紅です。持ち手部分はドーナツのようなパールと金縁で、お菓子を連想するモチーフを取り入れています。

フェイスブラシ

ピンクベースにシルバーのストライプが入ったフェイスブラシ。ブラシ部分もピンク色で、お化粧の最中も手元がキュートに見えるアイテムです。

ファンデーション

パステルピンク、パステルブルーのストライプに、大きなクッキー柄の蓋が特徴のパフファンデーションです。パフは本体も持ち手もピンクの、隅々までかわいいデザイン。

アイシャドウ

キャンディモチーフのアイシャドウ。ストライプやドットのデザインが入っていてかわいらしい印象です。色味はピンク、イエロー、ホワイトと女の子らしい色選び。

チーク

ドーナツ柄のコンパクトチーク。化粧ポーチとは反対にパステルブルーをベースにしたデザインです。内側もストライプを忘れずに、細かいところまでかわいさの行き届くデザインです。

ヘアスタイル

ナチュラル ショートボブ

内巻きがかわいらしいナチュラルショートボブ。シルエットが丸く、ふんわりとした印象を見る人に与えるため、キュート系のスタイルにぴったりです。首元がすっきりしているため、アクティブ寄りな服装にも合います。

ミックス巻きアレンジ

ふんわりとした内巻きと、毛先のくるくるカールを合わせたミックスアレンジ巻きです。シルエットをふっくらと膨らませて優しげな印象を与えつつ、肩口にかかる巻き毛が女性らしい雰囲気を醸し出します。クラシカルなスタイルにオススメです。

ハーフアップセミロング

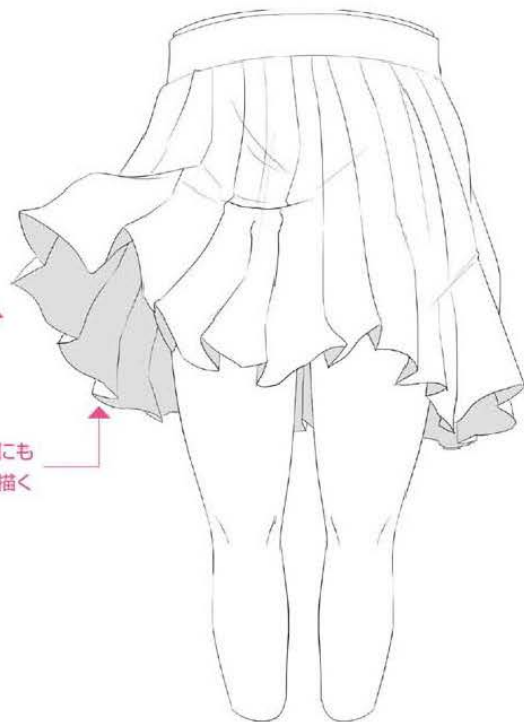
横髪を編み込み、後ろ髪をすっきりとさせるハーフアップセミロング。セミロングの女性らしさに加え、編み込みがお姫様のような印象を与えます。フェミニン系やロリータ系まで、幅広く似合う髪型です。

スカートのポーズ

風になびく

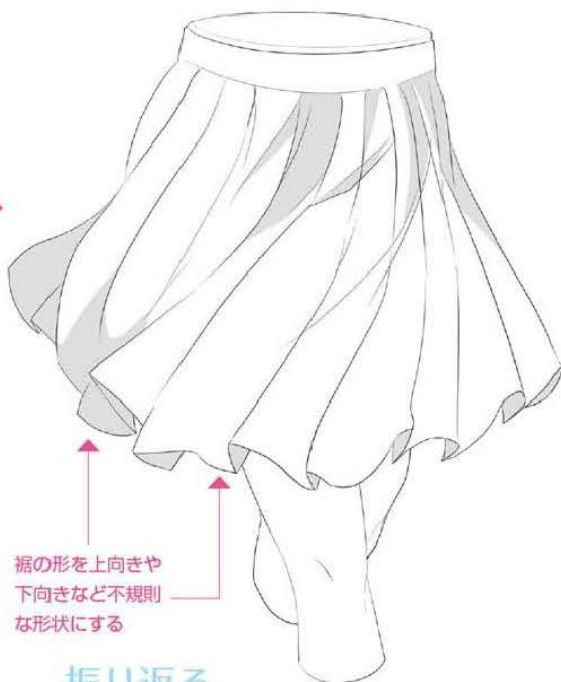
プリーツが横になびき、風の方向へと広がります。広がった側のアウトラインは折れ曲がることで短くなることに注意しましょう。

ひるがえる

ジャンプや風などでスカートがひるがえったときの動きです。躍動感を出したい場面にも用います。スカートの裾をばらばらに広げ、裾に高低差をつけつつプリーツの形をやや歪ませると動きが出ます。

しゃがむ

スカートでしゃがむと、足の付け根でプリーツの線が折れ曲がります。また、スカートの裾は股の部分に落ちるので、裾のアウトラインは太もも形に沿って両脚の間で一度凹んだ形になります。

腰掛ける

体の前側に当たるスカート部分は「しゃがむ」と同じ要領で描いていきましょう。違うのは後ろ側で、スカートのアウトラインをお尻に添わせて描いていき、腰掛けている面に接触している部分をたるませ、プリーツを放射線状に広げて描きます。

振り返る

振り返ったスカートの動きは、体から離れている部分ほどプリーツの動きが遅れてひだがひねったような線になります。プリーツの線を太もも付近の位置から曲げはじめ、裾の線はまばらな形にしてふわりと流れる動きを表現しましょう。

第3章
アクティブ系の洋服

Lessons 01

カジュアルテイスト

女の子らしいかわいさは残しつつ、ラフなアイテムを取り入れることでほどよくリラックスした雰囲気にまとめたスタイルです。活発さや瑞々しい印象を与えたいときの服装に向いています。

デニムスカートコーデ

フリンジ（紐飾り）が入ったブラウス、デニム生地のスカート、側面が開いたセパレートのTストラップパンプス、ミニショルダーバッグによるお出かけコーデ。シンプルな装いながら大人っぽい足元が女性らしさを引き立てています。

POINT

“カジュアル”のポイント

①清潔感のある白系トップスを活用

ラフな服が多いカジュアルテイストで女の子らしい魅力を高めるには清潔感が重要です。清潔なイメージが特に強い白色をはじめ、ベージュや薄い色などをシンプルめなトップスやワンピースに用いるのがおすすめです。

②デニムアイテムでカジュアルダウン

デニムジャケットやデニムスカートといったデニム生地の服はカジュアル感がとても強いアイテムです。まったく違う系統の服もデニム系のアイテムと合わせることでカジュアル寄りのコーデ（カジュアルダウン）にすることができます。

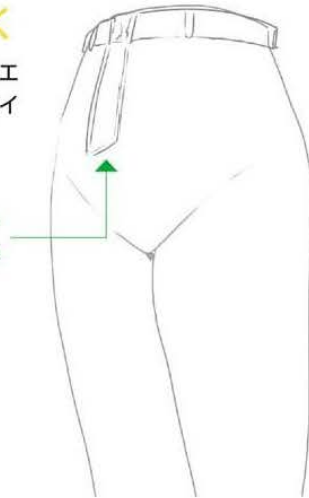
③靴やバッグに女性らしいアイテムを混ぜる

スニーカーやスリッポン、トートバッグといったラフなアイテムはカジュアル感を出すのに最適です。ただ、全身カジュアル一色だと子供っぽい印象にもなりやすいので、上品なアイテムをどこかに混ぜると女性らしい印象が強まります。

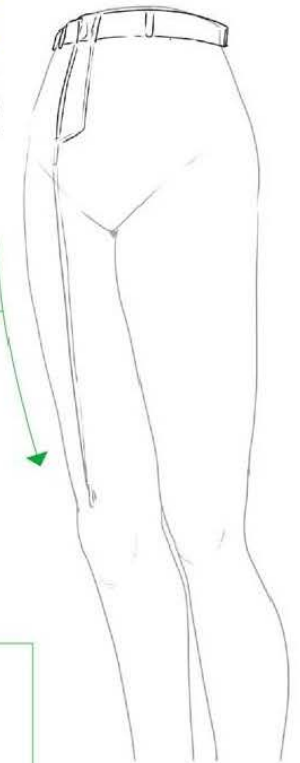
デニムスカートの描き方

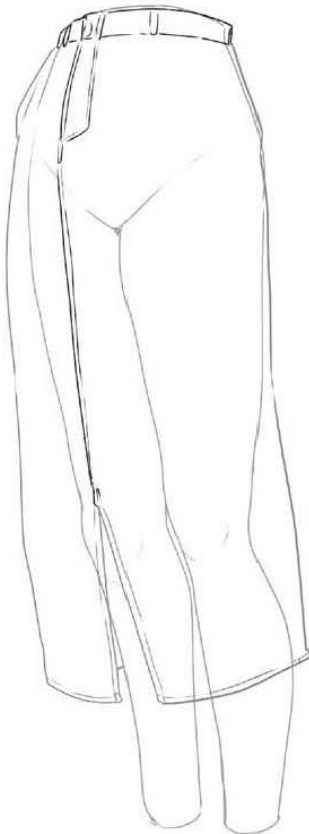
①ウエストベルトを描く

下半身のアタリを参考に、腰の位置にウエストベルトの線を少し大きめのアウトラインで描いていきます。

中央にはボタンとフライ（ファスナーを隠す布）を描き入れる

②縫い目の線を描く

フライの先から、体の内側に向かって線を描きます。ごく細い２本の線を、膝上くらいの長さまで描いていきましょう。

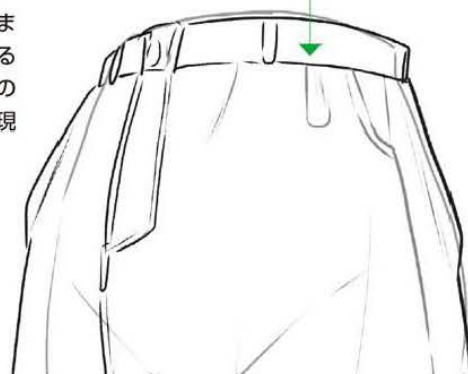
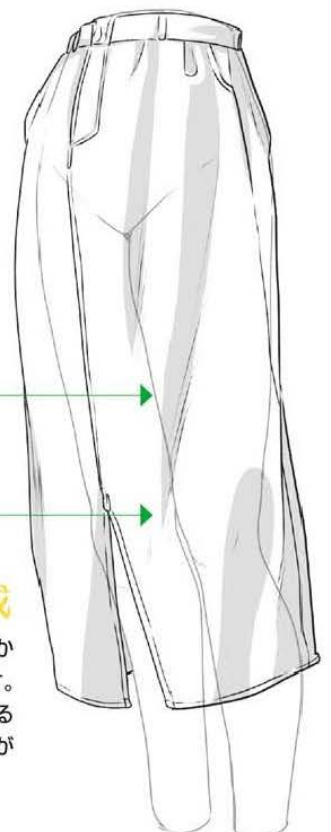
ゆるく内側へカーブするようなイメージで描く

③スカートの　アウトラインを描く

ベルト部分から裾に向かってスカートのアウトラインを描いていきます。縫い目の線を参考に、ふくらはぎの真ん中まで線を引きます。

ポケットの下にサイドの縫い目がくる

④シワや細部を描く

スカートのシワやポケット、サイドの縫い目を描きいれます。シワは細い線で軽く斜線を引き、固めのデニム生地を表現します。

⑤ウエストベルトの　周りを描く

ウエストベルト周辺のシワを描きます。生地が引き絞られる部分であるので、雫の形をしたシワや濃い線の短いシワを描いて凹凸の深さを表現しましょう。

シワの流れに沿うように影を入れる

⑥仕上げて完成

スカートの形に添って上から下へ影を塗って完成です。縦長で大きめの影を入れるとデニム生地の硬い質感が出ます。

カジュアルワンピースコーデ

ガーリーな白ワンピースに裾が短めのデニムジャケット、スニーカーでまとめた春夏向けの爽やかなカジュアルコーデ。赤色のハンドバッグをアクセントにすることで、女の子らしさもアップさせています。

POINT

“カジュアル”のバリエーション

①ミックスコーデで大人カジュアルな印象に

かわいらしいワンピース姿もデニムジャケットを羽織ることで一気にカジュアルな装いに。全身カジュアルアイテムで固めるよりも、他系統とのミックスコーデにすると大人っぽい雰囲気を作りやすくなります。

②レトロスニーカーで活動的な印象をプラス

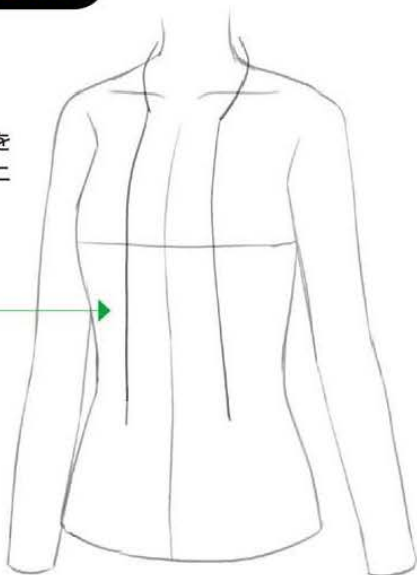
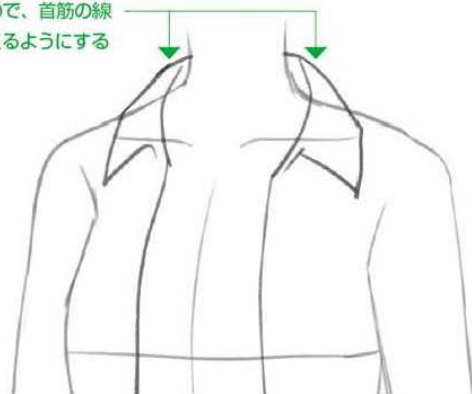
足元にはパンプスではなく、シンプルながらもアクティブさを感じられるスニーカーを選ぶことでカジュアルな印象がアップ。パステルカラーのスニーカーをショートソックスと合わせることで、ほどよい甘さも絶妙に残しています。

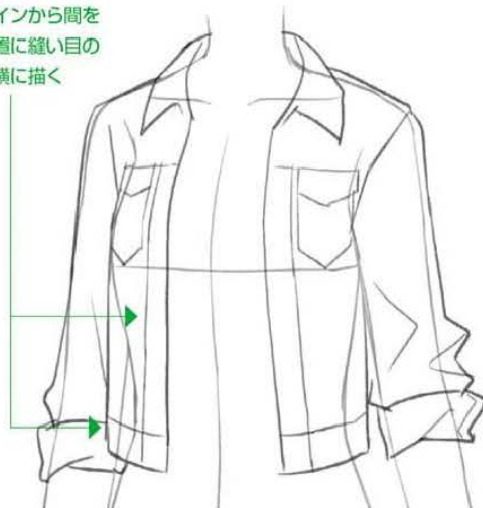
③小物使いで女性らしさをアップ

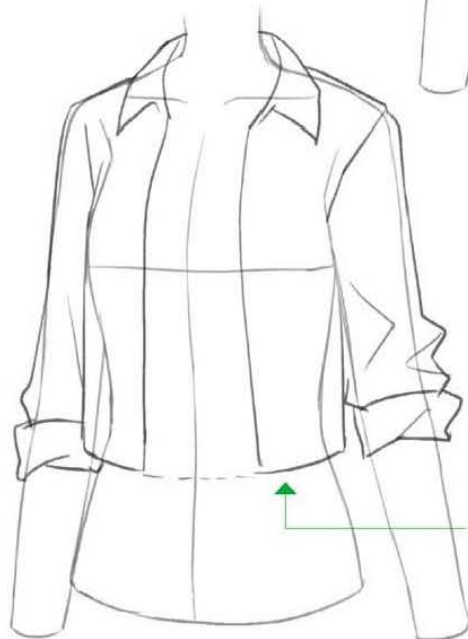
カジュアルウェアはシンプルなデザインの服が多い分、特徴のない普段着にもなりやすいという面があります。色鮮やかなバッグをはじめ、帽子やスカーフを使うなど小物を加えると女性らしさが強調されます。

デニムジャケットの描き方

①首周りと前開きの線を描く

体のアタリを参考に肩のやや上から鎖骨をまたぐようにシャープな半円を描いてデニムジャケットの前開き部分を描きます。

②襟を描く

首の後ろから右に向かって襟の外側を描き、前開きの線からへの字を描いてつなげます。左側も同じように首の後ろから線を描き、逆への字を描いてつなげます。

③袖と前身頃を描く

胴部分の前見頃は胸のトップまでは体のラインに沿い、そこから垂直に線を下ろします。袖は肘の位置でロールアップし、折った袖口周辺のアウトラインをギザギザに波立たせます。

④ポケットや縫い目を描く

前見頃にポケットや縫い目を加えます。ポケットは胸の曲線に沿って左右に角度をつけましょう。

⑤細部を描き込む

襟の下に、下襟の突起を描き入れます。形を整えたらボタン、ボタン部分の縫い目、ポケットの縫い目などを描き込み、デニム生地の質感を表現します。

⑥仕上げて完成

アタリを消し、清書をして完成です。前見頃の影は控えめにし、襟や袖の波打った箇所に影を深く入れるとデニムのしっかりした生地を表現することができます。

カジュアルテイストのコーデ&アイテム

デニムジャケット

デニム地で作られたジャケットはショート丈のコンパクトな形にするとかわいらしい印象がアップします。汎用性が高く、ガーリー系やクール系のコーデをカジュアルダウンする際にも活躍します。

バケットハット

逆さにしたバケツのような形の帽子。垂れた短めのつばで頭部を覆うようなシルエットがラフなかわいさを演出します。ストリート系やアウトドア系にも活用できるアイテムです。

ロングスカート

ほどよくタイトなシルエットのロングスカート。プリーツの入らないタイプは縦のラインがより強調されてスタイリッシュな雰囲気が増すことから、大人っぽくシックな印象にまとめたいときなどに便利です。

ロゴＴカジュアルコーデ

前面にロゴがプリントされたＴシャツを主役にしたコーデ。ロゴＴ自体はカジュアル以外への汎用性も高いため、全体のテイストを左右するのは脇を固めるボトムスや小物使いがポイントです。

スリッポン

靴ひもがなく、足を滑り込ませるだけで履くことができるタイプのスニーカー。全体的にシンプルな構造や見た目をしていることから足元がスッキリとし、ほどよいリラックス感を与えることができます。

サロペット＋Tシャツ

胸当てとサスペンダーのついたズボンであるサロペットは、ボーイッシュさやオシャレ上級者な印象が強まるアイテム。サロペット自体に存在感があるので、インナーはシンプルなものの方がまとまります。

ボーダーカットソー

清潔感があり着回しも利く、カジュアルコーデ定番の横縞カットソー。太くするほどカジュアル度がアップ、青色ならマリン風といったように、縞の幅や色によってテイストを変化させることもできます。

キャミオールインワンコーデ

マニッシュ（男性的）な雰囲気になりがちなオールインワンも、キャミソールタイプだと女性らしさが増します。図のようなボーダーと眼鏡では知的な雰囲気、となるように、合わせるインナー次第で印象が一変するのもポイントです。

Lessons 02

キレカジテイスト

適度なラフさを保ちつつ白シャツなどの上品なアイテムでまとめることで清潔感を強調したカジュアルスタイル。ニューヨークやパリなどでの着こなしの影響が強く、シンプルかつ洗練された雰囲気が特徴です。

シャツ+デニムコーデ

七分袖のきれいめな白シャツとスキニーデニムジーンズ、ストラップの細いショルダーバッグ、鮮やかな色のパンプスでまとめた清潔感あふれる大人のカジュアルスタイル。ロールアップした足元から覗く素足が上品な美しさを演出します。

POINT

“キレカジ”のポイント

①細かなこだわりでシンプルな服装をオシャレな印象に

シンプルな白シャツをサラッと着こなしたスタイルは、些細な部分のこだわりが大きく印象を左右します。着丈のバランスや胸元のボタンを開ける数、袖のめくり方など、キャラクターにあったバランスを見つけましょう。

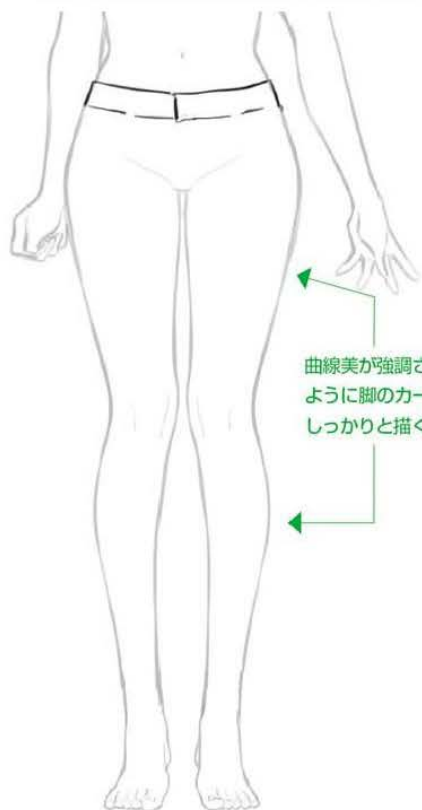
②デニムは細身のもので優美な雰囲気を出す

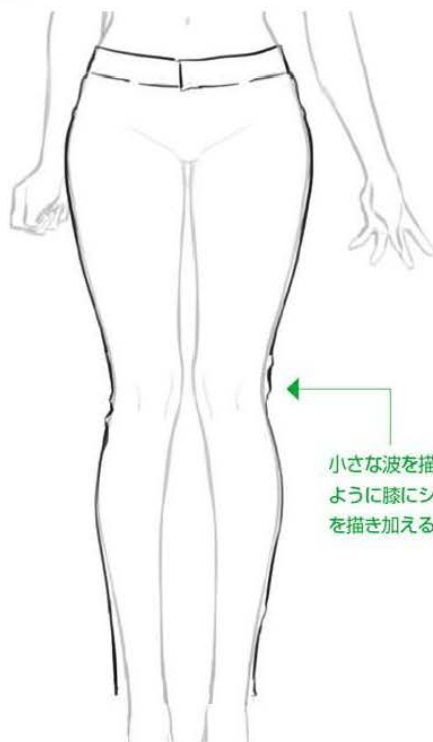
カジュアルな印象の強いジーンズも、色落ちがほとんどしていないものや脚のラインが出るスキニータイプを選ぶことでドレッシーな雰囲気をまとわせることができます。ロールアップが足元に軽快さを生み出しているのもポイント。

③雰囲気に沿った小物使いでグレードアップ

小物使いもシンプルな佇まいや、そこから溢れる上品さを意識しましょう。カバンやピアスは服装全体との馴染みのよさを優先しつつ、靴に差し色を置くことで女性らしい華やかな印象を鮮明にしています。

スキニージーンズの描き方

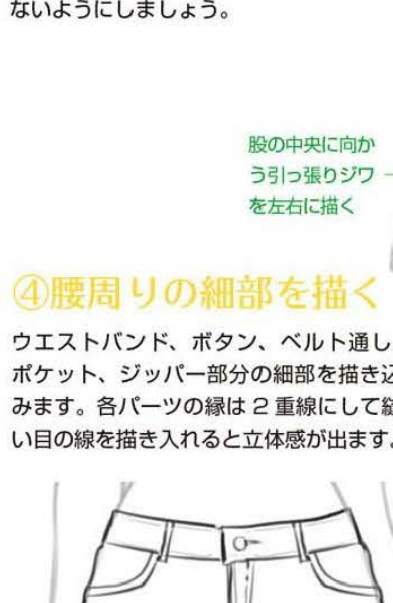
小さな波を描く
ように膝にシワ
を描き加える

①下半身のアタリと ウエストバンドを描く

体のアタリを描き、ウエストバンドの位置を描き入れます。細身に見せるために、脚もあまり大きなアウトラインでは描かないようにしましょう。

②外側のアウトラインを描く

スキニーは脚にぴったりとフォットするジーンズであるため、脚のアタリをなぞるように描いていきます。膝の関節や裾は若干生地が余るため、軽くだぶつかせます。

③内側のアウトラインを描く

股の内側のアウトラインは生地が膝に引っ張られて余りにくいため、ほとんどアタリをなぞるような形で描いていきます。

股の中央に向か
う引っ張りジワ
を左右に描く

④腰周りの細部を描く

ウエストバンド、ボタン、ベルト通し、ポケット、ジッパー部分の細部を描き込みます。各パーツの縁は2重線にして縫い目の線を描き入れると立体感が出ます。

⑤シワを描き込む

股下やひざに引っ張りジワを描き加えます。スキニージーンズは特に腰回りが突っ張るので、細い横線を中心に向かって描き入れます。

⑥仕上げて完成

細部や足のアウトライン、シワに影を描き入れて完成です。スキニーはぴったりと体にくっついていてシワが浅いため、影は薄めに入れて立体感を強調しすぎないようにします。

シャツブラウスの描き方

①インナーのキャミソールを描く

上半身のアタリを元にインナーのキャミソールを描きます。キャミソールのアウトラインは体にぴったりと沿うように描いていきましょう。

ウエストの位置のみ軽く生地が寄ってシワができる

②ブラウスのアウトラインを描く

ブラウスのアウトラインは、胸のトップが接触する程度で、他は体より大きめに描いていきます。

キャミソールが軽く覗くくらいまで襟ぐりを深めに描いていく

襟の線が首の近くで軽く下に凹む

③襟を描く

上襟を描きます。襟ぐりがV字型に深いので、通常のシャツよりも襟が開いた形になります。

④袖や裾を描く

袖は肩から肘にかけて腕のアタリよりも大きくアウトラインを取ります。裾の部分にはたるみジワを描き加えます。

ブラウスには斜線でしわを描く

外に見えている部分は黒、透かし部分はグレーで白を重ねて薄くする

⑤キャミソールに色を塗る

ブラウスの透け感を出すために、キャミソールを黒く塗り大人っぽい黒インナーに仕立てます。

消しゴムでエッジの利いたブラウスのシワを入れる

⑥仕上げて完成

キャミソールを消しゴムで消していき、ブラウスにうっすらを浮かび上がるようなぼかしを表現して完成です。

キレカジテイストのコーデ&アイテム

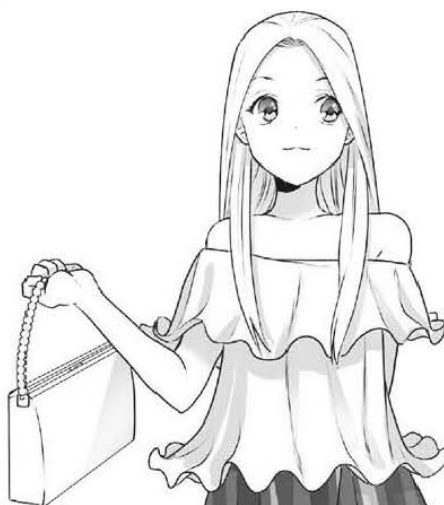
ノースリーブレーストップス

胸元や裾に施されたレースがフェミニンな印象を強めているノースリーブトップス。少しだけ肩口にボリュームを出すことで、腕周りが華奢に見えるようにデザインされています。

リボンスリーブブラウス

袖先にアクセントとしてあしらわれたリボンがかわいらしいブラウス。テロっとした生地が生み出す美しいドレープが特徴的なゆるめシルエットからは、上品ながらも適度なリラックス感が漂います。

ヒールパンプス

ほどよい高さのヒールを持つパンプス。フェミニン寄りのシルエットでありながら、つま先が丸いラウンドトゥタイプであるためやわらかくかわいらしい印象を持たせることができます。

ワイドパンツコーデ

マルチストライプが目を引くワイドパンツを主役にした大人の個性派コーデ。オフショルダーのティアードブラウスが甘さを、ドレッシーなバッグが上品さを添えることで、きれいめな雰囲気をキープしています。

アンクルストラップサンダル

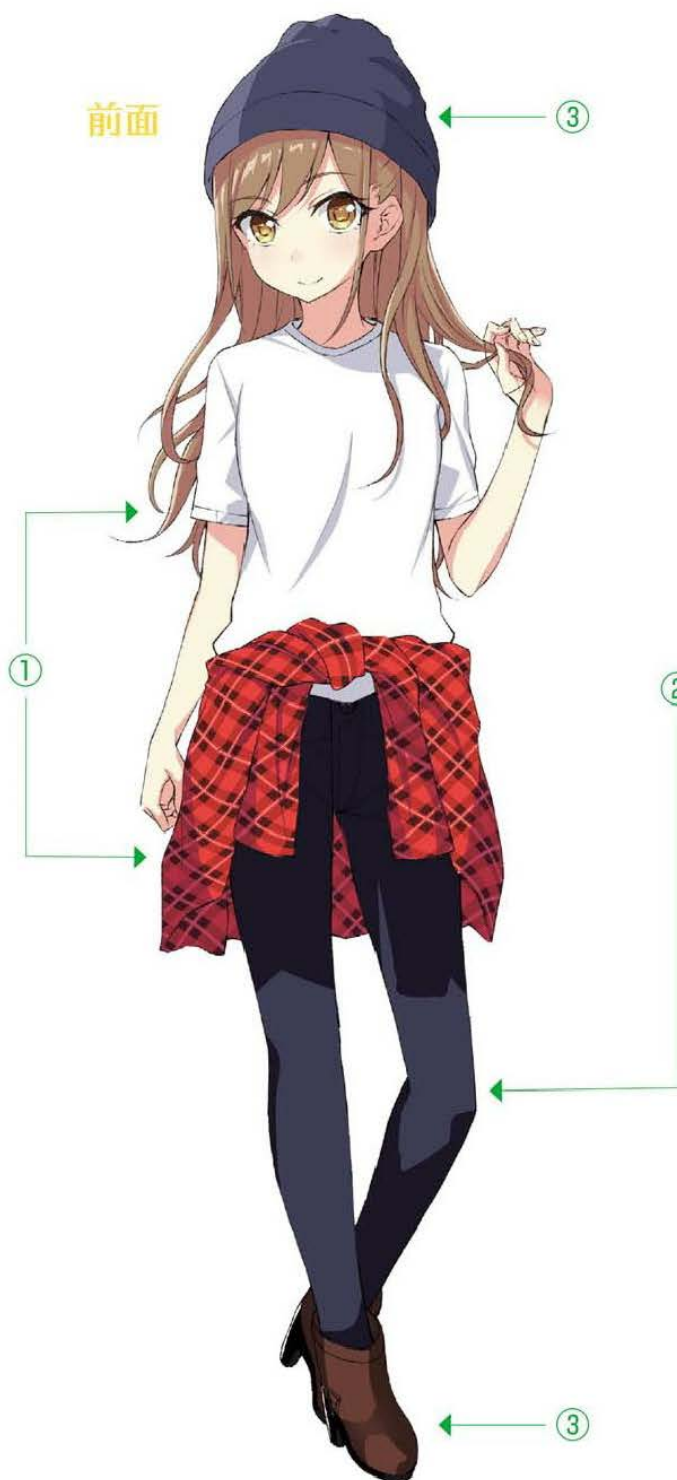
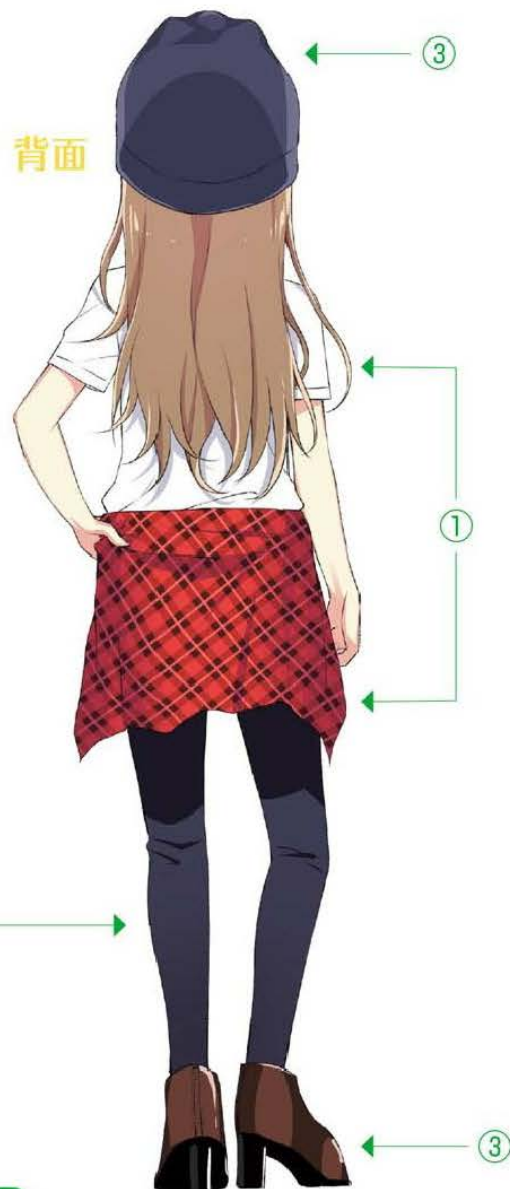
足首を一周するベルトストラップでかかとを固定するタイプのサンダル。ストラップは視覚的なアクセントとしても機能しており、足首が強調されることで脚全体をスマートに見せる効果があります。

Lessons 03

アメカジテイスト

ジーンズやチェックシャツに代表される、アメリカ風のラフなテイストを大きく取り入れたスタイル。カジュアルファッションの代名詞ともいえ、着こなし方次第で無骨にもきれいめにもなる汎用性の高さを持ちます。

ネルシャツ腰巻きコーデ

無地の白Tシャツとタイトシルエットなジーンズに赤のネルシャツを腰巻きしたアメカジスタイル。かわいらしい黒のニット帽とブーティを合わせてよりカジュアルさをプラスしたラフな着こなしです。

POINT

"アメカジ"のポイント

①基本はラフ&シンプル

Tシャツとチェックシャツはアメカジの王道アイテムです。シンプルな着こなしでまとめるほど落ち着きが生まれ、大人っぽい雰囲気になります。Tシャツはロゴや絵がプリントされたものもアメカジの定番です。

②ボトムスは細身にすると女性らしい印象に

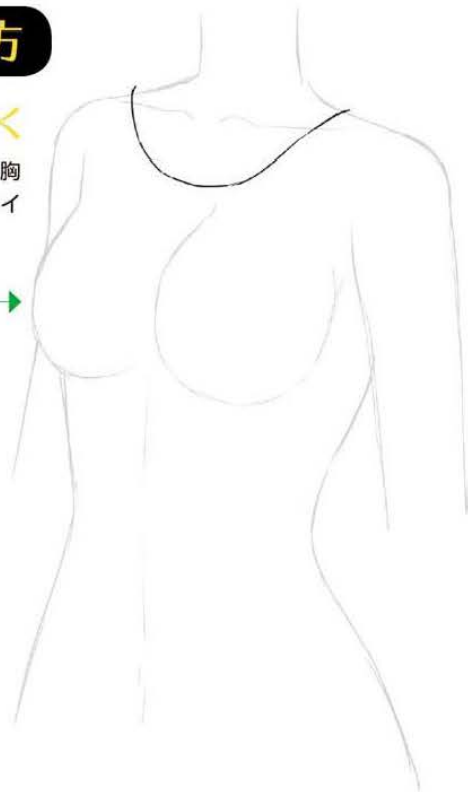
アメカジの象徴であるジーンズは細身できれいめなものを選ぶと洗練された印象になり、ラフなトップスの魅力を引き立てることができます。ショートブーツとの組み合わせも女性らしい可憐さを引き立たせます。

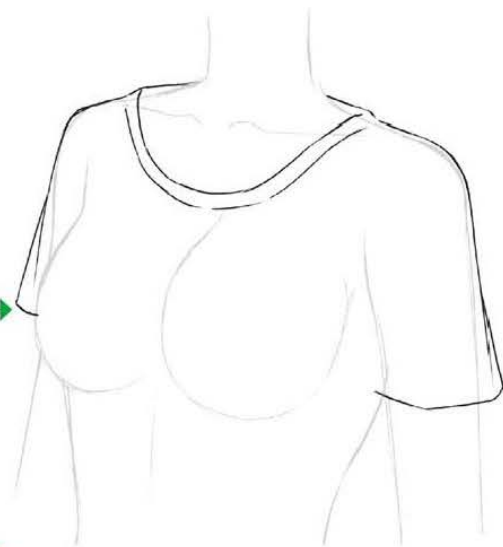
③小物のアクセントで女の子らしさをミックス

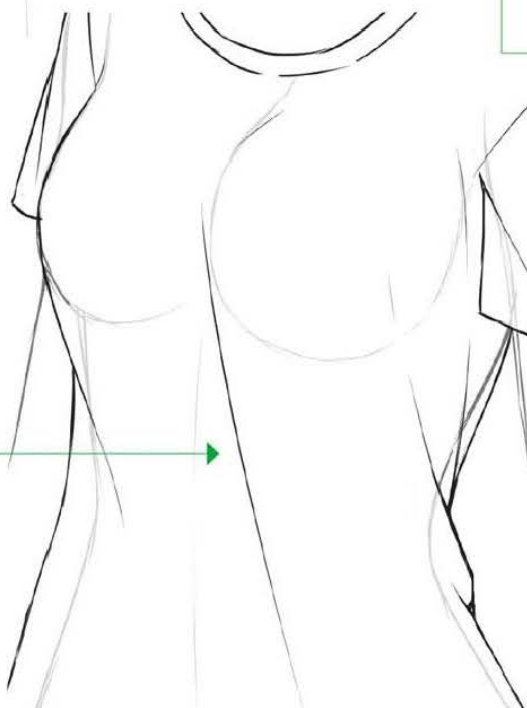
ニット帽やブーティといったやわらかいシルエットの小物を服に合わせると、ラフさだけでなくかわいさをアピールすることができます。足元を引き締めたいときはパンプスやブーツを履くのも効果的です。

Tシャツの描き方

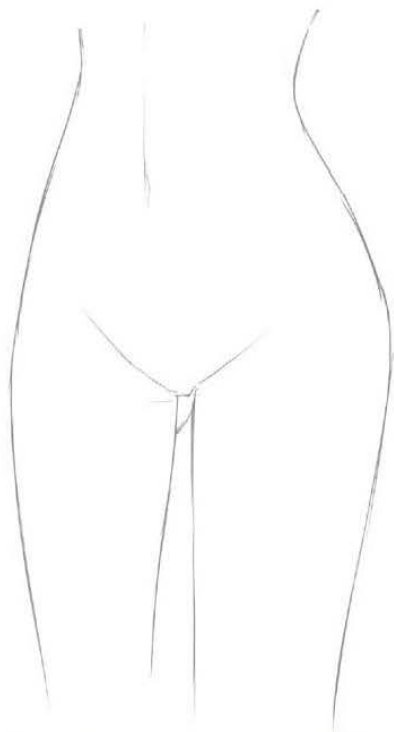
①襟のラインを描く

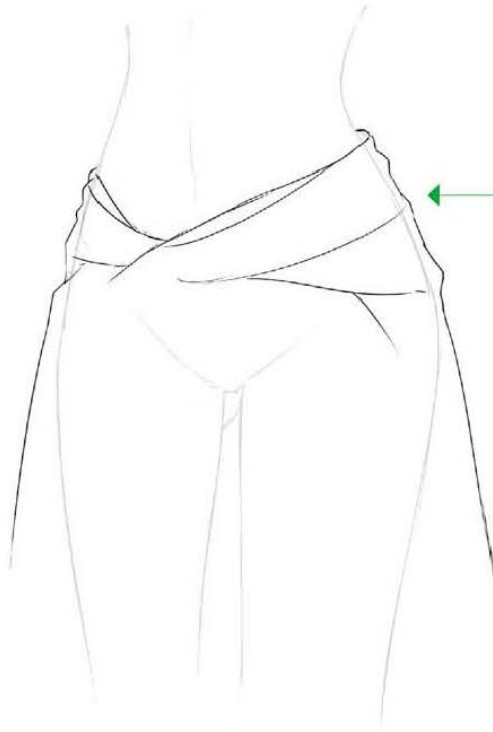
上半身のアタリを描き、鎖骨と胸の上側を通過するように襟のラインを描いていきます。

②袖を描く

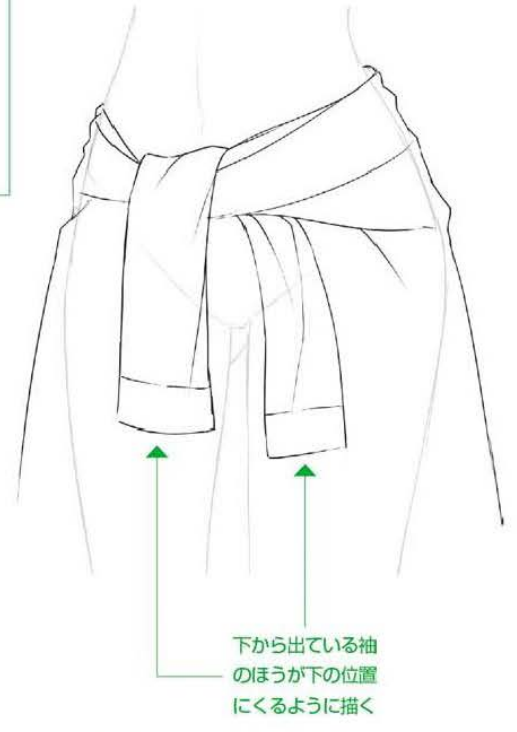
袖のアウトラインを描いていきます。薄手で着やすい服なので、体のラインに添い、袖口はラインからやや浮かせます。

③胴の部分とシワを描く

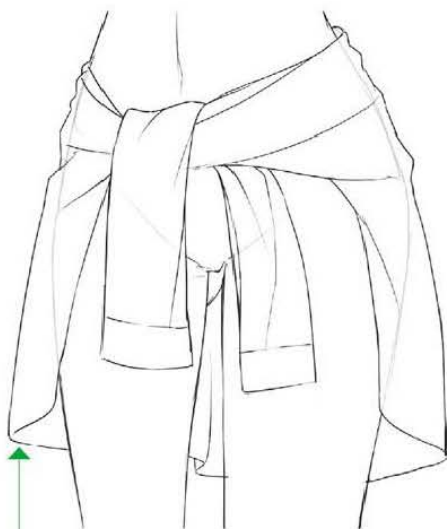
胴の部分は、脇から胸のトップまでは胸の形に沿ったラインを引き、胸の下側は軽く生地が張ったようなやや浮かせたアウトラインを描きます。

④仕上げて完成

胸元や胸の下、脇に影をつけて完成です。シンプルな服なので細かい部分には影を入れすぎず、体の凹凸が強い部分だけを強調するのがポイントです。

腰巻きシャツの描き方

①下半身のアタリを描く

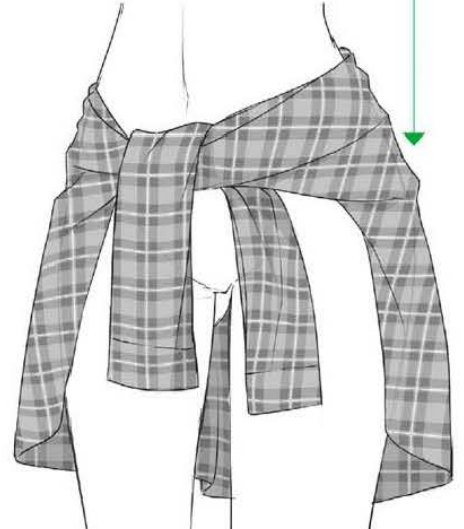
腰から膝上ほどの範囲で下半身のアタリを描きます。骨盤を広めに描いて、腰から脚にかけてのシルエットにボリュームが出るようにします。

②腰周りの線を描く

腰骨の上から巻きつけるように腰に巻いているシャツのアウトラインを描いていきます。中央の位置で布をクロスさせるように描きましょう。

③巻いた袖を描く

中央に巻いた袖の先を描きます。手前の袖は上から覆うように、奥の袖は下からはみ出すように描きます。

④裾の線を描く

腰の周りを覆うのはシャツの肩から前見頃に当たる部分です。両サイドの布は太ももにかかるように描きます。

⑤影を描く

袖の結び目、シワの下側、裾の裏側に影を入れます。柄を先に入れると影の形を把握しづらくなるので、先に影を描いておきます。

⑥仕上げて完成

左右の布と結んだ前後の袖、裾の裏側の５箇所にそれぞれ角度を変えてチェック柄のテクスチャを貼って完成です。

アメカジテイストのコーデ&アイテム

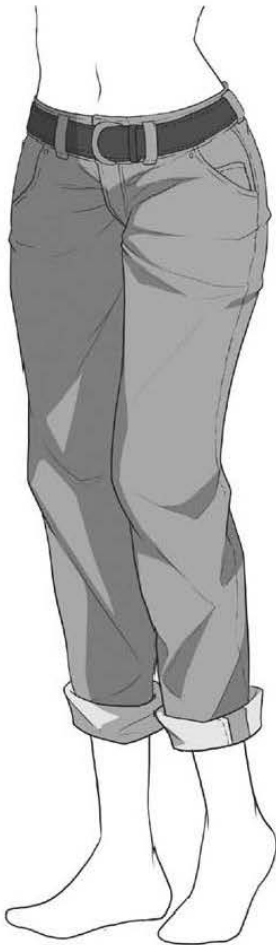
カットソー

裁断されたニット素材を縫製して形づくった服の総称で、主にプリントのないプルオーバー型の生地が薄いトップスのことを指します。首元の開きによりさまざまなタイプがあり、1枚でサラッと着こなすと様になります。

プリントTシャツ

胸へとプリントが入ったTシャツは、ネルシャツと並ぶアメカジの定番トップスです。プリントのテイストにより雰囲気が変わり、アメカジでは特に文字ロゴが大きく目立つデザインのものが多く見られます。

デニムミニスカート

デニム素材で作られたミニスカートはカジュアルさと女性らしさを両立できるアイテムであり、さまざまなコーデで活躍します。固めな質感でジーンズ同様のディテールを持つものほどアメカジコーデとの相性に優れます。

ボーイフレンドデニム

男の子が履くタイプのような、少し大きめで体型の出にくいシルエットが特徴的なジーンズ。ボーイッシュなスタイルはもちろん、女性的で洗練されたコーデにあえて合わせることでこなれた雰囲気を演出することもできます。

ブーティ

くるぶし丈で、女性靴らしいやわらかなシルエットを持つショートブーツです。ブーツとパンプス双方の利点を兼ね備えていることから汎用性が高く、ボトムスを選ばずさまざまコーデにマッチします。

ラフさを前面に出した上半身に対して、ボトムスをタイトなレザーのミニスカートにして引き締め効果をプラス

ネルシャツコーデ

眼鏡などでアクセントをつけつつ、トップスは正統派にプリントTシャツの上へネルシャツを羽織ったアメカジコーデ。インナーは首元の開きが大きいものを選ぶと全体がスッキリとしてオシャレな印象が増します。

Lessons 04

セレカジテイスト

海外セレブがオフの日にしている格好を参考にした、カジュアルながらもさりげない高級感の漂うスタイル。ラフさとスタイリッシュさのバランスをほどよく取り、ワンランク上の華やかさを表現することが重要です。

マキシワンピースコーデ

ウエストに絞りの入ったノースリーブのマキシワンピース、ミュール、レディースサングラスにクラッチバッグを抱えたセレブスタイル。大きく開いた背中の肌見せや腰周りのラインが女性的な印象を強めたラグジュアリーな装いです。

POINT

“セレカジ”のポイント

①自然体ながらオーラのある着こなし

ドレッシーなマキシ丈のワンピースやパンツをスタイルよくさらっと着こなすことで、ワンランク上の余裕が漂う大人な印象に。キャラも気取らせず肩の力を抜いて、ほどよい抜け感を持たせることも大切です。

②サングラスや小物でセレブ感アップ

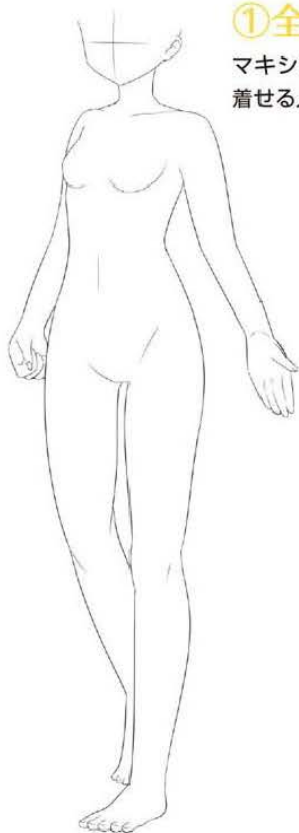
セレブの休日感を演出する上で、サングラスは重要なアイテム。カバンなどの小物も色合いで高級感を出す、適度な装飾を加えて上質な雰囲気を持たせるなど、細部まで気配りしましょう。

③あえての外しでオシャレ上級者な印象に

足元はサンダルやミュールなどでリラックス感を前面に出しつつ色味を服と同系色に揃える、スタイリッシュなコーデでバッグだけはドレッシーさを強調するなど、調和からあえて外れた要素を取り入れるとこなれた感じが出ます。

マキシワンピースの描き方

①全身のアタリを描く

マキシワンピースは体全体を覆うので、着せる人物も全身のアタリで描きます。

②トップス部分の線を描く

襟元にＶネック型のトップスのアウトラインを描きます。腰の位置に胴体部分の切り替えがあるので、胸から下は体のラインより余裕を持って、ウエストの部分をたわませます。

③スカート部分の線を描く

トップスの切り替え部分からスカートのアウトラインを描き始めます。体のアタリに沿いながら緩やかにカーブさせ、裾の部分は段のあるひだを描くようにします。

④切り返しの線を描く

切り替え部分にやや波打った線を描きいれ、ウエスト部分の生地のたわみを表現します。スカートの付け根にはハの字型や雫型のシワを描き入れます。

⑤全体にシワを描き込む

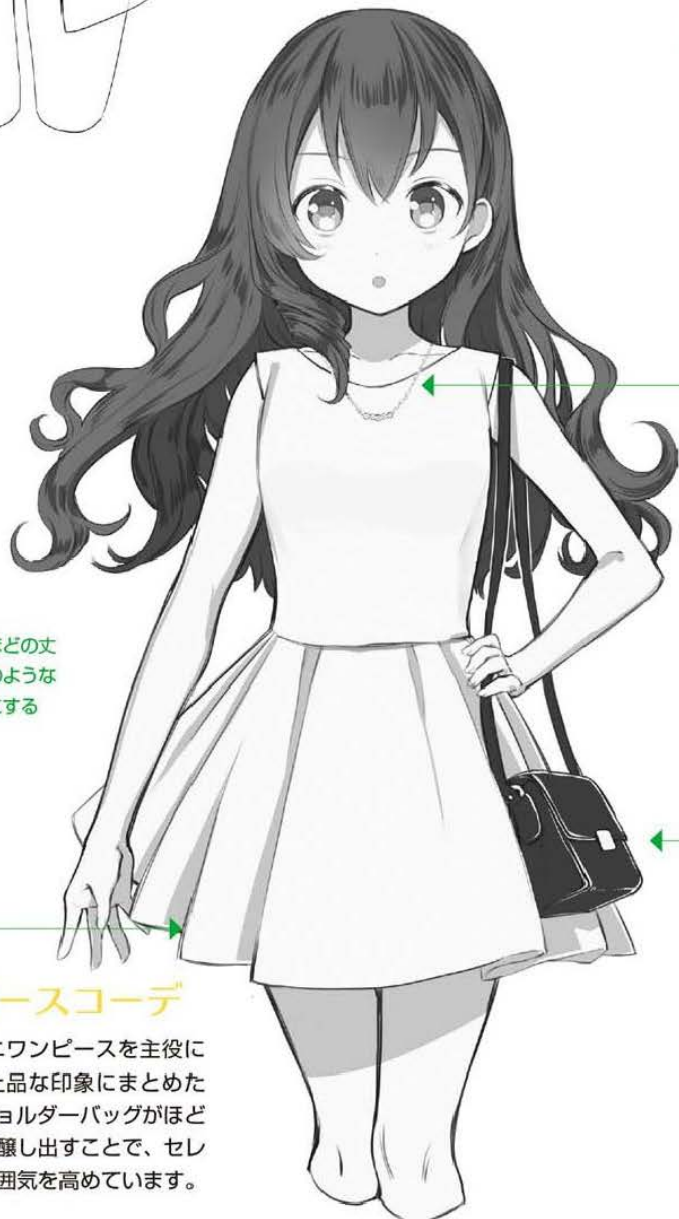
トップス部分は胸元や脇にシワを入れ、体のラインを出します。スカートは体のアタリを参考に、太もも、股の部分にシワを描き込みましょう。

⑥仕上げて完成

シワの合間や胸の下側などに影を入れて完成です。マキシワンピースは生地が薄く動きがつきやすいため、足の形がワンピース越しでも浮き上がります。

セレカジテイストのコーデ&アイテム

ノースリーブジャケット

袖部がないタイプのジャケットで、大ぶりな襟や長めの丈をしているものも多く見られます。あくまでサラリと、全体のスタイルに馴染ませるような形でコーデすると上品にまとまります。

セットアップ

同じ素材や柄で作られたトップスとボトムスのセット。上下別々に使いまわすことも可能であり、単体では個性的なアイテムもセットアップで揃えれば統一感が簡単に生まれ、洗練された印象を与えます。

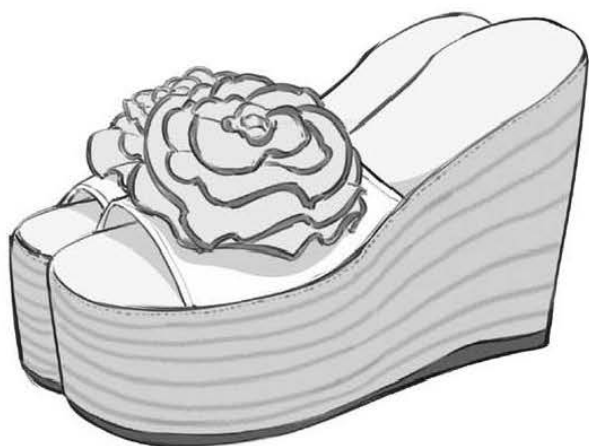
ミニワンピースコーデ

ノースリーブのミニワンピースを主役にシンプルながらも上品な印象にまとめたコーデ。小さめのショルダーバッグがほどよいカジュアルさを醸し出すことで、セレブの休日のような雰囲気を高めています。

レディースサングラス

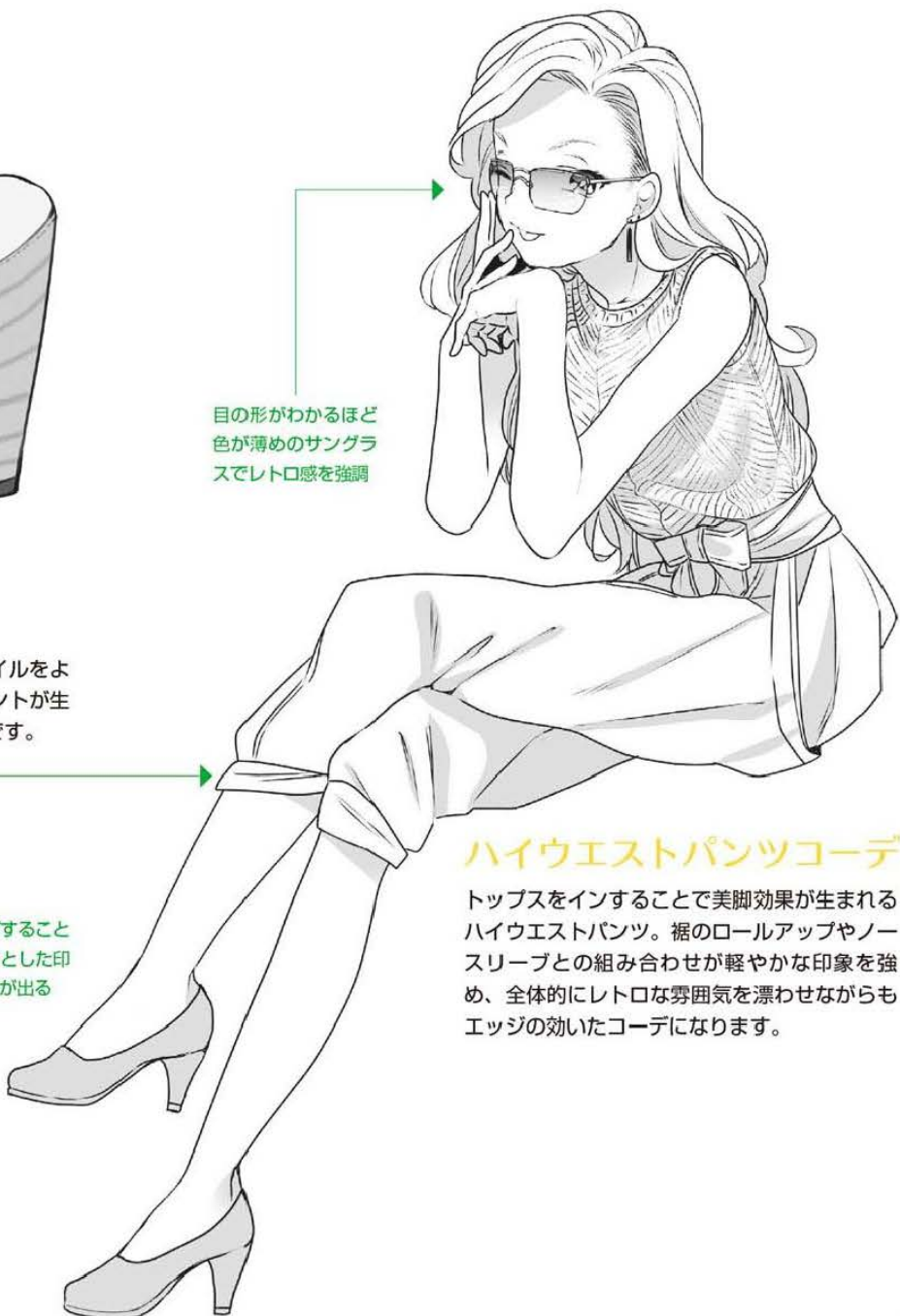
日差しから目を守ってくれるサングラスは、クラシカルな大きめフレームのものほど着用者のオシャレなオーラを高めてくれます。シンプルかつ上品なコーデに、アクセントとして組み込むと失敗がありません。

ショルダーバッグ

肩に掛けるタイプのバッグ。材質はレザーのものが多く、ショルダーベルトを外せばハンドバッグとしても使うことができます。垂直にかければリラックス風、斜め掛けする際はショルダーベルトを短めにして体にくっつけるとスタイリッシュに見えます。

ウェッジソール

ボリューミーな厚底が特徴的なサンダルは全身のスタイルをよく見せる効果があります。自然な形で足元にワンポイントが生まれるため、個性的なロング丈のボトムスとも好相性です。

目の形がわかるほど色が薄めのサングラスでレトロ感を強調

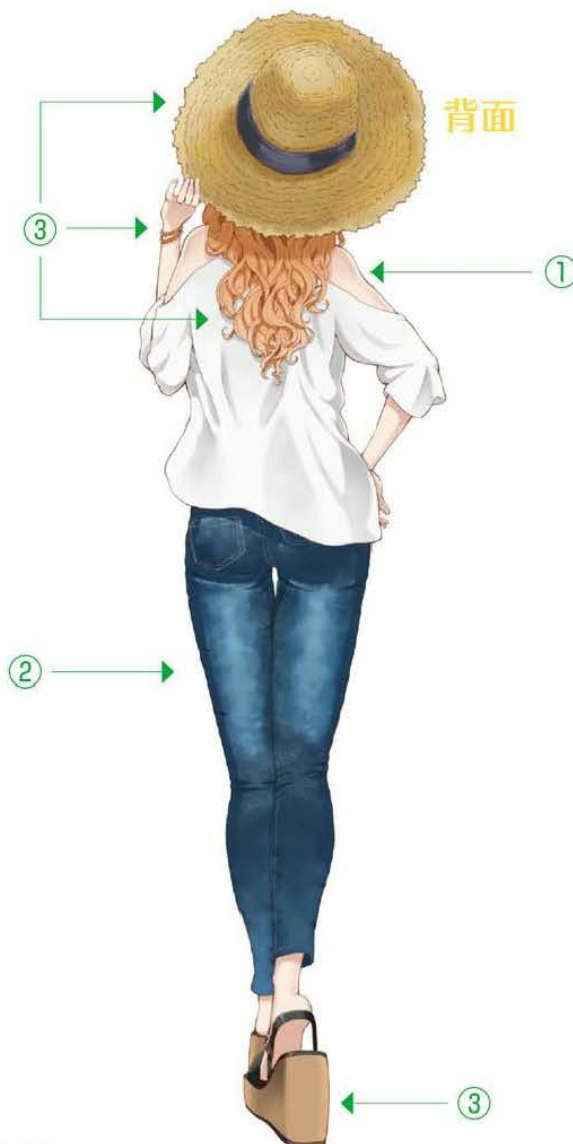
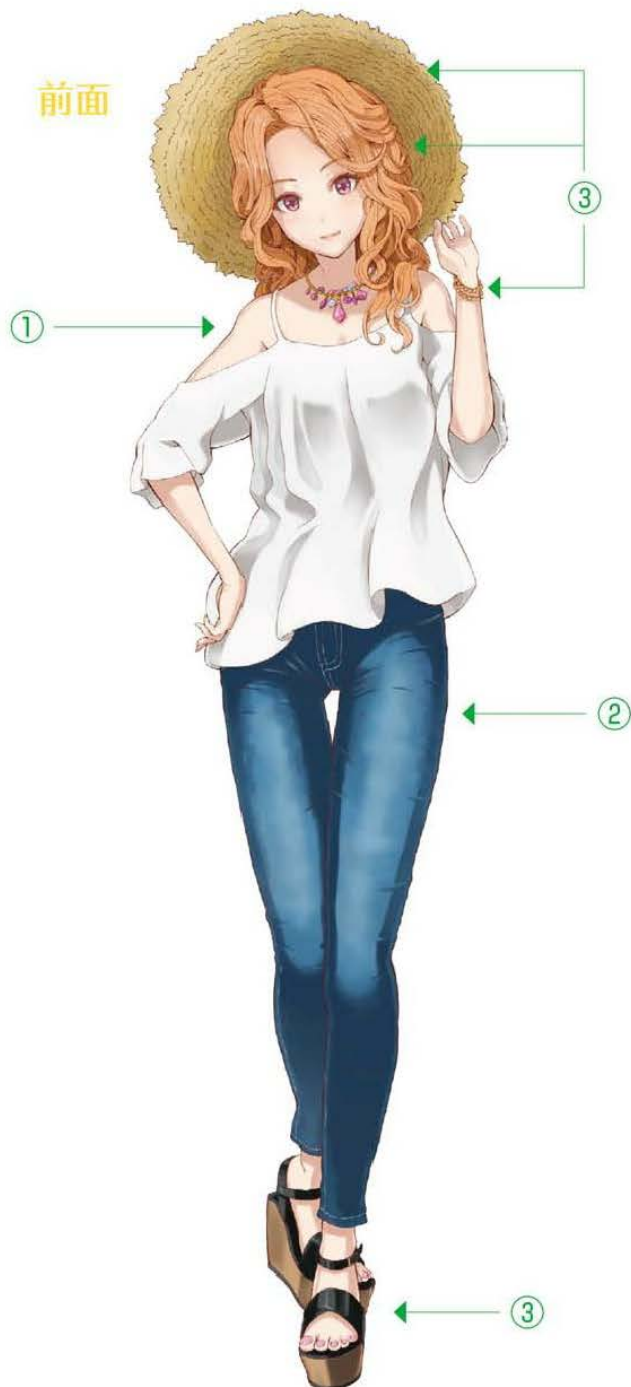
裾をロールアップすることで脚長ですっきりとした印象に見えて抜け感が出る

ハイウエストパンツコーデ

トップスをインすることで美脚効果が生まれるハイウエストパンツ。裾のロールアップやノースリーブとの組み合わせが軽やかな印象を強め、全体的にレトロな雰囲気を漂わせながらもエッジの効いたコーデになります。

ギャルテイスト

目ヂカラを強調したメイクや盛り気味の髪型が特徴的なスタイル。さまざまな系統があり、現在では大人っぽい装いを基調としながらも、肌見せなどでセクシーさやカッコいい雰囲気を強調したものが主流です。

オフショルスキニーコーデ

肩が大胆に露出したオフショルダーブラウス、太ももに隙間ができるほど脚にフィットしたスキニージーンズをメインに、ストローハットやウェッジソールサンダルを合わせた爽やかなセクシーギャル系コーデ。首元や手首のアクセサリーがシンプルなカラーリングに適度なアクセントを加えています。

POINT

“ギャル”のポイント

①肌見せポイントを作ってかわいくセクシーに

ギャルテイストはおおまかにセクシー系、モード系、キュート系があり、セクシー系のコーデは肩やお腹、脚といった女性らしいパーツを見せる着こなしが中心です。ワイドパンツを履くならトップスはオフショルダーで肩見せ、長袖を着るならショートパンツで脚見せなど、どこかに肌見せポイントを作ってセクシーさを加えます。

②ボトムスで美脚に見せる

セクシー系ギャルのデニムはほどよく色落ちした、カジュアル寄りなものが基本。脚のラインを出しつつもお尻はスッキリと小さく見える、美脚タイプのものが特に好まれます。一方で、ハイウエストなワイドパンツで脚長に見せるコーデも効果的です。

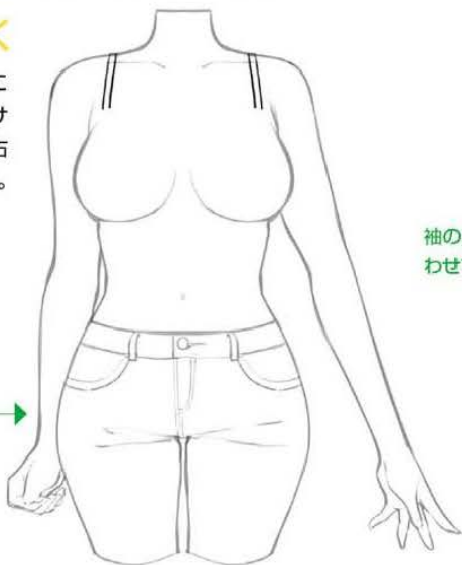
③メイクやヘアアレンジはしっかり、小物も活用

ギャルコーデは服だけでなくメイクをしっかりめにして髪型もきちんとアレンジするのが重要。小物ならウェッジソール（厚底）のサンダルやブーツ、ストローハットなどもギャルらしい華やかさのある装いを彩るアイテムです。

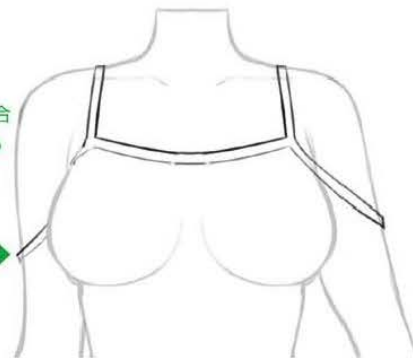
オフショルダートップスの描き方

①体と肩ひもを描く

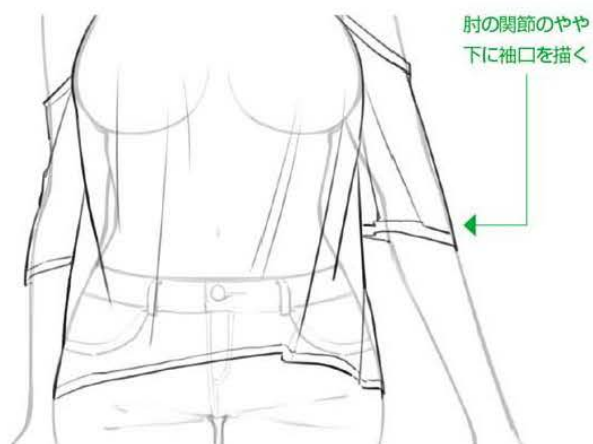
体のアタリを描き、肩の付け根に肩ひもを描いていきます。胸のサイズが大きい場合、紐はやや左右に開くようにして引っ張られます。

裾の高さはパンツに軽くかかる程度の位置

②胸元と肩口の線を描く

胸元は脇の付け根の少し下から、やや曲線を描いて線を引きます。袖も同じ位置からスタートし、二の腕の中間にかかる程度に線を描きましょう。

袖の入り口は腕の動きに合わせて左右で高さが変わる

やわらかく軽い生地なので、胴のアウトラインは胸からすとんと落とさずにやや曲線を描くように描いていきます。

胸から下は体のラインには沿わせず、ウエストを広めにとる

縦方向の線を中心にシワを描き込みます。胸のトップから上部分は張っているのでシワを少なくし、トップの下部分から裾にかけてはシワを多めに入れていきます。

肘の関節のやや下に袖口を描く

⑤袖口や裾を描く

腰を覆う位置で裾を描きます。薄手の素材なので裾の形は不定形で胸に引っ張られるような形に描きます。

⑥仕上げて完成

胸の下部分を中心に、袖の内側やシワの間に影を入れて完成です。胸の影はぼんやりとぼかすような影にすると立体的でセクシーな印象になります。

ワイドパンツの描き方

①パンツのアウトラインを描く

下半身の形に沿ってワイドパンツのアウトラインを描きます。やわらかい生地なので腰周りはピタッとさせ、ふとももから足首にかけてゆったりと広がった線を描いていきます。

裾の幅は脚の倍くらいの広さにする

②体の線を消してバランスを見る

パンツの部分を白で塗りつぶして体の線を見えなくし、パンツの形を整えていきます。バランスがしっくりこないときは体の線を表示して大元の形を調整します。

③ベルトを描く位置の線を消す

ベルトを描くためにベルトが重なる位置のパンツの主線を消します。細身のベルトなので上側の縁の線は残したままにします。

④ベルトとバンドを描く

中央に留め具、左右にベルトループを追加してベルトを描きます。ベルトループの位置は太ももの中心線の上を参考にします。

⑤シワを描き込む

両足の中央を通るパンツの折れ線や股のシワを描き込みます。折れ線はベルトループの下に描き入れます。

⑥仕上げて完成

シワやパンツの内側、脚の端などに影を描いて完成です。生地がやわらかいためシワの形もパキッとした立体的な形状になる点を意識しましょう。

ギャルテイストのアイテム

レースシースルートップス

全体が透け感のあるレースで作られたトップス。インナーにキャミソールなどを合わせ、肌が透ける部分とインナーが透ける部分との表情の差を出すことで、品のある清涼感とセクシーさを両立します。

フリルベアトップ

肌見せ面積の多さから若さあふれるイメージを生みだしやすく、さまざまなギャルコーデに取り入れられるベアトップ。複数段のフリルが施されたタイプであれば、より華やかでリゾート感の強い印象になります。

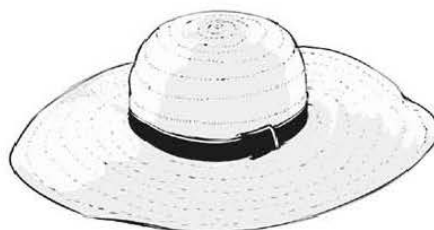
ロングカーディガン

膝丈ほどの長さのカーディガンはインナーに合わせるアイテムを選ばず、また縦のラインが強調されることで女性らしい印象を際立たせます。裾にフリンジを施すことでギャルらしいアクティブなイメージもプラス。

オールインワン

少しモードっぽいテイストを取り入れたいときに便利なオールインワン。１枚で着こなすのはもちろん、トップス部のボタンを多めに開いてチューブトップなどのインナーを大胆に見せるのもスタイリッシュです。

ワイドパンツ

幅広シルエットのパンツは、個性的なスタイルを作りたいときに最適なアイテム。着丈短めのトップスと組み合わせるとスッキリまとまりやすく、柄入りならファッショナブルな雰囲気がより増します。

ストローハット

藁などの天然草素材を編んで作られた被り物で､いわゆる麦わら帽子のことです。夏らしいスタイル作りに最適なアイテムであり、軽やかさを感じる服装と合わせることでリゾート感がアップします。

Lessons 06

ストリートテイスト

路上から自然発生的に流行していったサブカルチャーの集合体といえるスタイルです。なかでもヒップホップやスケーター文化の影響が色濃く現れており、メンズライクなカッコよさや緩さを持つアイテムが好まれます。

ブルゾン+スカートコーデ

ロゴ入りのトップス、膝上丈のタイトスカートにミリタリー風のブルゾンを着用。スポーティなキャップやスニーカーに小型のリュックを身に付けたアクティブなコーディネートです。

POINT

“ストリート”のポイント

①男の子っぽいアイテムが中心

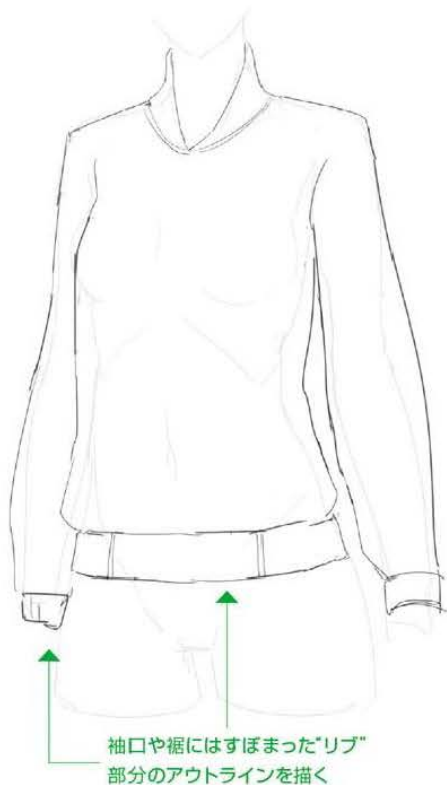
ベースボールキャップや緩めサイズのトップス、ラフな雰囲気のブルゾンなどは、男性的な無骨さがあり、ストリート感を表現するのに最適なアイテムです。

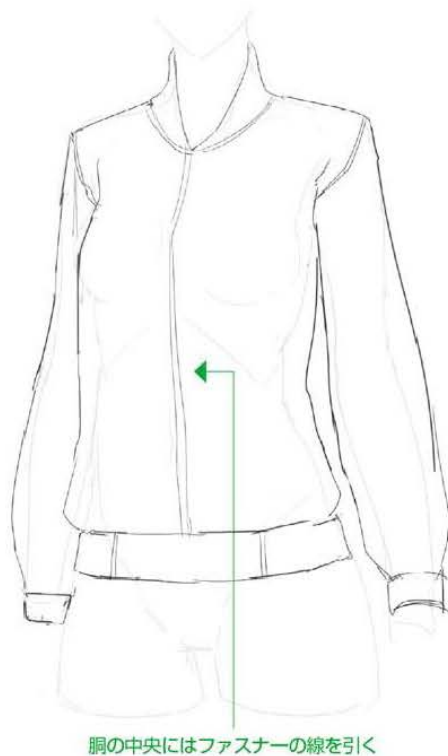
②さり気ない工夫で女の子らしさも表現

小ぶりなリュックやハイウエストのタイトスカートを合わせるなど、メンズライクな中にも一工夫して女の子らしい要素を入れるとかわいげのある雰囲気が絶妙にプラスされます。

③足元にはスニーカーが鉄板

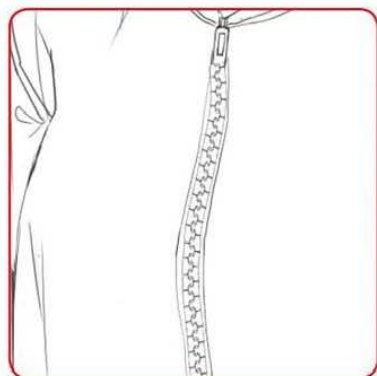
靴は活発な印象を与えるスニーカーが何より好まれます。体の大きさに対して少しゴツめなデザインやサイズにすると、クールな雰囲気も高まる着こなしになります。

ブルゾンの描き方

①服のアウトラインを描く

上半身のアタリを描き、肩、腕、胴のラインを包むようにアウトラインを描きます。

②縫い目の線を描く

肩口に胴と袖の生地をつなぐ縫い目の線を二本引いて立体感を出します。

③シワやポケットを描く

袖には斜めのシワ、胸の下にはふくらんだ生地のシワなど、細かいシワを描き込みます。胴の左右にはポケットの口を描きます。

④細部を描き込む

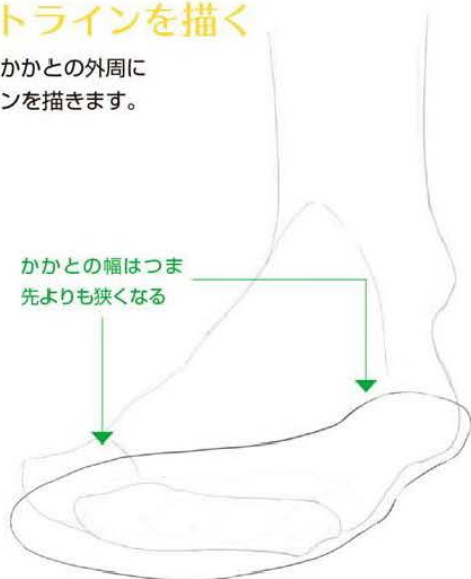
胴中央のファスナーの歯やリブ部分を描き込みます。袖口と裾のリブ部分は縦の線を細かく何本も描くと質感を出ます。

⑤仕上げて完成

首元や肩口、袖など、生地が密集したり重なったりしている部分に影を描いて完成です。

ハイカットスニーカーの描き方

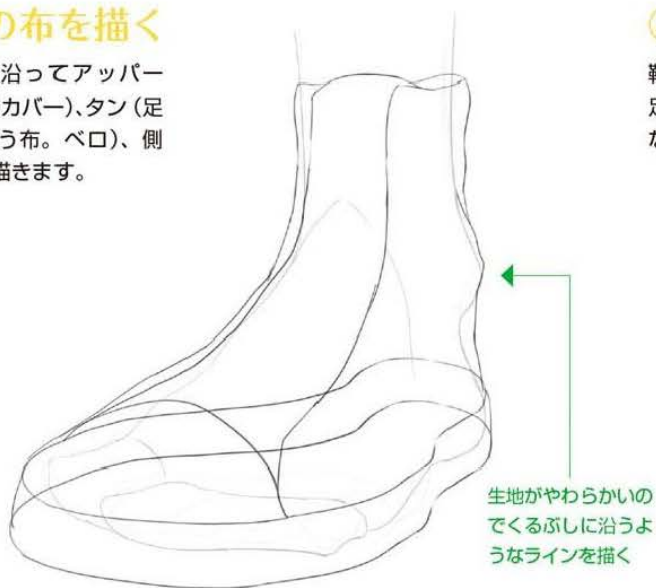
①靴底のアウトラインを描く

足先を描き、つま先からかかとの外周に沿って靴底のアウトラインを描きます。

②靴底の線をコピーする

①で描いた靴底の線をコピーして上下に重ね、靴底の厚みを作ります。

上に配置する線は下の線より少し縮小する

③靴の布を描く

足の形に沿ってアッパー（つま先のカバー）、タン（足の甲を覆う布。ベロ）、側面の布を描きます。

④ハトメを描く

靴ひもを通す穴であるハトメを足首から足先にかけて等間隔になるように描いていきます。

⑤靴ひもを描く

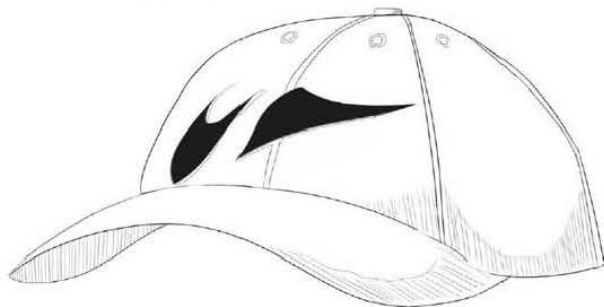
左右のハトメの間をクロスするように靴ひもの線を描きます。足先に向かうほどひもの角度が水平に傾いていく点に注意しましょう。

⑥仕上げて完成

蝶結びにしたひもを描きます。生地の折り目やつなぎ目などに影を描き、靴底のアウトラインに沿うように太いラインを引くなどデザインを描き込んで完成です。

ストリートスタイルのアイテム

ベースボールキャップ

前側につばがついた野球帽。メンズ感の強いアイテムで、これをかぶるだけでストリートらしさが一気に増します。前面にロゴやマークなどが入ったものが一般的です。

スウェットワンピース

太ももくらいまで丈があるスウェット生地の長袖ワンピース。袖やお腹周りにシワを多く描いてやわらかくダボついた質感を出すとラフさでかわいい雰囲気になります。

スタジャン(スタジアムジャンパー)

防寒性が高いボーイッシュなアウター。パンツ系にもスカート系にも相性がよく、カジュアルな服装に羽織るだけでストリート系寄りの印象にすることもできる万能性があります。

ミリタリーＴシャツ

不規則な迷彩柄が入ったＴシャツ。スカートやショートパンツのような女性的な服だけでなくジーンズにも似合うストリート感の強いアイテムです。

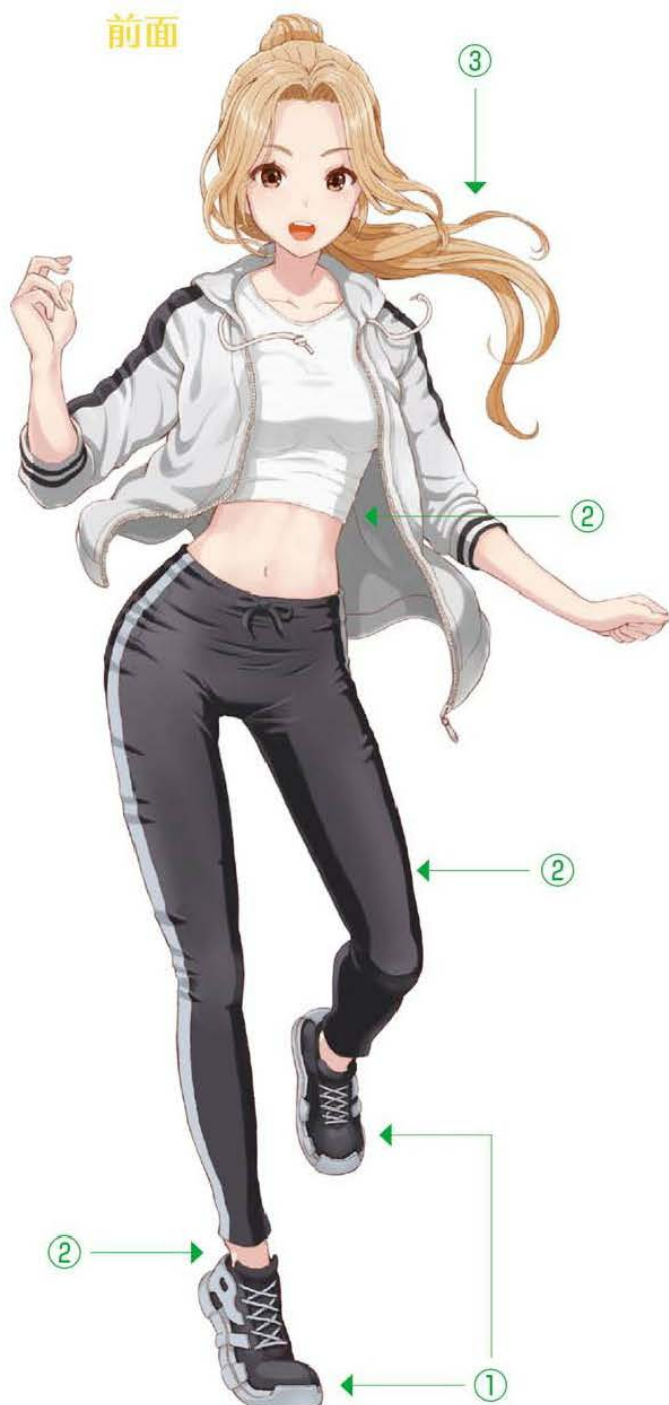
Lessons 07

スポーティテイスト

運動着として用いられるアイテムをスタイリッシュに着こなしたスタイルです。健康的でポジティブな印象があり、スポーツブランドのロゴやサイドなどに配されたラインをアクセントとして活用するのも大きな特徴です。

パーカーアスレジャーコーデ

ラインの入ったスウェットパーカー、ショート丈のタンクトップ、九分丈のタイトなストレッチパンツにハイテクスニーカーを組み合わせた、スポーティな印象でありながら普段違いもできるアスレジャー※なコーデです。

※アスレジャー：アスレチック（運動競技）とレジャー（余暇）をかけあわせた造語で、スポーツウェアを街着に取り入れるスタイル。

POINT

“スポーティ”のポイント

①スポーツシューズで足元に軽さを出す

靴はランニングシューズやスニーカーなど軽快なものを使うのがポイント。なかでも機能性の高さがデザイン上でも表現されたハイテクスニーカーは、派手な色合いにすることでアクセントとしても面白くなります。

②スリムシルエットで野暮ったさを払拭

タンクトップやストレッチ性のあるパンツなど、体のラインが出るスリムフィットな服装にすると、運動着姿でも女性らしさやスタイリッシュな雰囲気を生み出すことができます。腕やお腹、足首などを軽く露出させると健康的な色気を演出します。

③動きのある髪型でさらにアクティブな印象に

長髪キャラであれば毛束に動きが出やすいポニーテールなどに結わえるのもアクティブ感の演出として効果的です。流れるような毛先の動きで軽やかさを表現しましょう。

スウェットパーカーの描き方

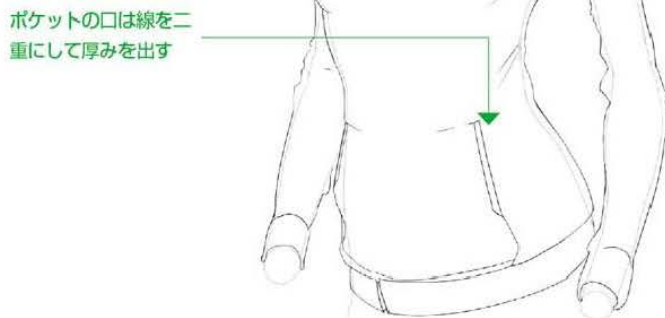
①パーカーのアウトラインを描く

上半身のアタリを描き、腕や胸、腰など体のラインに沿ってパーカーの胴部分や袖のアウトラインを描きます。

②フードやポケットを描く

首の周りに厚みを持たせるようにフードの内側の線と外側の線を描きます。袖口やお腹のポケットも描き入れます。

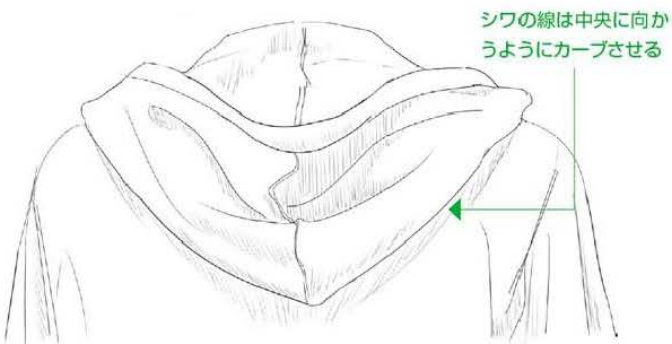
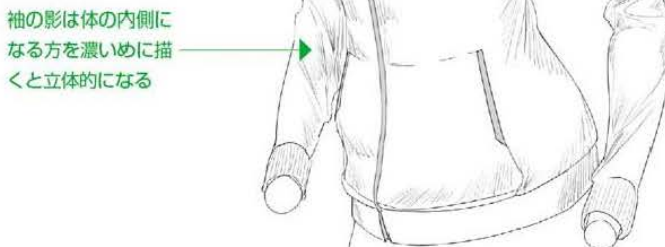
③ファスナーやシワを描く

体の中心線を通るように首元から裾までファスナーの線を描きます。袖や脇の下には生地が重なってできるシワを描き込みます。

④仕上げて完成

フードの左右にひもを描き足します。最後に服の生地が折り重なっている部分、胸や脇の下、袖のシワ、裾などに影を描いて仕上げて完成です。

横から見たフード

真横から見たフードは、首元から背中にかけて山なりの形を描いています。背中側は生地が多く重なっているので折り重なったシワや影ができます。

シワの線は中央に向かうようにカーブさせる

後ろから見たフード

背面から見たフードは下向きのカーブを描くような形をしています。中央部分がもっとも生地がだぶついていて大きなシワと影ができます。

ストレッチパンツの描き方

①パンツのアウトラインを描く

下半身のアタリを描き、腰骨のあたりから足首に向かって体のラインに沿うようにパンツのアウトラインを描いていきます。

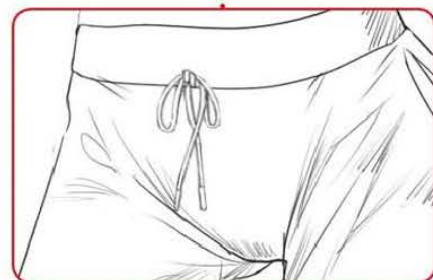
②ウエストベルトなどを描く

腰の位置にウエストベルト、サイドの部分にはポケットの口を描きます。裾の部分にも横に2本線を描いて裾口を作ります。

③全体にシワを描き入れる

股の周辺、太ももから膝、膝から足先にかけて服のシワを描きます。シワの線は上から下に向かって長めの線を描きましょう。

④仕上げて完成

ウエストのひもやパンツ全体に影を描いて完成です。影はシワの隣や服の背面側を中心に入れます。

スポーティテイストのコーデ&アイテム

ショート タンクトップ

胸までの範囲をおおうショート丈のタンクトップ。肩やお腹が露出するデザインのためスポーティな印象が強くなります。

ジャージ

襟、袖口、裾がリブ状で防寒性が高いデザインの長袖ジャージ。ファスナーのラインで胸のふくらみを表現する、腰にくびれを作るなどシルエットに一工夫を加えると女性らしさが出ます。

ランニングショーツ

動きやすさを重視したランニング用のショートパンツ。裾は太ももの付け根に近い丈で、両サイドに切れ込みが入っています。素足が出るので健康的な印象になります。

ランニングシューズ

靴底がゴムでできた軽量な運動靴。汗を吸収しやすいようメッシュ素材を使ったものが多く、靴ひもがついているものが一般的です。アクティブな印象をもたせたいキャラに使いやすいアイテムです。

ビーチウェア コーデ

ショートパンツに水着のビキニを合わせたビーチ向けのスタイル。清涼感があってキャップなどのスポーティなアイテムと相性がよく、オープンな性格のキャラに似合います。

Lessons 08

アウトドアテイスト

山登りなどに用いられるアウトドア用の服装を街着へ落とし込んだスタイル。アウトドア用の服装は動きやすさや機能性に優れ、カラーリングも原色が大胆に使われたものが多いため、活動的な印象が生まれます。

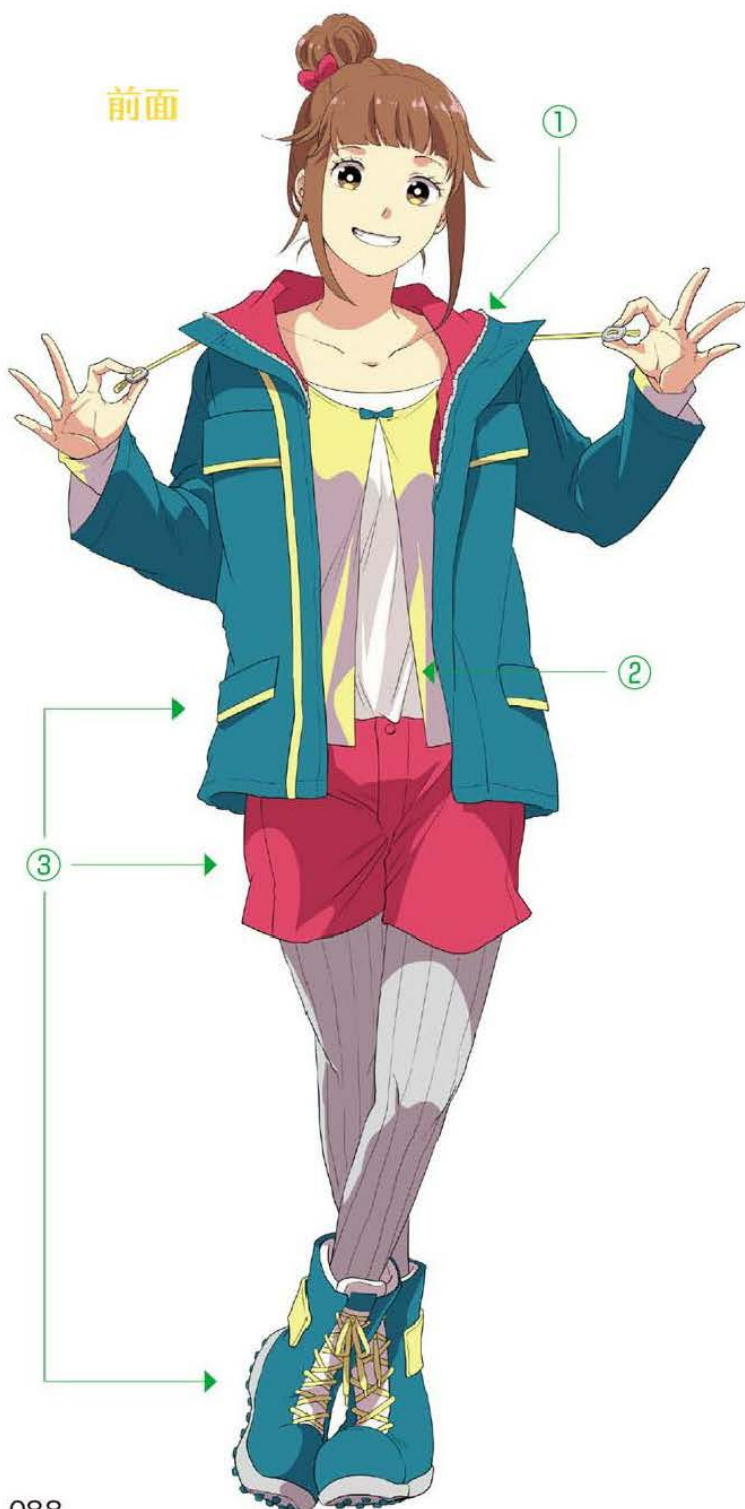
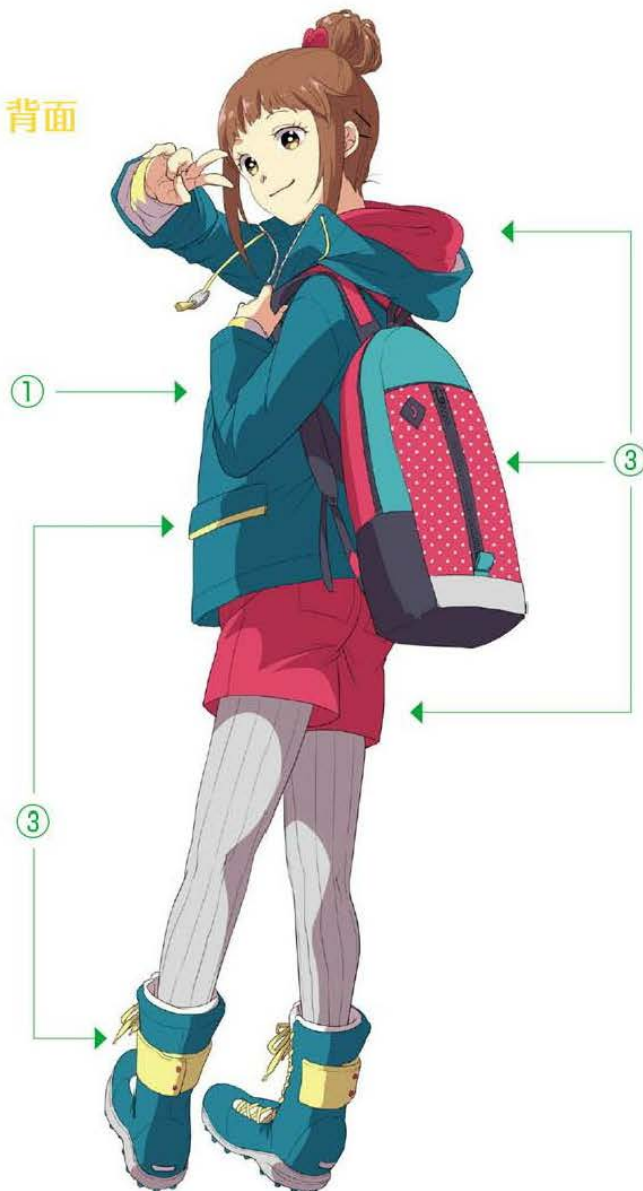
山ガールコーデ

女の子らしいブラウスの上にマウンテンパーカーを羽織り、トレッキングショートパンツ、リブニットタイツ、トレッキングシューズでまとめた登山服風のファッション。服の色合いに合わせたビビットな色使いのリュックもポイントです。

前面

①

②

③

背面

POINT

“アウトドア”のポイント

①アウターの定番はマウンテンパーカー

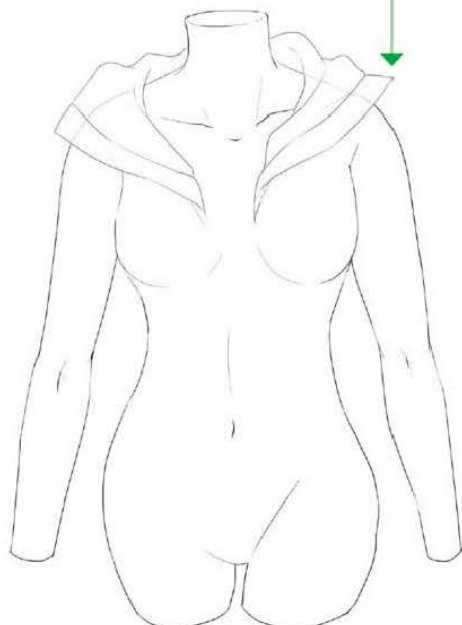
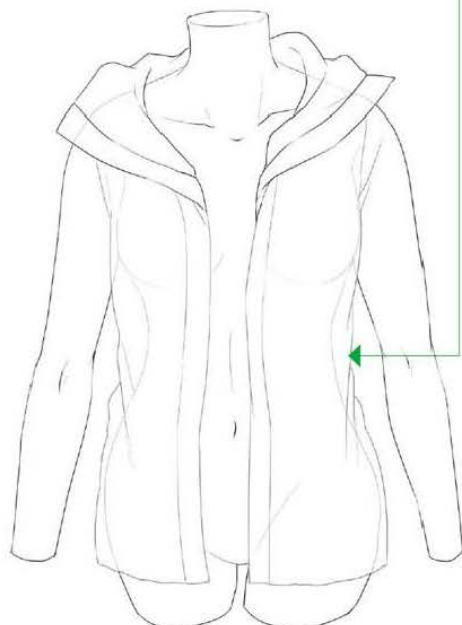
マウンテンパーカーはアウトドアテイストの基本アイテム。山での視認性向上のために目立つデザインのものが多く、個性の表現にも適しています。

②ガーリー MIX で洗練された印象に

全身アウトドア風で揃えると野暮ったい印象になるため、かわいらしいブラウスを合わせるなど女の子らしいアイテムを組み合わせることで街着っぽい洗練された印象が高まります。

③カラーリングのカギは統一感

ビビッドカラーの多色使いも、アイテムごとに共通の色味を持たせると騒がしくなりすぎず、オシャレ上級者な印象を生み出すことができます。

マウンテンパーカーの描き方

①フードを描く

上半身のアタリを描き、首元から肩にかけてを包むようにパーカーのフードを描きます。

②胴部分の線を描く

肩口から裾に向かって胴体を包むように前身頃の線を描いていきます。前開きの部分もフードの内側の位置から裾に向かって線を描いていきます。

③袖を描く

肩口から手首の位置に向かって両袖を描きます。肩口の近くと肘の周りには下方向のシワを入れます。

④ファスナーやポケットなどを描く

フードにはファスナーとひも、胸や腰の位置にはポケットなど細部のパーツの線を描いてディティールを細かくします。

⑤仕上げて完成

フードの下側、袖の体側、裾の周辺などに影を描いて仕上げて完成です。マウンテンパーカーの生地はごわついた質感のため、胴や袖にできる影は不規則な形になります。

トレッキングショートパンツの描き方

中央にはボタンとフライ（パンツの前開きを隠す前立ての布）を描いておく

①ウエストベルトを描く

下半身のアタリを描き、腰骨がある位置を目安にウエストベルトの線を描きます。

②パンツのアウトラインを描く

腰から足の付け根のやや下あたりにかけてパンツのアウトラインを描きます。股の部分は生地が寄っているシワを入れましょう。

③シワを描き込む

ウエストベルトの切り返しの下側、股の部分などにシワを描いてリアリティのある質感を出します。

④仕上げて完成

シワの線の間や股間の生地が寄ってる部分に影を描いて完成です。正面から光が当たっているイメージでパンツの側面にも影を入れると立体感が出ます。

アウトドアテイストのコーデ&アイテム

カプリパンツ

脛くらいまでの長さの七分丈パンツ。裾口には絞りが入って肌に密着します。足の肌が見えるため、厚みのある生地でありながらアクティブな印象を持たせます。

スローチハット

全周囲に幅広のつばがついた陽射しに強い帽子。つばが垂れ下がっていて柔らかみがあり、ボンネットのように斜めに傾けてかわいらしくかぶることもできます。

ブーツインスタイル

膝下ほどの丈のロングブーツの中にジーンズなどのパンツを入れるスタイル。足元が細く見えるためスタイリッシュなシルエットになります。

カジュアルアウトドアコーデ

長袖のカットソーとパンツにニット帽とトレッキングシューズを合わせたカジュアル寄りのアウトドアコーデ。カメラを持って気軽に街や旅に出かけるような活動的なキャラに似合う私服です。

ショートトレッキングシューズ

くるぶしが見えるほどのショート丈で街着にも使いやすい登山靴。靴底に厚みを持たせ、底面の刻みを深くして凸凹した形をはっきり描くと登山靴らしい見た目になります。

Lessons 09

アクティブ系のエトセトラ

活動的なイメージが強いアクティブ系のメイク道具はすっきりとした実用性重視のデザインが中心。髪型はまとめ髪など動きの妨げにならないものが向いています。ポーズはカジュアルなＴシャツなどをチョイス。

メイク道具

化粧ポーチ

ブルーとブラウンの色味が愛らしい革のポーチです。茶色のレザー生地に白いステッチ模様が入り、ファスナーはシルバー。ブラウン、ブルー、ホワイトでまとまった女の子らしいアイテムです。

口紅

若々しいパールピンクのリップグロス。口紅がジェルのようになっており、塗ると唇にぷるっとツヤが出て瑞々しくなります。シンプルな白い持ち手と、かわいらしいボトルの形が快活な印象を与えます。

ファンデーション

ブルーのコンパクトが爽やかなファンデーション。オーソドックスな形のファンデーションであり、シンプルな構造がアクティブキャラクターの性格を印象付けます。

フェイスブラシ・アイシャドウ

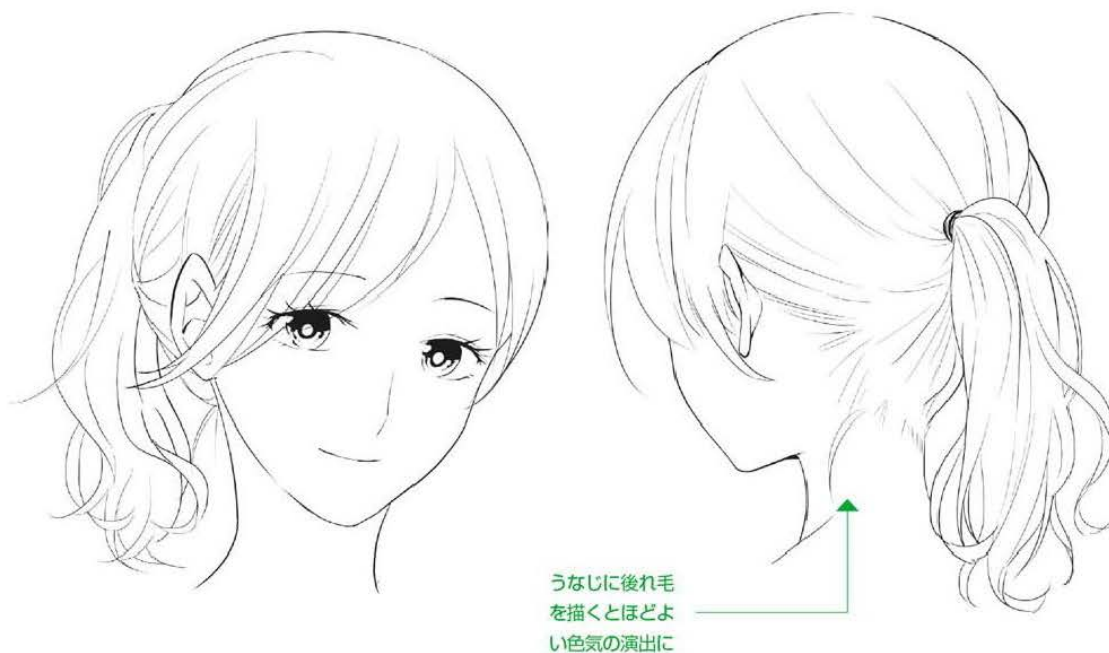
シルバーと白で合わせたフェイスブラシとセットのアイシャドウ。日焼けしがちなアクティブ系の肌に合わせたオークカラーのアイシャドウに交じったグリーンの色が冒険心を感じさせます。

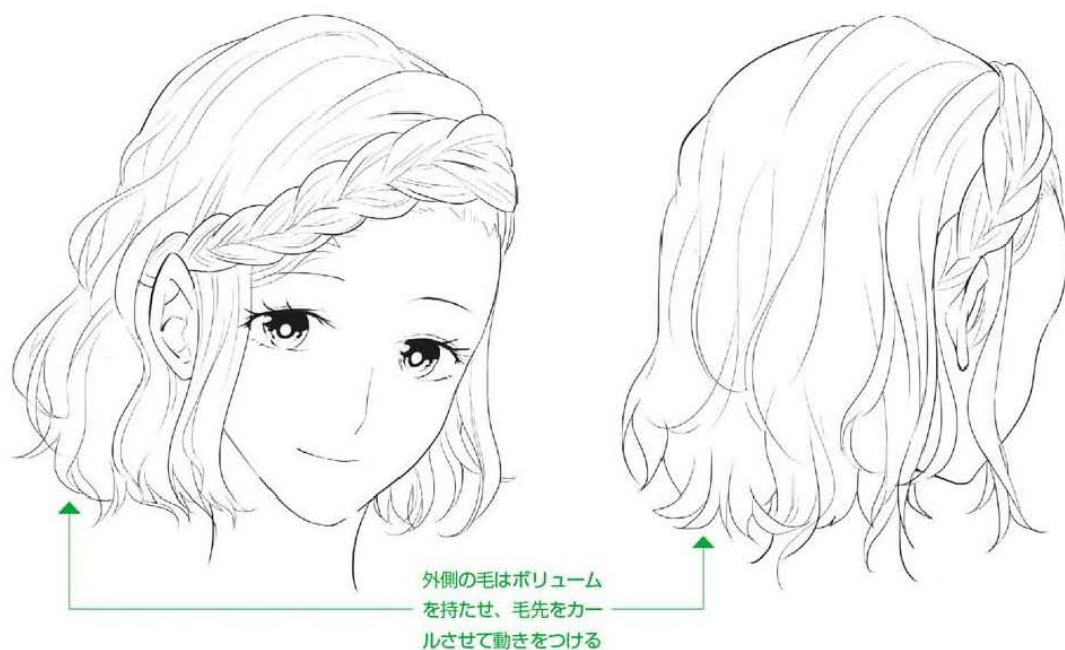
チーク

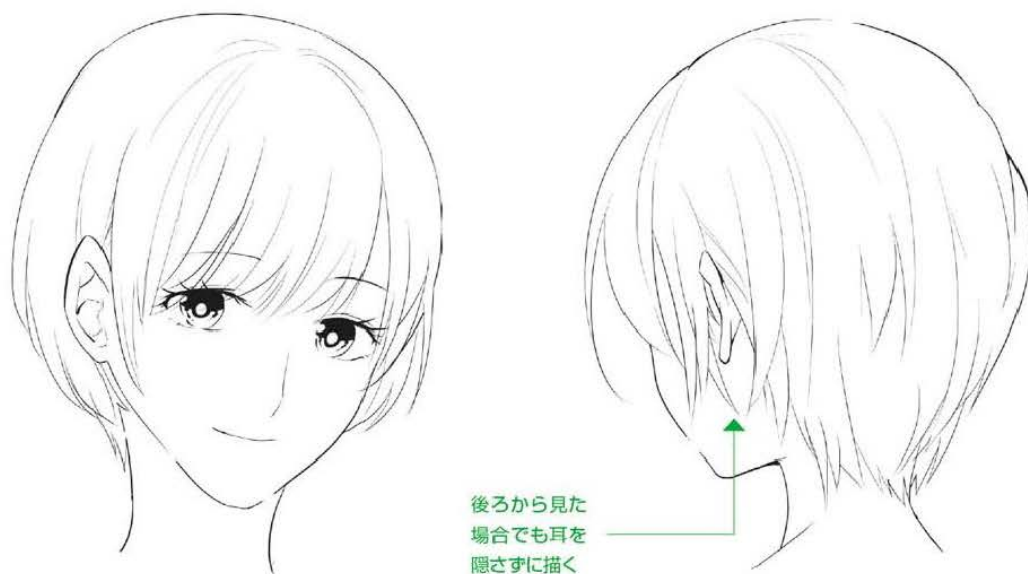
ナチュラルで元気な印象を与えるオレンジチーク。日焼けした肌によく似合い、活発なイメージが湧きます。プチプラ感のある白系のケースもはつらつとした若さを感じさせます。

ヘアスタイル

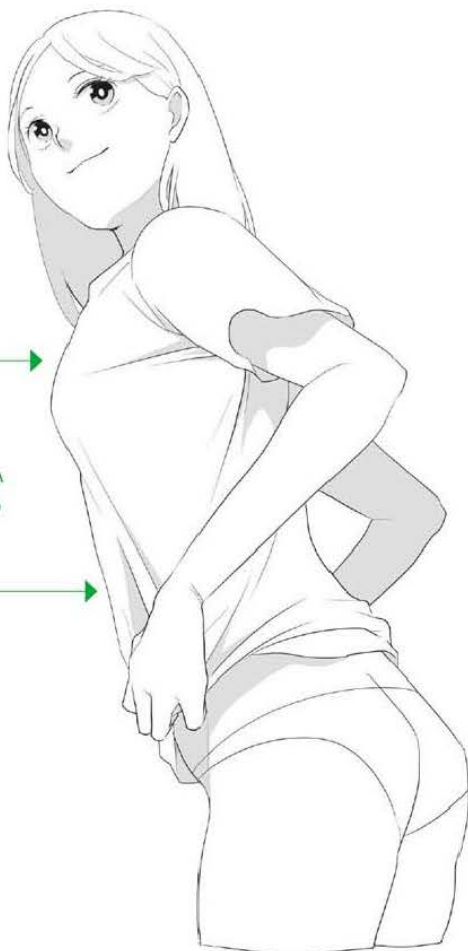
ポニーテール

運動に限らずまとめ髪として定番のポニーテール。爽やかで活動的な印象を与えつつ、まとめた長いポニーテールが揺れる様子が女性らしさも感じさせます。アクティブ系全般に似合う、オールマイティな髪型です。

前髪編みミディアム

ふんわりとしたシルエットに、前編みが特徴的なミディアムヘア。編み込んだ前髪とオープンになった額でオシャレさと爽やかさを引き出し、快活で夏らしい印象をキャラクターに与えます。

耳出しショート

すっきりとしたショートヘアに加えて、耳を出すことで顔の輪郭が明確になり顔全体が明るくなったような印象を与えています。シルエットが軽やかで、アクティブ系の軽快な服装によく似合います。

着替えポーズ

シャツを着る

裾をぐっと引っ張り、Tシャツを着るポーズ。最初に前側を引っ張ってから後ろを整えるので、Tシャツの後ろ側の裾は生地が寄ったシワができています。

シャツを脱ぐ

Tシャツを脱ぐポーズは、腕をクロスさせ、腹部分の両脇をつかむようなポーズを描きます。裾は引っ張られているので長方形のような形になり、背中に回る布には引っ張りジワができます。

スカートを履く

スカートは足元を通してから腰まで引き上げていくため、履いている途中のポーズはグッと体を前に倒して屈むような姿勢になります。

スカートのホックを留める

スカートのスリット部分をつかみ、ホックを留めるポーズ。多くのスカートのホックはズボンと違って腰の脇部分についているので、体をひねり、うつむいてホック部分を見ながら留めるポーズになります。

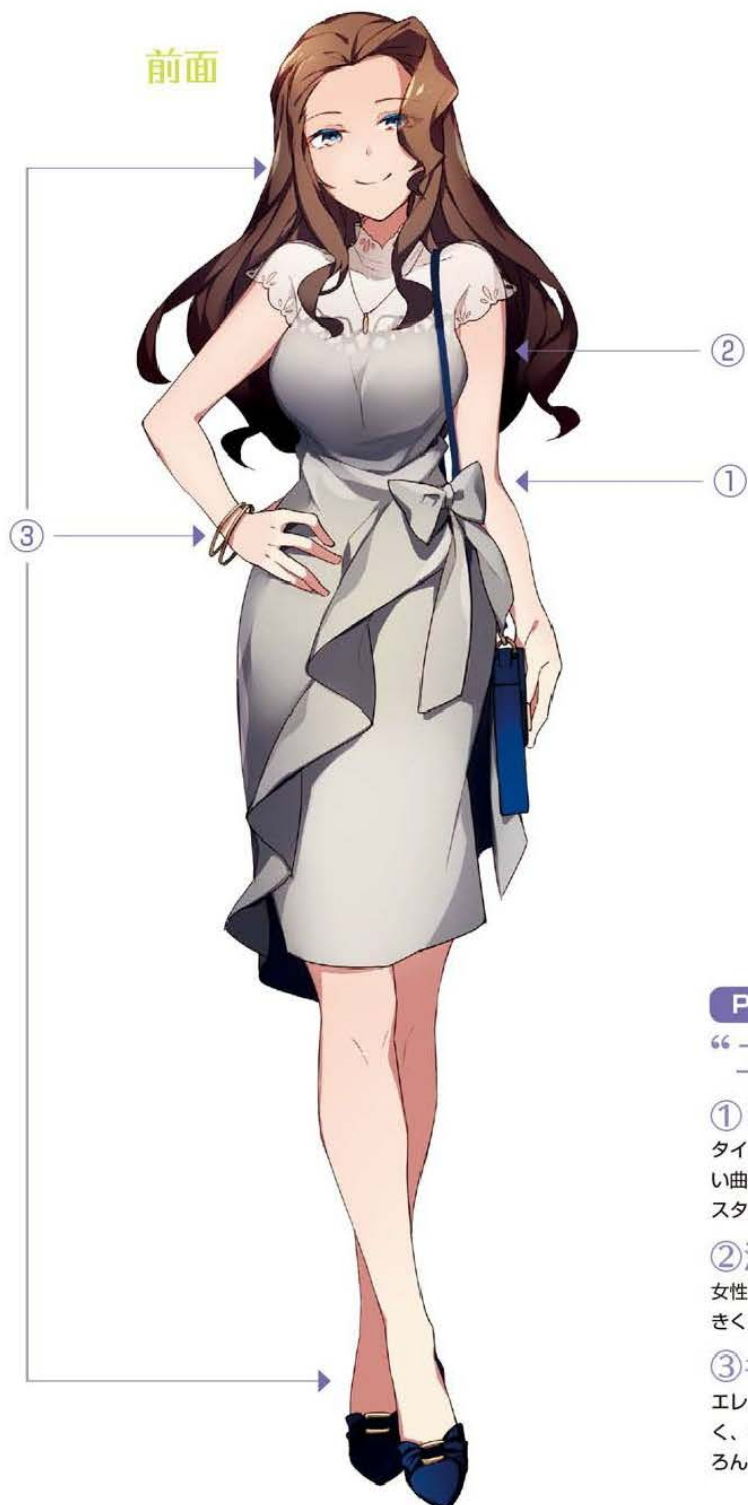
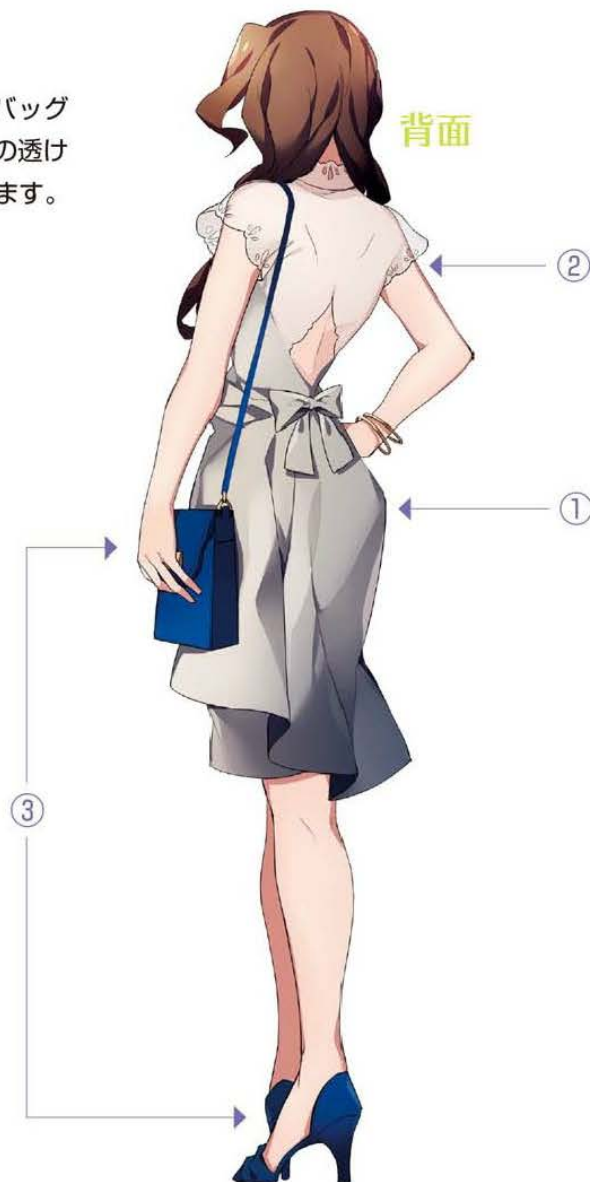
第4章 クール系の洋服

Lessons 01

エレガンスティスト

そのままでもパーティーに出席ができそうな、優雅で淑やかな雰囲気のスタイルです。高級感のある素材で女性らしさを引き出した装いが好まれますが、同時にそれに見合う振る舞いやスタイリングも求められます。

ワンピースドレスコーデ

曲線美を活かしたドレス風のワンピースにロイヤルブルーのショルダーバッグとセパレートパンプスをあわせたシックなコーデ。胸元から背中にかけての透け感や同色で統一したバッグと靴などが優雅で洗練された印象を際立てています。

POINT

“エレガンス”のポイント

①ドレススタイルで曲線美を活かす

タイトな作りのドレスやスカートといったウエストのくびれや脚のラインなど女性らしい曲線美を活かす服が好まれます。フェミニンよりもさらに女性らしさや気品を追求したスタイルであり、基本的に着崩してドレスダウンすることはありません。

②淑女らしい肌見せで気品を感じさせる

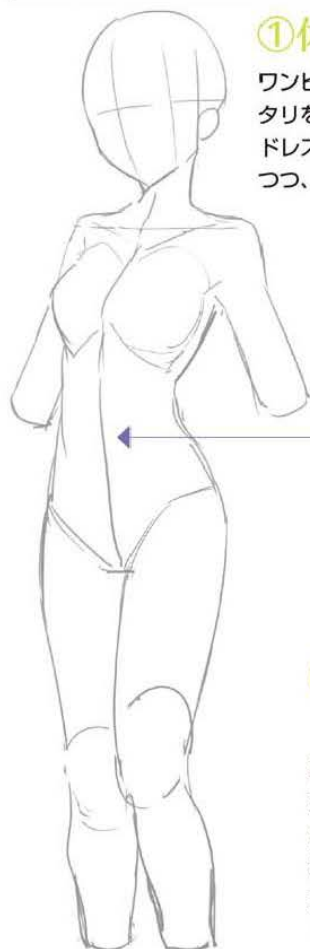
女性らしさを強調する方法の一つである肌見せも、エレガンスの場合は鎖骨を見せる、大きく開いた背中をレース越しに透けさせる、など品のある見せ方を重視します。

③キャラの内面と振る舞いも上品に

エレガンスでもっとも大事なことは優雅さや気品を表現すること。それには服装だけでなく、キャラの立ち居振る舞いも上品であることが重要になります。表情やポーズはもちろん指先の動き一つに至るまで、上品にしようという意識を持って描くことが大切です。

ワンピースドレスの描き方

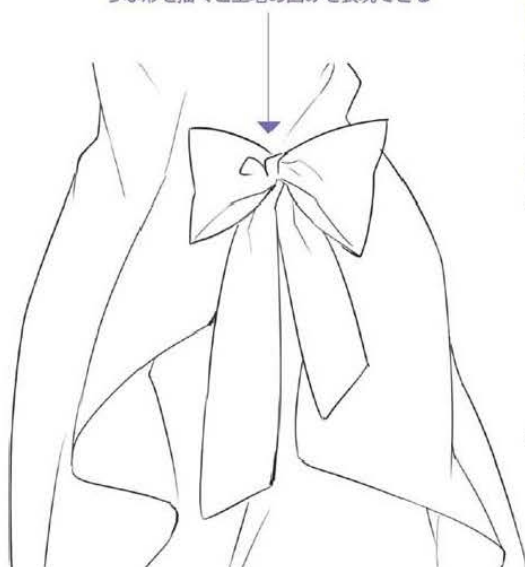
①体のアタリを描く

ワンピースのラフを描くために体のアタリを描きます。タイトなスカートのドレスなので、ひざは内向きにまとめつつ、片足をまげて動きを出します。

体の中央に中心線を描いて服の中央のアタリにする

②ドレスと装飾のラフを描く

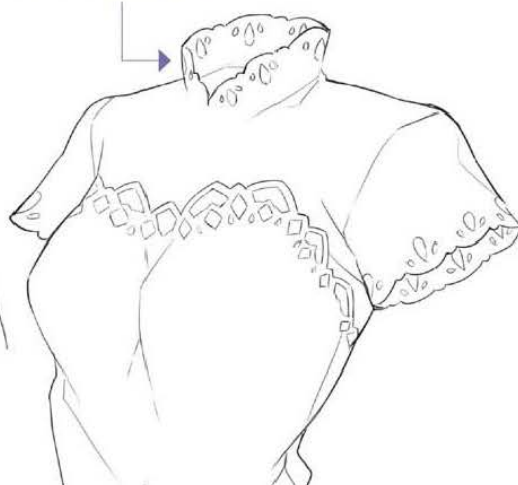
胸から上は透け感のある生地を意識して襟と袖を描きます。胸から腰にかけては体のラインに沿ってくびれを表現します。スカート部分はまず膝下丈のタイトスカートを描いてその上に腰元のリボンやパレオのようなひだ状の飾り布を描いていきます。

③ドレスを清書する

ドレスのラフを整えて清書します。腰のくびれの位置はシワが寄りやすくなるため、寄せシワを描き込みましょう。

④リボンを描き込む

リボンの結び目の左右に凹んだシワを描き、リボンの下からひもの先を垂らしてシワも加えます。

⑤レースの模様を描く

襟、袖口、胸の切り替えしのラインに沿って、レースの模様を描いていきます。胸元はひし形や多角形を規則的に並べ、襟や袖口は雫状の模様を描いていきます。

⑥仕上げて完成

胸の下やスカートの側面、スカートの飾りひだの裏側、リボンの下部分などに影を入れ、立体感を表現して完成です。

タイトドレスコーデ

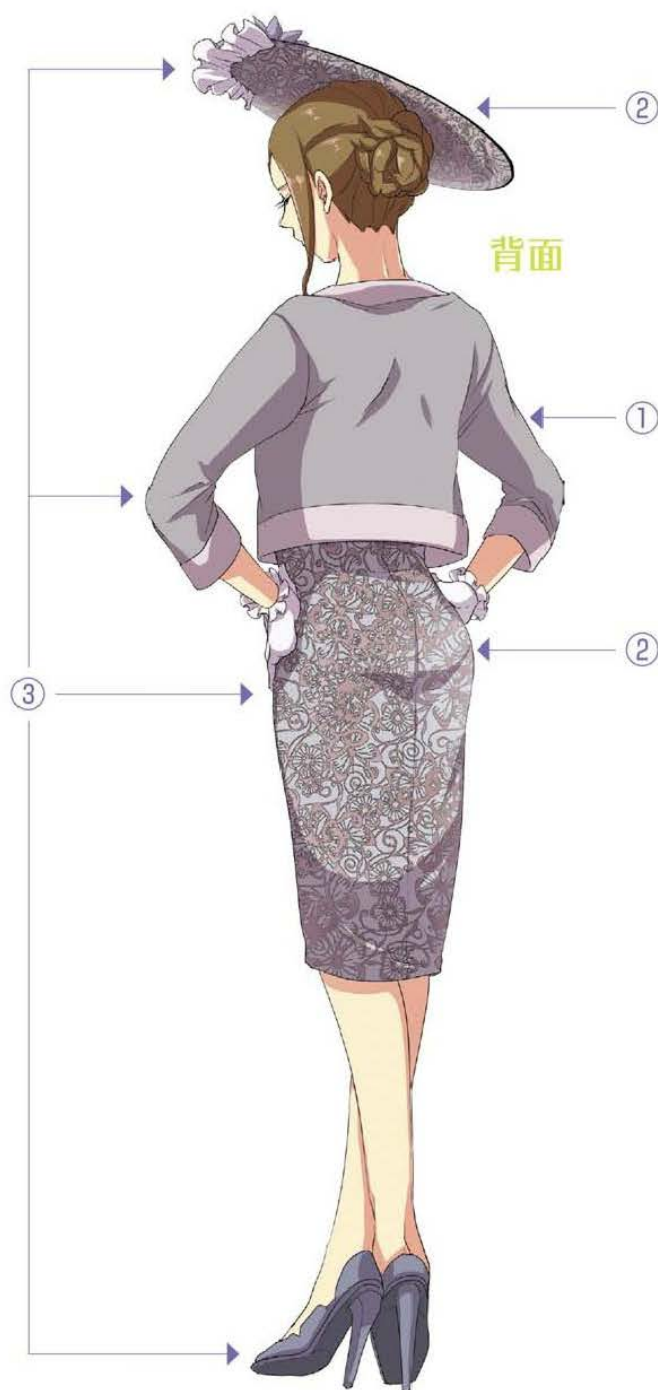
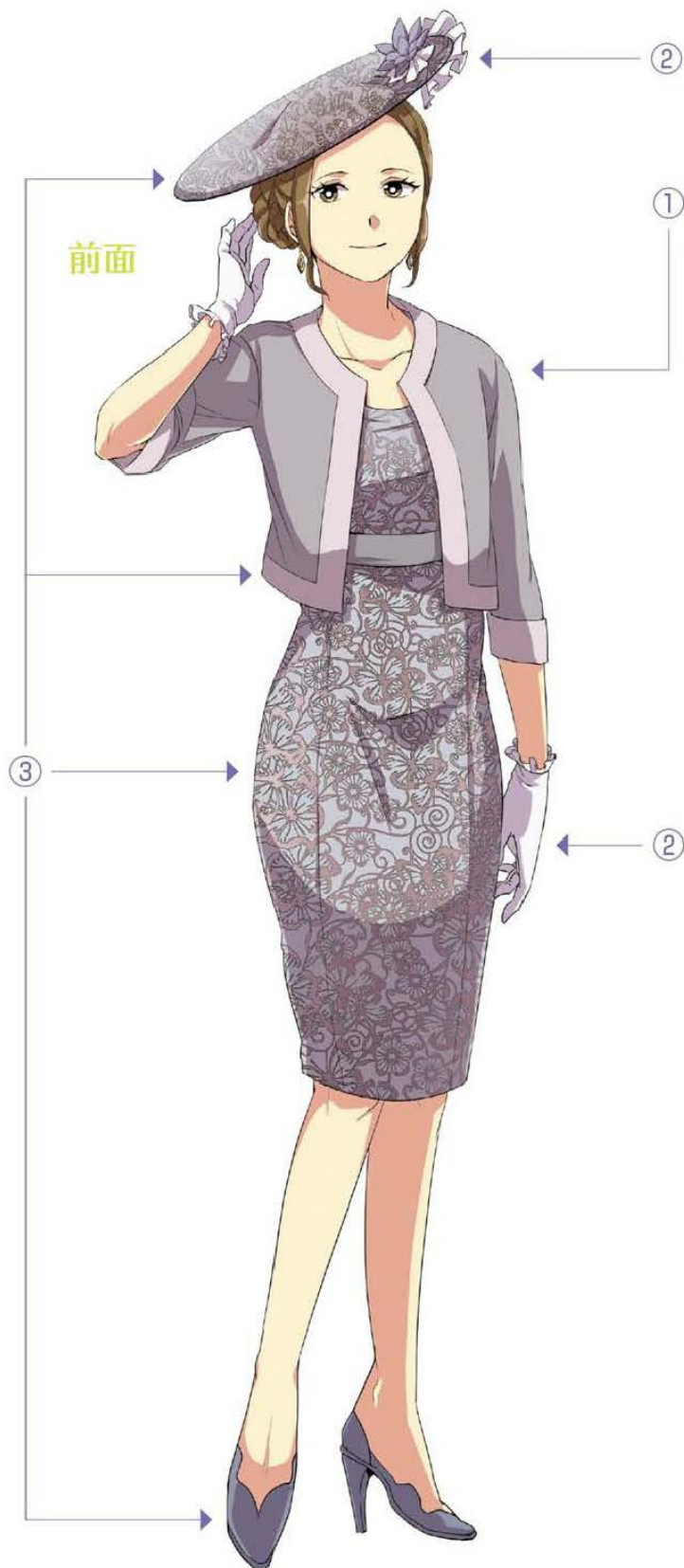
首元がすっきりしたノーカラー（襟なし）ジャケット、レースの刺繍がほどこされたタイトなドレス、華やかなドレスハット、ショートグローブ、デザイン性の高いパンプスで構成した華麗なドレスコーデ。全身をグレイッシュトーンの紫で統一した上流階級の気品あふれる装いです。

②

前面

①

③

②

POINT

“エレガンス”のバリエーション

①ジャケットを使ってフォーマルに

ノーカラージャケットやテーラードジャケットなどのジャケット類はフォーマル感やクールさを与えてくれます。ドレスやパンツなどに合わせることで、大人の女性らしいきっちりした印象に仕上がります。

②セレモニー向けの小物で高貴にドレスアップ

ジャケットとドレスのようなフォーマルな服装には、ドレッシーなハットやショートグローブといった淑女的な印象をアップさせる小物がマッチします。柄や色合いを統一させると、高貴にドレスアップすることができます。

③グレイッシュトーンで高級感を演出する

くすんだ色味はシックな印象を与える効果があり、灰色がかった色味であるグレイッシュトーンなどで色合いを統一すると高級感が生まれます。

ノーカラージャケットの描き方

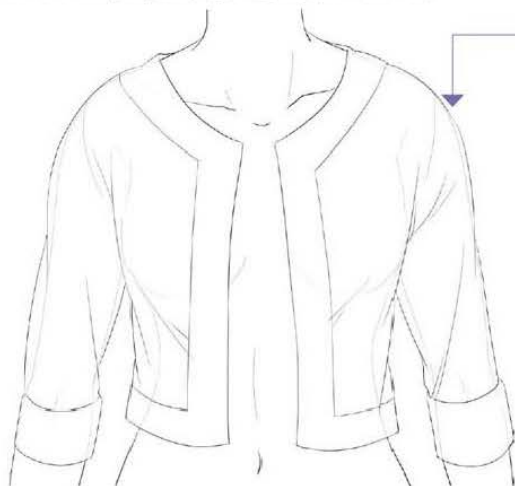
①袖と前身頃を描く

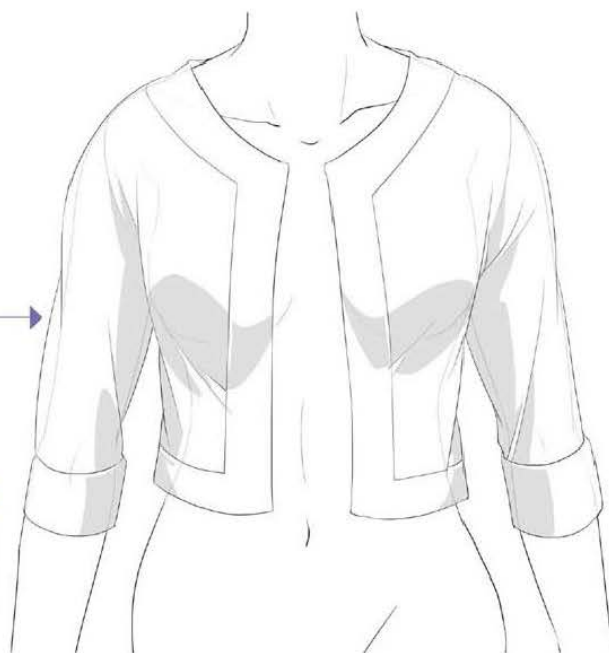
首元はＴシャツの襟のように丸く描き、中央で前開きの形にして腰の位置まで線を下ろします。脇から腰にかけての前見頃のアウトラインは、体のラインに沿わせず、やや内向きにシワを加えながら描いていきます。

②袖口と縁の線を描く

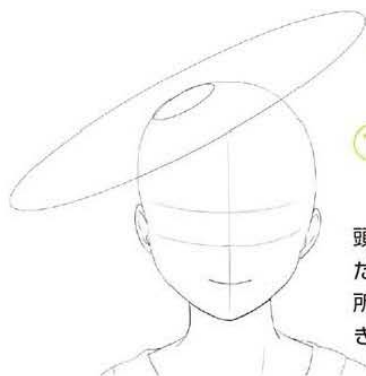
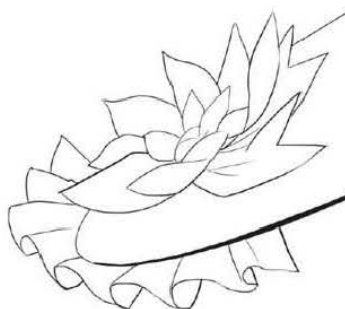
前見頃のアウトラインの内側に、均等な幅で縫い目の線を描いていきます。肘まで描いた袖には袖口を付け足します。

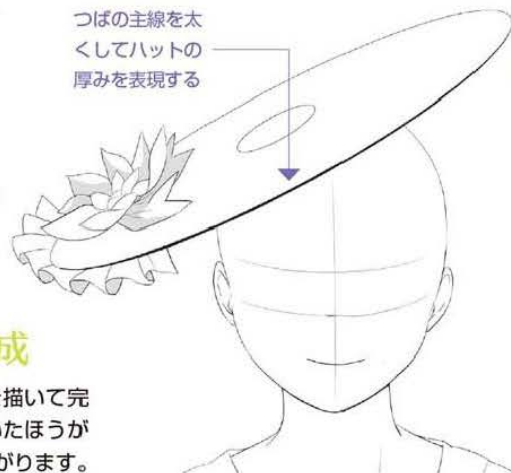
③シワを描き込む

肩口や胸の下にシワを描き込みます。ノーカラージャケットの生地は厚めなものが多いため、シワの形は短く直線に近い形状にします。

④仕上げて完成

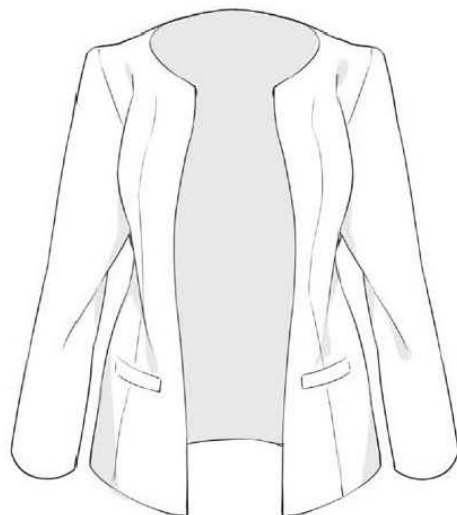
胸の下や脇、袖の内側に影を入れて完成です。胸の影は山なりのカーブを描くように描きます。

ドレスハットの描き方

①頭部を中心にだ円を描く

頭頂部のやや斜めの位置にだ円状の円を描き、その箇所を中心に頭より一回り大きな楕円を描きます。

②花飾りを描いて完成

帽子に花飾りやフリルなどの装飾を描いて完成です。中心に描くよりも端に描いたほうがドレスハットらしいバランスに仕上がります。

エレガンスデイストのコーデ&アイテム

スタンドカラーデザインブラウス

襟（カラー）が首に沿って折り返しなく立ち上がったタイプのブラウス。胸元を華やかに彩るフリルや燕尾風に２つに割れた個性的な裾といったデザインが、上品ながらもどこかクラシカルな雰囲気を際立てています。

ノーカラージャケット

襟（カラー）が存在せず、首周りがスッキリと開いているタイプのジャケット。インナーのネックラインやネックレス、スカーフなどの巻き物を際立たせたコーデにまとめることで、さまざまな表情を楽しめます。

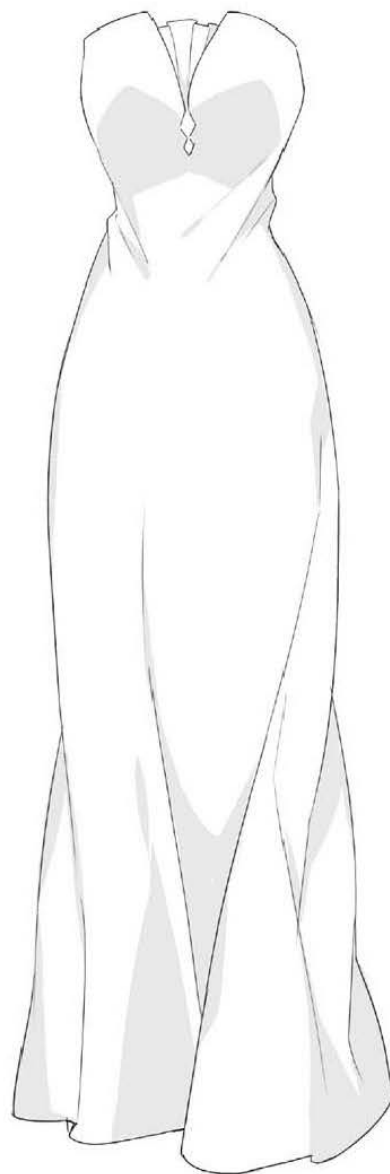
マーメイドスカート

腰回りはタイトながら裾にかけて広がっていく、まるで人魚のようなシルエットのスカート。体のラインを強調するセクシーさとふんわり可愛らしい雰囲気を兼ね備えており、上品な大人のスタイルを作り上げます。

パンススタイルコーデ

パンツスタイルのジャケットコーディネートは全体をマニッシュな雰囲気にまとめつつ、リボンブラウスやパンプスが女性的な雰囲気もしっかりとプラス。清潔感とかっこよさを兼ね備えており、一段上のエレガンスさを引き出しています。

イブニングドレス

夜間開催のパーティーにおいて、正装として着用されるドレスです。胸元から背中にかけてが大きく露出し、ウエスト周りのラインも強調されるなど、全体的に華やかな雰囲気が重視されます。

ドレスの着方

①ドレスに脚を入れる

スリップ（薄手の女性用下着）を着た状態でドレスの肩口を持ち、背中側から脚を入れます。ワンピースを着用する場合も同じポーズで代用できます。

②腕を通す

肩口に腕を通して肩の位置を調整します。片手で脇の部分をおさえながら、もう片方の手の指で肩の部分のずれを直していきます。

③背中のファスナーを上げる

背中のファスナーを腰から上に向かって上げて閉めます。腰をおさえる手やファスナーをつまむ指に動きをつけて、しなやかな指先のポーズを表現します。

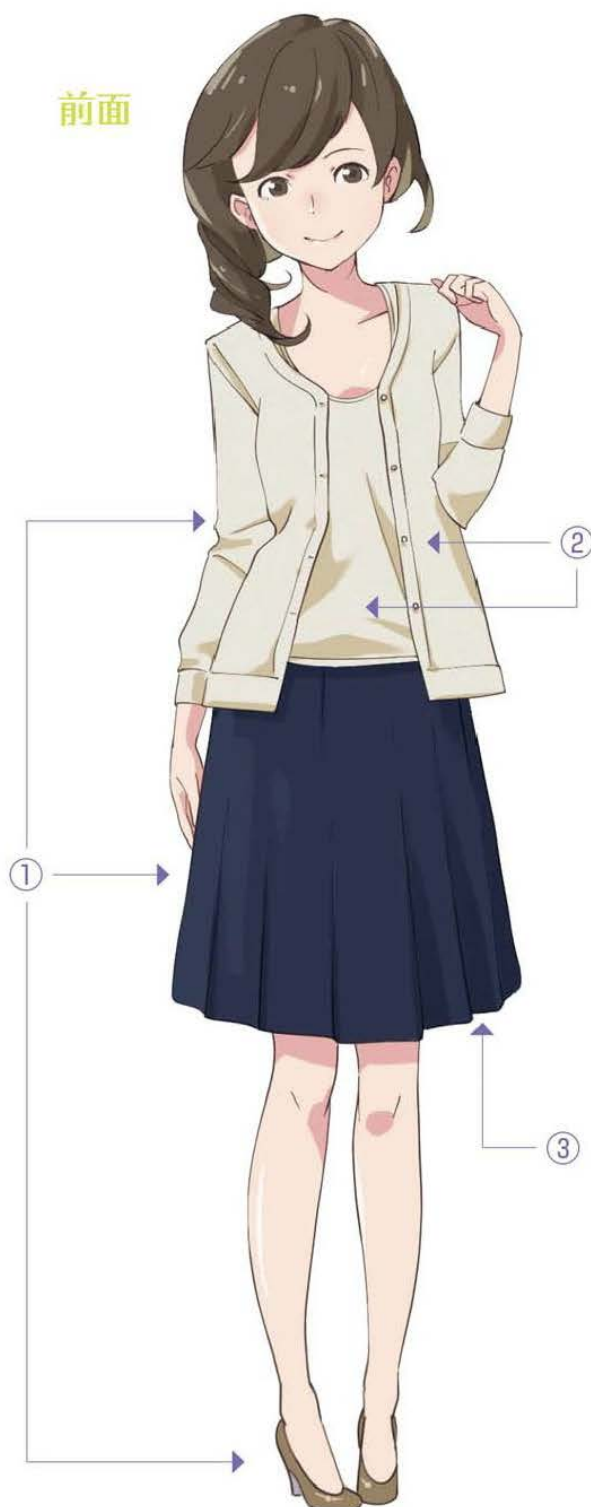
④完成

服のずれを正して着替え完了です。肘に手を添える、背筋を伸ばすなど、華やかな見た目のドレスに見合う優雅さを意識してポージングしましょう。

コンサバテイスト

お嬢様のような清楚さや上品な雰囲気を重視しつつ、女性らしい色気やトレンドも取り入れて好感度を高めたスタイルです。全体的に落ちついたテイストであり、オフィスカジュアルなどにもよく見られます。

アンサンブルニットコーデ

トップスとカーディガンが同色で統一されたアンサンブルニットと控えめなフレアスカート、ベージュのパンプスで構成した品のある着こなし。派手さを抑えた安定感のあるスタイルで、高級感のあるお店などでのデート服にも向いています。

POINT

“コンサバ”のポイント

①「外し」の要素は盛り込まないほうが望ましい

きっちりとした印象が大切なコンサバコーデは、ほかのテイストと異なり「外し」の要素がオシャレなイメージに直結しません。逆にいえば、「清楚」「上品」というイメージさえ守れば失敗が少ないのが特徴といえます。

②アンサンブルで品よく大人っぽい印象に

同一素材や色味、柄で揃えたニットとカーディガンのアンサンブルは、コンサバコーデで頻繁に用いられる人気アイテムです。トップスの調和が自然に取れることで、上品な印象を生みだしてくれます。

③スカートは清楚な印象なものをチョイス

ふんわりと優しげな雰囲気が漂うフレアスカートは、大人の女性らしい落ち着きとお嬢様のような清らかさを同時に印象づけてくれます。丈の長さは膝上程度のものがもっともバランスが取れ、汎用性にも優れます。

アンサンブルニットコーデの描き方

①トップスとニットのアウトラインを描く

全身のアタリを参考にしながら、襟ぐりの深めのカーディガンとトップスを描いていきます。カーディガンの肩は直線的な線で、体のアタリよりも大きめに描きます。

トップスはカーディガンよりも裾を短めに

②スカートを描く

腰の位置から円錐状のスカートのアウトラインを描きます。裾は階段状にひだを描き、体の中心にいくほどひだを広めにします。

③ニットの細部を描き込む

カーディガンやトップスの縁に縫い目の線を追加し、カーディガンには上から小さめのボタンを等間隔に描いていきます。

④パンプスを描く

つま先の丸みやかかとからヒール底面へ向かってのカーブなど丸みを意識しながらパンプスを描いていきます。ヒールは根元に向かうほど細くなるシルエットにしましょう。

⑤仕上げて完成

トップスのお腹、カーディガンの前身頃や袖、スカートのプリーツに影を描いて完成です。トップスの影はエッジをぼかしてやわらかさを出しましょう。

コンサバテイストのコーデ&アイテム

シフォントップス

透明感があるほどに薄手で、やわらかな風合いの生地で作られたブラウス。ふんわりとした袖口や胸元に入った刺繍が清楚なイメージを強めつつ、小洒落た雰囲気を高めるアクセントにもなっています。

タックスカート

ウエスト部分に縫いひだが入ることで、ゆるやかな生地の動きが全体へと表れたタイプのスカート。品よくきれいめな雰囲気のアイテムであり、大人の女性らしい落ち着きを表現したいときに適しています。

シャツワンピースコーデ

ギンガムチェックのワンピースとふんわりしたヘアスタイルで可愛らしく清楚なイメージを強調しつつ、黒ベルトでのウエストマークが全体をピリッと引き締めることでグッと大人な印象の甘辛コーデにまとめています。

モノトーンドレスコーデ

淑女的なイメージを全面に押し出した、ドレススタイルのコーディネートです。品のあるパール風のアクセサリー使いが清楚な印象をより強めつつ、隙のないキッチリとした雰囲気も高めています。

ハンドバッグ

革製のハンドバッグ。過度な装飾をしていないため上品で落ち着いた雰囲気があり、それでありながら底面の少し丸っこいフォルムがかわいらしさも醸し出しています。

アナログ腕時計

シンプルなアナログの腕時計は手元を飾るアクセサリーとして上品な色気とアクセントを加えてくれます。ビジネスなどのフォーマルな場はもちろん、ベルトの色やデザインを変えることでキレカジなどのカジュアル系にも対応することができます。

ブラウス＆スカートコーデ

女性らしい印象のブラウスとチュールスカートを組み合わせた、正統派のコンサバコーデ。足元もピンヒールのサンダルをチョイスすることで素足を見せて清楚なイメージを追いかけつつ、ヘアバンドが個性的なアクセントになっています。

Lessons 03

モードテイスト

高級ブランドがコレクションで発表するような服を用いた、ラグジュアリーな雰囲気漂うスタイル。モノトーンの上品な装いを基本としつつ、時には斬新な色使いや装飾も取り入れて感度の高さを表現します。

ケープ風ワンピースコーデ

ケープ風の羽織りと一体化した黒ノースリーブワンピース、同系色のサンダルに赤いハンドバッグを添えた上品なコーデ。黒一色の服に鮮明な赤色が加わることでコントラストが高まり、洗練された印象を与えます。

POINT

“モード”のポイント

①モノトーンスタイルで個性を表現

モード系の基本は、黒や白を基調としたモノトーンでまとめることです。また、白いトップスと黒いスカート、白地に黒の柄といった白と黒のツートンカラーによる組み合わせもよく使われます。

②鮮やかな色を差し色に使う

黒に対して赤、といったようにモノトーンでシックにまとめている中に鮮やかな色彩のアイテムを入れると、全体に対する差し色となって強烈なインパクトを与えます。

③シックなデザインで高級感を強調する

無地のノースリーブワンピースのようなシンプルで洗練されたシルエットの服、ドットやストライプといった無機質な柄など、クールで上品さや落ち着きを感じさせるシックなデザインを用いると大人の高級感が漂います。

ケープ風ワンピースコーデの描き方

①ケープとワンピースの線を描く

体のアタリを描き、肩の位置を参考にケープのアウトラインを描きます。胸から膝上にかけては、ワンピースのアウトラインを描いていきます。

②服のシワを描く

ケープの外側、ワンピースの首元や胸の下、股の周りにシワを描いて服の質感を高めていきます。

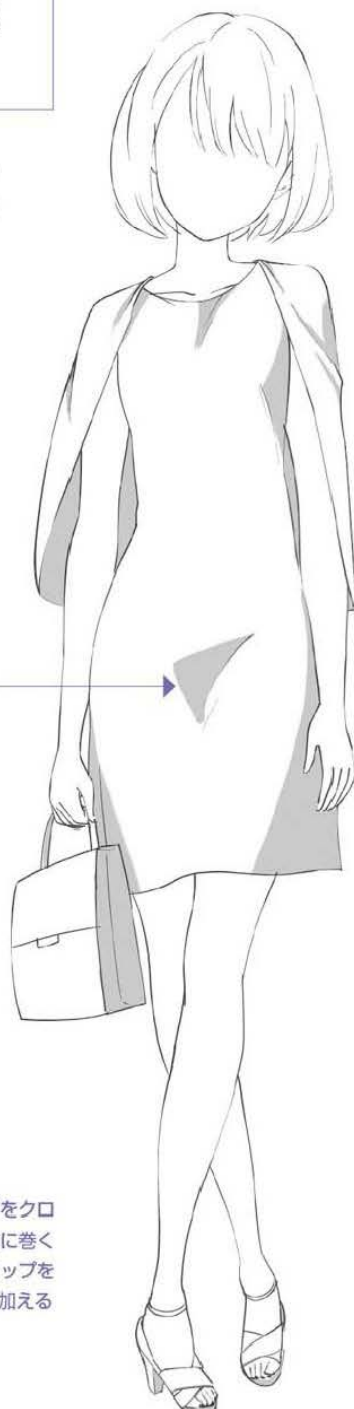
③カバンを描く

右手の位置にハンドバッグを描きます。はじめに取っ手を描き、角度に合わせて本体を描いていきましょう。

④サンダルを描く

足先のアタリを参考に、つま先やサイドがオープンなヒール付きサンダルを描きます。

④仕上げて完成

シワを描いた位置やケープの裏側、ワンピースの股、バッグの側面などに影を描いて完成です。

モードテイストのコーデ&アイテム

ギャル風ツートンコーデ

ノースリーブの襟付き白トップスに黒いキュロットパンツ、つばの広い帽子やキラキラのバッグなどギャル寄りのシルエットをモードな色使いでまとめています。少女感のあるキャラクターに普段と違う顔を見せたいときに使えるコーデです。

白いトップスに対し襟を黒色にしてキラキラした飾りをつけることで首元にアクセントを加えている

ドット柄スカート

白地のスカートに黒色のドット柄が並んだツートンカラーのスカート。大きなドット柄が規則的に並んでいる様子がかわいらしさとモード感を両立させています。

ストライプ柄コーデ

上下ともにドットストライプが入った半袖のシャツブラウスとパンツの組み合わせ。足元のパンプスによってボーイッシュな服装が一転して女の子らしい雰囲気のコーデに仕上がっています。

パンツを八分丈にして裾と足先の間を開けることでパンプスの存在を強調している

波ボーダーニット

白と黒のジグザグのボーダーが入ったニットセーター。だぼっとしたシルエットで、下はショートパンツなどの女性らしさが強調される服と合わせるとかわいくなります。

デザインパンプス

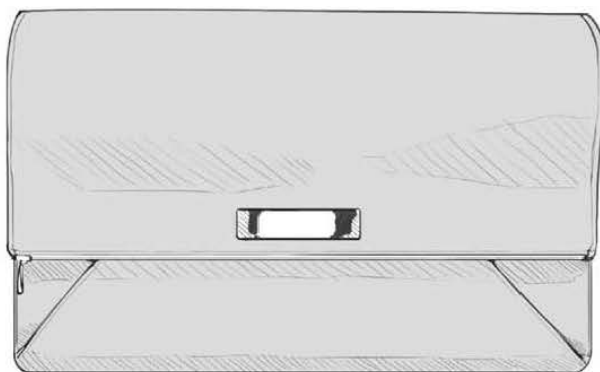
足首をホールドするバンドとアッパーから伸びたバンドがつながっているデザイン性の高いパンプス。大人びた雰囲気の女性キャラに似合います。

配色ワンピースコーデ

白、黒、赤などコントラストが強い色の生地をバラバラにつなぎ合わせた斬新なデザインのワンピースに、サングラスやイヤリング、バングルなどのアクセサリーを組み合わせた着こなし。クールな印象が強く芯のしっかりした大人の女性向けのスタイルです。

指輪や濃い色のマニキュアをつけて手にもアクセントを加えている

モノトーンミニスカコーデ

ノースリーブトップスとタイトなミニスカートという肌見せの多い服装ながら丈の長いアウターや首元の装飾、クラッチバッグによって落ち着いた雰囲気を漂わせているシックなコーデ。大人びたお姉さん系のキャラに向いたファッションです。

クラッチバッグ

持ち手がついていないコンパクトなバッグ。抱え込んだり端を掴んだりする持ち方があり、指先に動きが出しやすいスタイリッシュなアイテムです。

Lessons 04

トラッドテイスト

ベーシックながらも上品な雰囲気が漂う、カッチリとした着こなしが特徴的なスタイル。もともとは男子学生のオシャレに由来するテイストであることから、スクール調やメンズライクなアイテムも多く使われます。

スクールガール風コーデ

白いシャツブラウスにニットベスト、チェックスカート、黒タイツ、ローファーを合わせたスクールガール風の着こなし。落ち着いた色合いのレザーフラップリュックで街の風景にも馴染むスタイルに仕上げています。

POINT

"トラッド"のポイント

①カッチリさせつつ着崩す

全体としてはキチンとした格好をしつつも、適度に着崩すことでカジュアルダウンしていくのがトラッドコーデの鉄則です。少しレトロな雰囲気のチェックスカートなどを合わせるとほどよい抜け感を生み出します。

②ローファーで上品さをプラス

トラッドコーデの足元を飾る定番アイテムであるローファー。革靴でありながらも堅苦しさがなく、上品さとカジュアルな雰囲気を両立できるのが魅力です。色味も柔らかさを感じられるブラウン系が定番。

③シンプルな小物で質実健剛に

質実健剛な佇まいが好まれるため、小物使いも機能的なものを極力シンプルに合わせていくのが基本です。レザー製のアイテムは耐久性と質感に優れることから特に好まれ、クラシカルな雰囲気づくりに貢献しています。

ニットベストの描き方

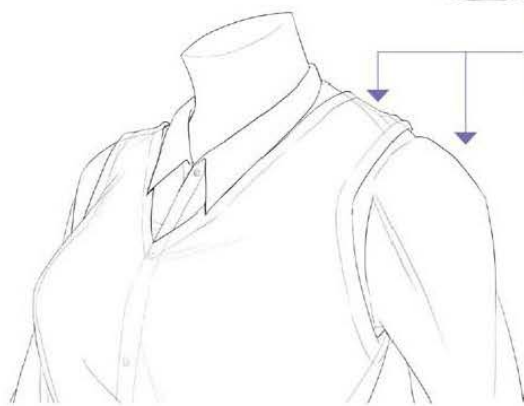
①シャツブラウスを描く

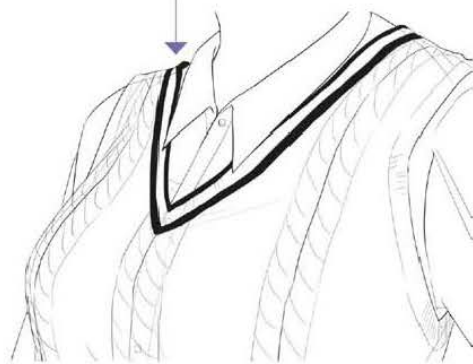
アンダーのシャツブラウスを描きます。前面のボタンやシワなど後で隠れる部分も描いておくとベストの形を把握するのに役立ちます。

②ベストのアウトラインを描く

シャツよりも大ぶりにベストを描きます。胸から上はシャツに添うようにし、胸から下は緩めの線で描いてお腹の周りをゆったりとたるませます。

③襟や肩口の縁を描く

襟や肩口の形に沿って縁の線を描いていきます。縁からやや内側にもう１本線を描いて、縁の厚みを表現しましょう。

④模様の縦線を描く

前身頃を三等分するように中央と左右に３本線のラインを計３つ描き、ケーブル編みのベースを作ります。

⑤ケーブル編みとラインを描き込む

④で描いた３本線の間に均等な幅になるように斜線を描き、ケーブル編みのパターン模様を描いていきます。次に③で描いた襟の縁に沿って２本の黒いラインを描きます。

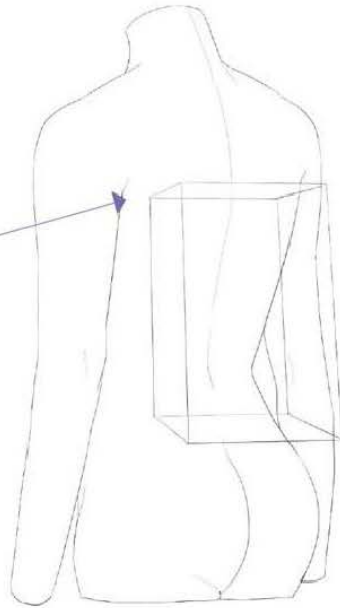
⑥仕上げて完成

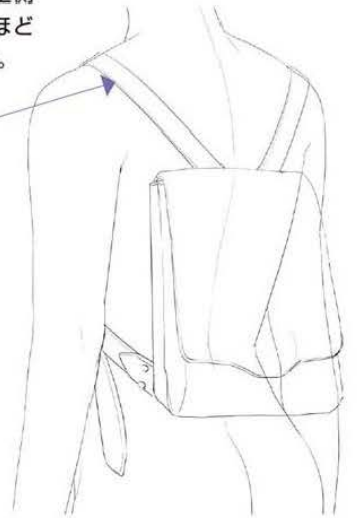
胸元や脇、ニットベストのたるんだ部分に影を描いて完成です。先端の形がシャープな影を描いていくとニットの生地の立体感が表現できます。

レザーフラップリュックの描き方

①アタリの立方体を描く

上半身を描き、脇から腰にかけての位置にリュックのアタリとなる長方体を置きます。アタリの奥行きはリュックの一番厚みがある幅に合わせます。

リュックがぶらさがる位置は肩甲骨の下側あたりを目安にする

②ベルトとリュックのアウトラインを描く

長方体のアタリを参考に、リュックのアウトラインを描いていきます。上側のマチはやや薄くし、下に向かうほどマチの幅が広くなるように描きます。

③リュックの線を整える

フラップ（ふた）やベルトの縁を2重線にして厚みを出し、マチの中間の折れ線、ベルトのボタンなど細部の線を整えていきます。

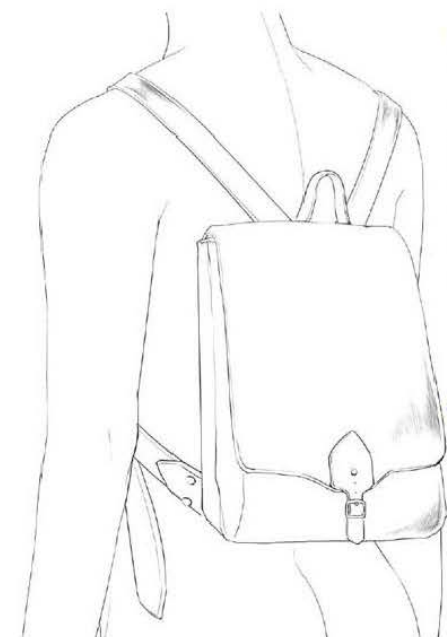
④ストラップと留め具を描く

フラップの頂点中央に、山を描くような形でストラップを描き入れます。フラップの下側中央には留め具を描き、リュックの下端側には留め具を固定する金具部分を描きます。

⑤革の質感を出す

ショルダーベルトやフラップ、リュックの端などに細いペンで線を何本も入れて生地のてかりを表現します。さらに上から白ペンでひっかくように影にランダムの斜線を入れると革のざらついた質感が出ます。

⑥仕上げて完成

ストラップやマチなどに影を描いて完成です。マチの部分は下部を中心に影を入れると立体感が出ます。

トラッドテイストのアイテム

ライン柄セーター

ボーダーのラインが裾や袖先などに入ったセーター。キッチリとした優等生的な雰囲気が漂うアイテムですが、Vネックの首元が持つマニッシュな印象を活かし、わざとオーバーサイズ気味に着ても可愛らしさがあります

タータンチェックタイトスカート

タータンチェック柄が英国的な上品さを感じさせるタイトスカート。キュートなイメージの強いチェックスカートも、膝丈で体のラインに沿った形状であれば大人っぽい雰囲気が生まれます。

サッチェルリュック

イギリスで広く愛されている革製の学生鞄をモチーフとしたリュックサック。開閉口に大きく配されたベルトが特徴的であり、カッチリとしつつも可愛げの感じられるクラシカルな雰囲気が魅力です。

サスペンダー＋パンツ

ベルトの一種であるサスペンダーはボーイッシュなイメージの強いアイテム。ボトムスと色味を統一するとコーディネートがしやすく、太めだとカジュアル、細めにするとスタイリッシュな雰囲気が強まります。

キルトタッセルローファー

甲部に房状の飾り（タッセル）があしらわれ、さらにその下には切込みの入った飾り革（キルト）も敷かれたタイプのローファー。革靴らしいカッチリとした雰囲気を保ちつつ、揺れ動く装飾が華やかさも演出します。

ヒールアップローファー

高めのヒールを持つタイプのローファー。パンプスのような雰囲気を併せ持つことから女性らしい印象が強調され、またローファーにありがちな学生っぽいイメージを和らげることもできます。

Lessons 05

ロックテイスト

ロックスターが着ている服をモチーフとしたスタイル。革ジャンやスタッズなどのハードなアイテムが好んで用いられ、黒を基調とすることで細さを強調したシルエットがスタイリッシュな印象を強めます。

レザージャケットコーデ

ハードな革製のダブルレザージャケット、黒系のトップスとショートパンツ、シックな編み上げブーツと黒系で統一した服装に、チェーンストラップの革製ミニバッグとごつめなデザインのベルトをアクセントに加えたクールなコーデです。

POINT

“ロック”のポイント

①ロックといえばライダースジャケット！

革のライダースジャケットはロックテイストに欠かせないアイテムです。ダブルタイプのもののほうがロックらしいハードな雰囲気を強調し、胸元の開いたシンプルなインナーと合わせるとグッと大人っぽい印象となります。

②小物もハードな印象で統一しつつアクセントに

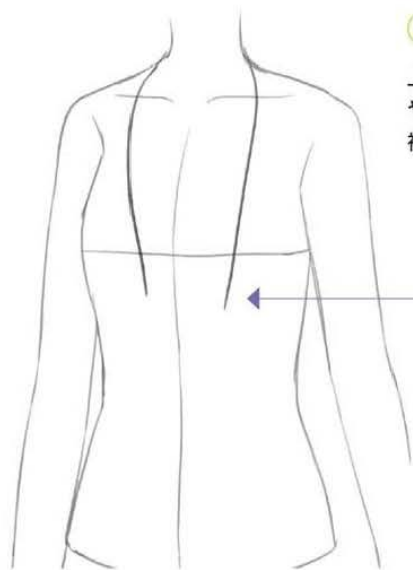
ハードな質感が好まれるのは小物使いも同様であり、革やシルバーを中心とした金属製のものが好まれます。ベルトやそのバックル（留め具）のデザインも重要なアクセントになります。

③足元はブーツでハードさとスタイリッシュさを両立

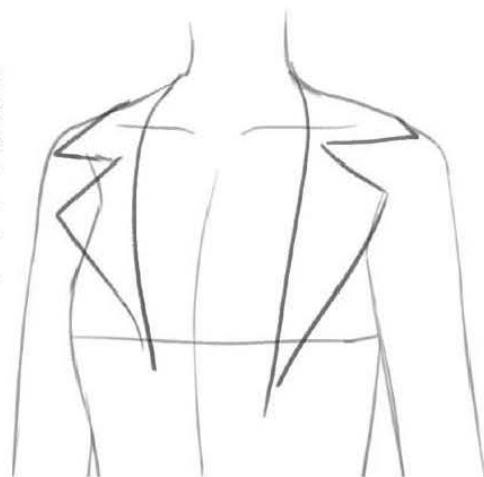
靴も黒で統一感を出すと全体が引き締まってクールな印象に。重厚なショートブーツがさらに雰囲気を高める一方、高めのヒールと脚の露出が女性らしいスタイリッシュさも生みだしています。

ダブルレザージャケットの描き方

①襟元の線を描く

上半身のアタリを描き、鎖骨のやや外側をまたぐように大きく襟ぐりにあたる線を描きます。

胸のトップよりやや下の位置まで線を引く

②襟を描く

肩からはみ出ない程度の幅で大きめの襟を描きます。三角形を2つずつ並べるイメージで胸の下にかけて襟のアウトラインを描いていきます。

シワができやすい素材であるため、腕を伸ばしていても肘の部分にシワができる

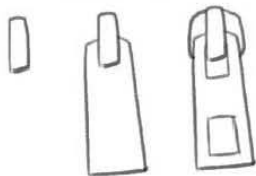
③ジャケットのアウトラインを描く

前身頃は胸のトップから下に向かって線を引き、腰骨あたりの位置を裾の高さにします。袖の生地がだぶつく部分はやや角ばらせ、レザーの固さを表現します。

胸ポケットは右腕側にのみついている

④ファスナーやボタンのラフを描く

襟の先端に丸いボタンを、縁にファスナーのラフを描いていきます。レディース用のファスナーは、右腕側は襟の縁、左腕側は縁よりやや内側についています。

スライダーの金具は柱（留め金）、引手（持ち手）、胴体の穴を順番に描いていく

⑤縫い目や細部を描き込む

襟や前身頃、袖の先などに縫い目の２重線を描いて立体感を出します。ファスナーの先端にはスライダーを描きいれます。

⑥仕上げて完成

ファスナーの歯の部分に細かく線を描き、ジャケットのアウトライン部分に影をつけて完成です。襟の部分にも影を入れ、固い生地で襟が浮く立体感を表現します。

編み上げショートブーツの描き方

①足と靴のアタリを描く

足首まで覆う靴のアタリを描きます。アタリは靴の正面に中心線を引き、つま先の上に横線を引く形でとります。

靴底の厚みもおおまかなラフを描いておく

②靴のラフを描く

アッパー、タン、ひも穴、つま先、靴底にパーツを分けて靴のラフを整えていきます。

ハトメの間隔がまばらにならないよう注意する

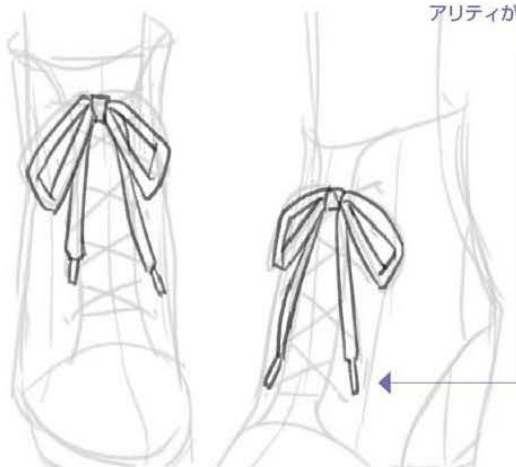
③靴ひものラフを描く

ひも穴の位置を参考に靴ひもをクロスさせたラフを描きます。ひも穴から斜め上のひも穴に向かって交互に線をつないでいきます。

④靴ひもを描く

靴ひもの上の位置に蝶結びの形で結び目を描きいれ、全体のバランスを確認します。

蝶結びは靴の横幅からはみ出さない程度の大きさで、左右の輪の大きさを揃える

蝶結びの垂らした部分の先端を細くするとリアリティが出る

⑤靴ひもを立体的にする

靴ひものラフを元に２本の線で厚みのあるひもを描き、立体的に清書していきます。

裏地が見えている部分は斜線が密集した濃い影を描いて奥行きをわかりやすくする

⑥仕上げて完成

靴全体のラフを清書し、影を描いて完成です。影は靴底の周辺やひもの下、背面側に描いていきます。

ロックテイストのアイテム

ネルシャツ

腰巻きでアクセサリー的にも使える、暖かな起毛素材を使用したチェックシャツ。色や柄によりさまざまな種類がありますが、ロックコーデにおいては赤を基調としたカラーリングのものが特に重用されます。

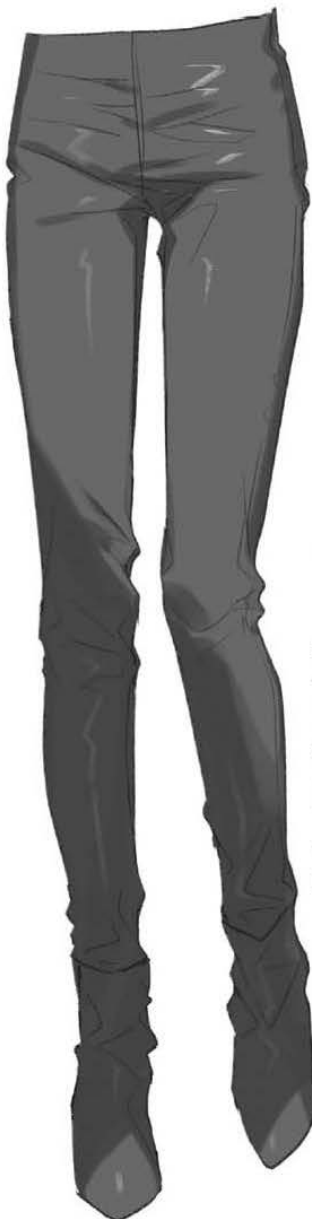
シースルートップス

肩から胸元にかけての生地がシースルーのものへと切り替えられている黒カットソー。シースルーの軽やかな透け感が黒色の持つ重厚な雰囲気を和らげ、エッジが効きながらも女性らしさを感じさせるデザインです。

カットオフショートパンツ

裾を縫製せず、切りっぱなしの状態にしたタイプのショートパンツ。脚の露出で軽やかさを出しつつ、あえて糸のほつれやダメージを残すことでロックな精神が感じられるワイルドな雰囲気にしています。

ブーツインレザーパンツ

革製のパンツは肌へと吸い付くように密着することから脚のラインがハッキリと表れ、また生地の光沢感やシワが独特な表情を作り出すのも特徴的です。ブーツインするとよりハードな雰囲気が増します。

ジョッキーブーツ

膝下丈のロングブーツの一種。もともとの用途である乗馬は欧米における貴族のたしなみであり、またその用具には強靭さが求められることから、エレガントな雰囲気とハードな質感を併せ持った独特の佇まいが特徴です。

Lessons 06

ゴシックテイスト

16 世紀エリザベス朝や 19 世紀ヴィクトリア朝のヨーロッパ貴族女性の服装をベースにしたファッションスタイル。黒を基調にした退廃的な色使いや、ドレス風の華やかな装飾デザインが特徴です。

ゴシックドレスコーデ

フリル状の装飾がついたブラウス、服の上に着る見せコルセット、レース柄のチュールとダマスク柄のスカートで構成したドレス風のコーデ。小振りなカクテルハットや装飾のついた傘を身に付け、淑女な雰囲気を出しています。

背面

①

②

③

POINT

ゴシックのポイント

①黒色をメインにする

服の配色の大半を黒が占めるようにするとゴシックらしくなります。加えて、ワインレッドやゴールドなど高級感があって黒に映える色を組み合わせると気品のある印象に仕上がります。

②ヨーロッパドレス風のデザインを盛り込む

腰の曲線美を強調するコルセット、デザイン性の高いスカート、フリルやレースの装飾など、中世ヨーロッパドレス風のデザインを服の各所に盛り込むと正統派ゴシックのクラシカルな華やかな装いになります。

③傘などの小物を使う

頭部にはカクテルハットやコサージュなどのパーティ向けの髪飾り、手にはリボンやレースで飾られた傘といった小物を持つと高貴なお嬢様感が出ます。傘は雨傘だけでなく透け感のある総レースの日傘を使うのも上品さが際立ちます。

ゴシックドレスの描き方

①人体とドレスのアタリを描く

人体のアタリと中心線を描き、肩や腰の位置を参考にして上半身のブラウス、腰のコルセット、下半身のスカートのおおまかなシルエットを描いていきます。

スカート部分は円錐状に大きく広げ、中央とサイドの生地に分ける

②ドレスのラフを描く

アタリを元に、全体のシルエットを整えながら、ドレスのラフデザインを描いていきます。

ブラウスのフリル、袖口や腰のレース模様、スカートの花柄など全身の飾り付けを考えながら描く

③スカートに柄を入れる

スカートを清書して柄を描き込んでいきます。内側のスカートはダマスク柄のトーンを使って豪奢な雰囲気に。外側のレース柄は一つの花模様を描いてコピーします。

服の角度に合わせて向きを少しずつ変えて配置することで、全体に統一感を持たせることができる

④ブラウスを清書する

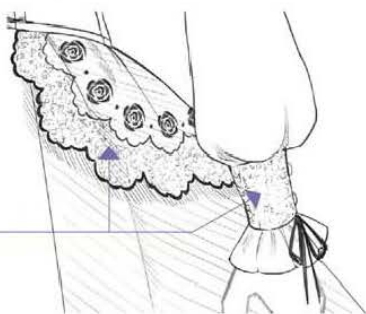
ブラウスの線画を整え、ストライプ模様を体のラインに沿って入れます。

ラインの形は袖や胴の中心に近いほどストレートに近くなり、外側にいくほど体の凹凸に沿った曲線を描くようになる

※影が見やすいようストライプ柄を非表示にしています。

⑤細部を描き込む

フリルやレースに立体感、浮遊感を持たせるため、シワと影を描きいれます。

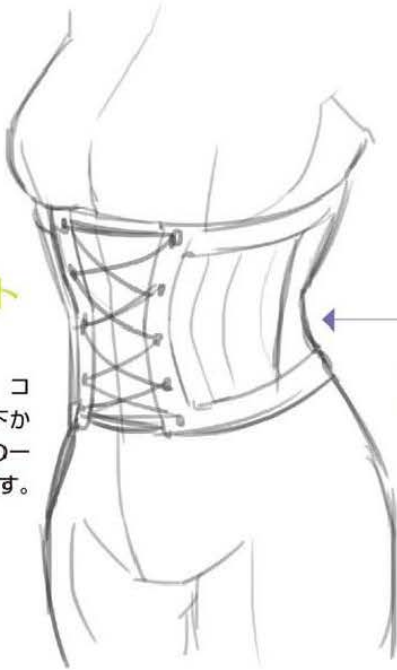
手首のカフスやスカートの腰まわりのレースは、手描きで不規則な線を細かく描き入れると質感が出る

⑥仕上げて完成

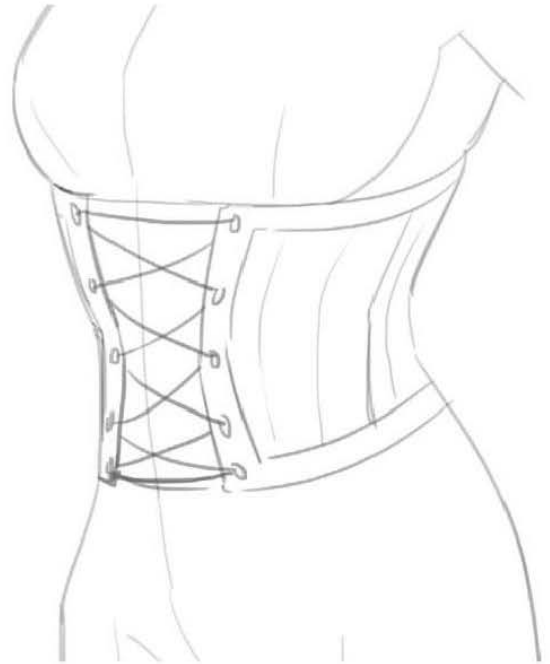
チュールが重なっている部分など細部の影も描いていき、全体のバランスを見て完成です。

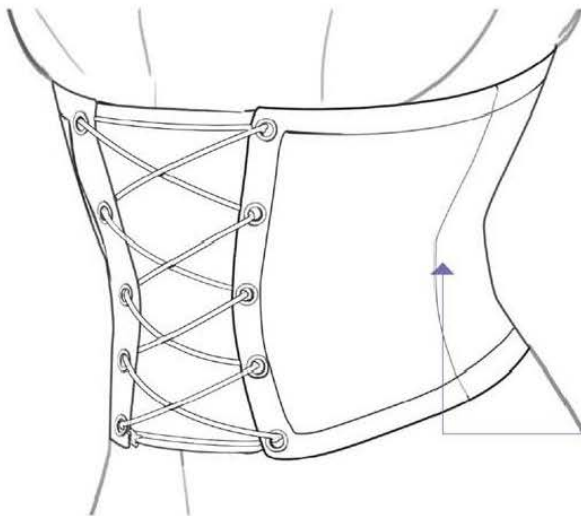
透けているチュール部分には斜線を描いて黒系の色味を表現する

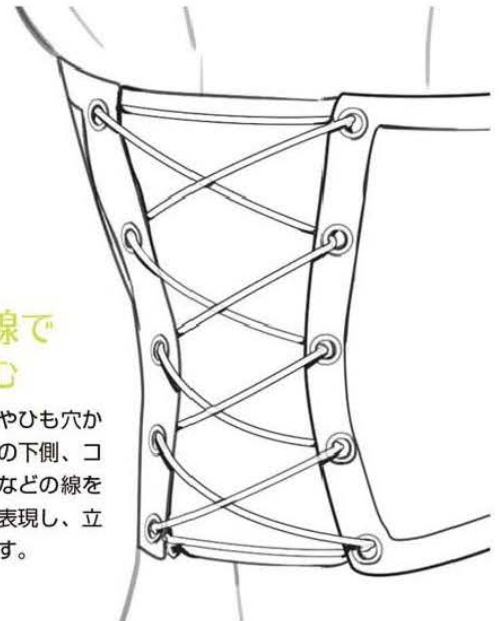
コルセットの描き方

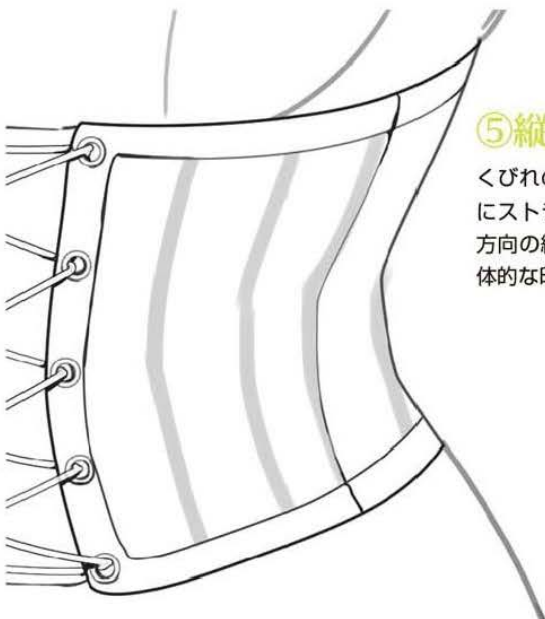
①腰とコルセットのアタリを描く

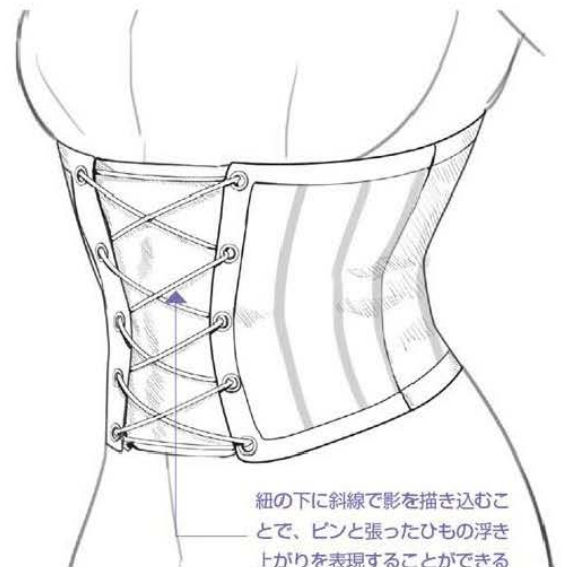
まず体のアタリを描きます。コルセットはちょうど胸の真下から、下腹部のやや上あたりの一帯を覆うように描いていきます。

②ラフを描く

アタリを参考に体とコルセットのラフを描きます。前面にはひもを通す穴を等間隔に描いてクロスする紐のおおまかな位置も描いておきます。

③コルセットを清書する

コルセットを引き締める紐は胴の中心線に近い位置でクロスさせます。紐は並行する２本の線で描き、紐が重なった位置に影を小さく落として立体感を出します。

④影を線で描き込む

ひも穴の内側やひも穴から出ている紐の下側、コルセットの縁などの線を太くして影を表現し、立体感を出します。

⑤縦のライン柄を描く

くびれの形に沿ってコルセットの生地にストライプ模様を描き入れます。縦方向の線を入れることで、細身かつ立体的な印象を与えることができます。

⑥仕上げて完成

背中側には縁に沿った部分とくびれの中央に斜線で影を入れ、立体感を出して完成です。

ゴシックスタイルのアイテム

フリルブラウス

段になった襟飾りや、ふんだんに使われたレースが豪奢でクラシカルな雰囲気を出すフリルブラウス。お姫様感のあるラッパ状に広がる袖飾りは、アンガシャント（中世ヨーロッパドレスの飾り袖）を原型にしています。

ティアードスカート

ティアード＝重なったという言葉通り、ギャザーやフリルの生地を数段重ねたスカートです。かさのあるフリルが段状に重なることによって、中世ドレスのようなボリューム感のあるシルエットになります。

アシンメトリースカート

左右で形状やデザインが異なる、地面に対してスカートの丈が平行でないなど、左右非対称のスカート。アヴァンギャルド（先鋭的）なデザイン性がゴシックらしい退廃的な印象を与えます。

軍服ワンピース

前面のボタン、肩、袖口などに軍服風のデザインを盛り込んだワンピース。男性的でシンプルな構造ながら、膨らんだスカートのシルエットがかわいらしく、かわいさとかっこよさを兼ね備えたスタイルになります。

エスニックテイスト

中南米や東南アジア、アフリカなどの民族衣装をモチーフとしたアイテムを用いた、異国情緒を感じさせるスタイル。ふんわりとしたシルエットをしつつも装飾性が強く、独特の柄や色使いなどが個性的です。

エスニックマキシコーデ

ひし形などの幾何学模様が並んだマキシワンピースを主体に、天然石や羽根をあしらったヘアバンドやアクセサリー、フリンジのついたショートブーツでボヘミアン風※に仕上げたコーデ。大きく開いた背中が爽やかな夏向きの着こなしです。

※ボヘミアン：主にヨーロッパで移動放浪しながら暮らす民族を指した言葉。

背面

②

③

前面

POINT

“エスニック”のポイント

①民族風の柄とカラフルな色遣い

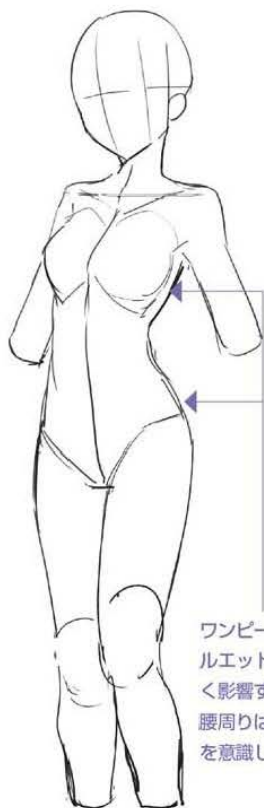
エスニックアイテムの最大の特徴といえば、ペイズリーやトライバルなどの大胆かつ独特な柄使いや派手な色彩などが生み出す抜群のインパクト。美しいターコイズブルーのドレスなど鮮やかな色合いの服全面に民族柄が配されることで個性的な姿へと変貌します。

②自然の素材を使った小物を合わせる

天然石や植物、羽根などの自然素材を使用したアクセサリーも独特な雰囲気を構成する上での大きな要素です。他テイストには見られない特徴としては、重ね付けや複数箇所の装飾が基本となる点が挙げられます。

③フリンジを織り交ぜる

フリンジは房状の革紐が揺れ動く飾り。民族調な装飾のなかでも代表的なもので、モード系のジャケットなどにもアクセントとして施されることがあります。足元など、動きのある部位に使うのが効果的です。

エスニック風マキシワンピースの描き方

ワンピースのシルエットに大きく影響する胸や腰周りは立体感を意識して描く

①全身のアタリを描く

顔から足元まで、ワンピースを描く範囲の体のアタリを描きます。顔や体の中心線、鎖骨、胸の形など服を描く目安になる線を加えていきます。

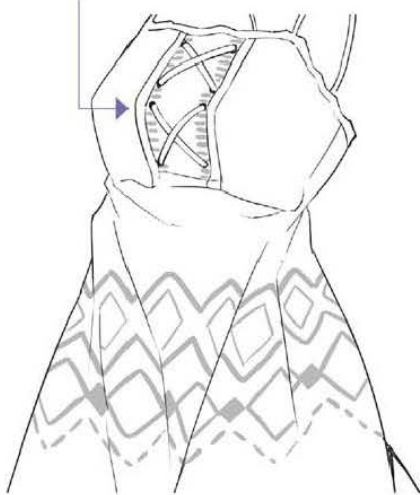
②ワンピースのラフを描く

肩ひもと胸周りの線を描いてキャミソール状のトップス部分を、胸の下から足元にかけて円錐状の線を描いてスカート部分のラフを描いていきます。

胸の下や腰から下にかけてシワも描き込んでいく

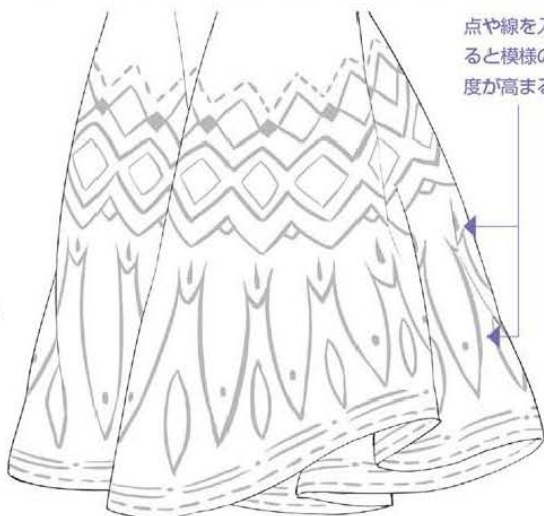
③アウトラインを清書する

②のラフを清書していきます。体のアタリはあくまで参考程度でそれに囚われず、ワンピースのシルエットが細くきれいに見えることを重視して線を整えていきます。

胸のひも状の飾りの位置にも小さく色を並べていく

④エスニック柄を描く

腰の位置からスカート部分にひし形状の図形を並べた幾何学模様を描いていきます。服のシワの形にあわせて図形がズレるように並べていきましょう。

⑤スカートの柄を描く

膝の高さから裾にかけての範囲にも柄を描いていきます。裾側の柄は模様を変えて、細長い葉が伸びているような曲線混じりの図形を並べて雰囲気を変えています。

⑥仕上げて完成

胸の下やスカートの生地が重なったシワの間などに影を描いて完成です。幾何学模様に限らず、さまざまな民族風の柄を合わせてもエスニック風に仕上がります。

エスニックテイストのコーデ＆アイテム

カフタンドレス

イスラム文化圏で着用される、清涼感のある生地でできた足元ほどの丈の民族衣装「カフタン」を模したドレスです。Ｖネックと独特なゆるいシルエットの組み合わせがエキゾチックな雰囲気で、１枚で着ても様になります。

カジュアルエスニックコーデ

へそ出しのカジュアルスタイルをベースに、エスニックのエッセンスが感じられるアイテムを全面的に取り入れていったコーディネート。トップスはあえてシンプルにすることで、柄同士をうまく調和させています。

ロングスカーチョ

裾にかけて広がっていき、一見するとまるでスカートのようなシルエットのワイドパンツ。その特徴的なラインは脚を美しく見せる効果があり、また民族柄が入ることで個性的な雰囲気がより増します。

チュニックワンピース

膝丈ほどの長さで、少しゆるめの雰囲気が特徴的なトップス。ウエストの装飾や裾に入った民族柄がシンプルな表情のなかに変化を生みだしており、個性的な重ね着スタイルを作りたいときに重宝します。

ポンチョコーデ

フォークロア（民族調）な雰囲気漂うポンチョを主役にしたコーディネート。ショートパンツを組み合わることで全体に軽やかさが生まれ、民族的な印象が強調されながらもスッキリとカジュアルな印象にまとめています。

トライバル柄ベスト

ポリネシアの国々の部族間で用いられてきた幾何学的な柄をあしらったベスト。１枚羽織るだけでもインパクトがあるベストは、シンプルコーデのアクセントとして他のテイストとも組み合わせやすいアイテムです。

ロングガウンコーデ

膝まで達するほどの長さのガウンをあわせたコーディネート。トップスとボトムスをタイトなものにすることで、その上へ羽織ったガウンの魅力であるドレープ感が最大限に活かされています。

Lessons 08

クール系のエトセトラ

クール系のメイク道具はスマートで洗練されたイメージを反映した黒ベースのデザインをピックアップ。髪型は落ち着きや大人っぽさを重視し、ポーズもやや年齢層を上げて社会人風にまとめています。

メイク道具

化粧ポーチ

黒いエナメルポーチにゴールドの金具があしらわれたシックなデザイン。ファスナーのスライドは惑星モチーフになっており、ポーチの側面にも星をモチーフにしたストーンが光っています。

口紅

上品でベーシックな印象の口紅。濃い赤のセクシーなルージュが非常に大人っぽい雰囲気を持たせます。持ち手部分にはブラックベースにラメがちりばめられ、星空を連想させるデザインになっています。

フェイスブラシ

羽扇を思わせる、優雅なデザインのフェイスブラシ。毛束は白く、清潔な印象を与えます。持ち手部分の夜空をイメージしたラメに、女性らしさを感じます。

ファンデーション

全体のイメージカラーに合わせたファンデーションのコンパクト。やや暗めのファンデーションが、落ち着いた大人の女性の雰囲気を醸し出します。

アイシャドウ

アイライナー、ダークカラー、ライトカラー、ハイライトと、アイシャドウを描く際の一式がそろったセット。スリムでデザイン性の高い形状から、デキる女風の性格がにじみ出ます。

チーク

ふたを閉めるとチーク色の惑星が現れるデザイン性の強いチーク。キラキラと輝くラメと、土星をイメージした惑星チークが遊び心にあふれます。チークの色は汎用性の高い血色カラーなところにもクール系らしい実用性の高さが表れています。

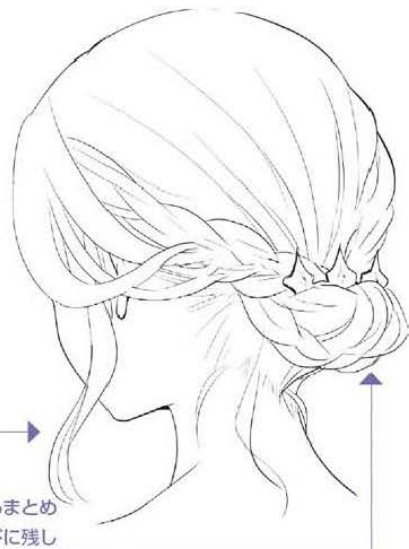
ヘアスタイル

前髪かきあげロング

前髪を立体的にかきあげ、ムースで固めて爽やかに仕上げたヘアスタイル。後ろ髪は大胆にカールさせながらも、すっきりとしたおでこが清潔感のある大人の女性らしさを感じさせます。

髪と毛束の間に隙間を作ってカールさせたアレンジのかかり具合を表現する

アップヘアアレンジ

ロングヘアを後ろでまとめ、前髪をサイドから後方へ編み込み全体の印象をすっきりさせたアップヘアアレンジ。気品とかわいらしさが両立しており、エレガントスタイルやモード系、クール系のさまざまな髪型に似合います。

ボリュームのあるまとめた後ろ髪やサイドに残した長い毛束で女性らしさを印象付けている

ミディアムボブ

長い前髪をサイドに流して額見せした大人のミディアムボブ。行動力のある、仕事のできるお姉さんといった雰囲気の髪型です。

毛先にアレンジを加えてボリュームを持たせることで、躍動感がありながら整った雰囲気を醸し出している

着替えポーズ

シャツに袖を通す

袖に腕を通しながら反対の手でシャツを引っ張っているポーズ。腕を通している途中の袖は生地が寄り、くしゃくしゃのシワができています。

パンプスを履く

重心を前にのめらせ、パンプスのかかとを引っ張って履いているポーズ。難しいポーズですが、最初に軸足の右足と上半身を描き、パンプスを引っ張る左手までを描いた後に曲げた左足を描くとデッサンの崩れを防ぐことができます。

シャツのボタンを留める

うつむいてシャツのボタンを留めるポーズ。ボタンを留めるために引っ張っている箇所を中心に、引っ張りジワや凹みジワを描き入れましょう。

ブラのホックを留める

腕を後ろに回してブラのホックを留めるポーズ。両腕を後ろに引いた影響で上半身がやや前のめりになり、顔が自然とうつむいたような態勢になります

第5章
ルームウェア
＆アウター

ルームウェア

外ではさまざまなファッションスタイルに身を包む女の子たちも家の中ではリラックスできるルームウェアに着替えます。服だけでなく履き物やまとめ髪など、くつろぎのスタイルにも個性が表れます。

もこもこパーカー+ショートパンツ

もこもことした素材で作られたパーカーとショートパンツのセットは、近年特に人気のあるルームウェアスタイルの一つです。パステルカラーのボーダー柄がかわいらしく、女の子な気分を盛り上げてくれます。

前面

スリッパと同じように動物モチーフのアクセサリーをヘアピンに使って服装に統一感を

手が隠れるほどの長袖でかわいらしさをさらにアピール

背面

パーカーの裾はショートパンツの裾近くの位置まで描いてトップスをややオーバーサイズ気味にする

おすすめアイテム

もこもこソックス

パーカーやショートパンツと同じく、もこもこの素材で作られた靴下。足先の冷えから体を守りつつコーデ全体のかわいさをさらにアップさせます。

ネグリジェ

ワンピースのような形状の一体型のルームウェア。清楚でクラシカルな装いながらオフショルダーの肌見せで北欧の森の妖精のような雰囲気を醸し出しています。お嬢様タイプのキャラやおとなしめの上品なキャラに似合うスタイルです。

おすすめヘアスタイル

サイドまとめヘア

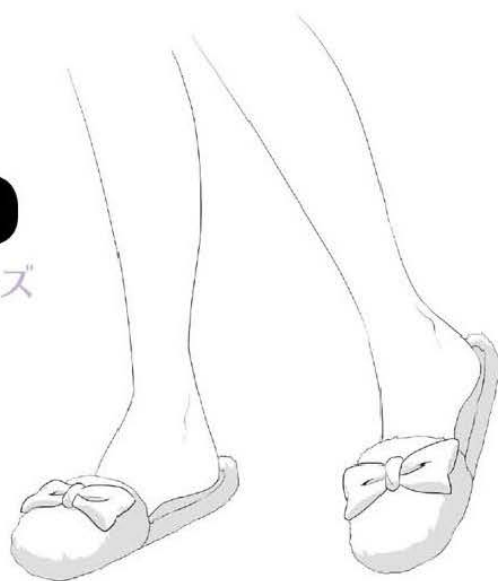
後ろでひとつ結びにまとめた髪を、片方の首横から前へ流したヘアスタイル。大人っぽいながらもほどよく肩の力の抜けた、優しそうな雰囲気が生まれます。

パジャマ

寝間着の定番であるパジャマは、しなやかさとハリを感じさせる風合いのものだと品のある雰囲気が増します。ピンクのカラーリングはもちろん、丸めの襟や白のパイピング（縫い目の飾り）が女の子らしいキュートさを強調しています。

おすすめアイテム

リボンルームシューズ

甲を覆う部分にリボンがつけられたタイプのスリッパ。もこもこ感のある素材だと女の子らしい印象がより深まります。

カジュアルリラックスウェア

パーカー＋カットソー＋ショートパンツの、少しラフながら女性らしい色気も感じさせるルームウェアスタイル。スタイリッシュな印象に仕上げやすいため、大人っぽくクールなキャラクターにピッタリです。

おすすめヘアスタイル

おだんごヘアバンド

髪を後ろ側で球体状に結わえたヘアスタイルに、やわらかな生地のヘアバンドをプラスすると大人のリラックススタイルな雰囲気に。

ルームウェアのバリエーション

ボーイフレンドシャツ

メンズ向けのものを着ているような、大きめなサイズのシャツを身にまとったスタイルです。ダボッとしたシルエットが無防備感を演出します。

フィットネスウェア

スポーツウェアを部屋着としても活用した、実用性重視のラフなスタイル。サバサバとした印象やアクティブな雰囲気が強まります。

おうちヘアアレンジ

ポンパドールポニー

ポンパドールとは前髪を上げ、膨らみを持たせながら後ろでまとめた髪型のこと。まとめ髪はポニーテール風に結えるとかわいらしい雰囲気が増します。

サイドの毛を残すと女の子っぽくなる。ポニーテールは毛先を巻いてゆるいアレンジ風に

ゆるおだんごヘア

後ろ髪を持ち上げ、だんごのような丸状の形へとゆるめに結わえたヘアアレンジ。ナチュラルなリラックススタイルを演出します。

サイドの髪をボリューム多めに残しておくことで女性らしさも演出

前髪アップアレンジ

前髪を上へと持ち上げてから結わえ、後ろへと流したヘアアレンジ。おでこが出ることでスッキリと大人っぽい印象になります。

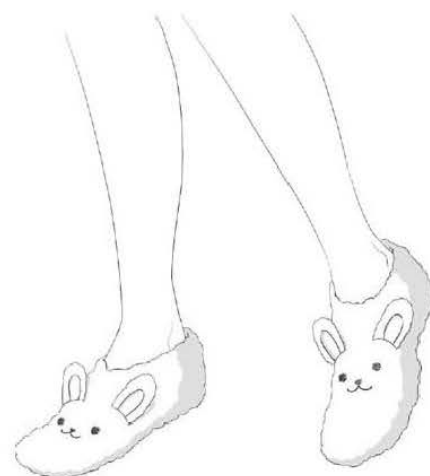
アレンジした髪がゆるやかにウェーブを描き、毛束が重なり合ってボリューム感を出している

ルームシューズ

レッグウォーマー

膝下から足首にかけての範囲を包む防寒具。もこもことした質感のものが多く、ショートパンツやハーフパンツなど丈が短いボトムスと合わせるとアクティブ感がありつつかわいらしいスタイルになります。

アニマル顔スリッパ

うさぎやパンダなど動物の顔を模したスリッパ。生地がふわふわとしていて暖かく、見た目もキュートでかわいさと実用性を兼ね備えたアイテムです。

動物の足ソックス

動物の足を模したソックス。虎のような肉食獣や恐竜などがモチーフにされることが多く、足先には爪の飾りがついています。レッグウォーマーのような防寒性を保ちつつキュートに見せてくれます。

コート

冬の装いを描く際に欠かせないコート。ここでは代表的であり、かつ汎用性の高いものを６タイプ紹介します。描くキャラのテイストや合わせる服装に合わせて、似合う１着をチョイスしましょう。

コートの種類

ピーコート

主にメルトン生地で作られる、ダブルの前合わせのコート。本来は膝丈ほどが標準的ですが、近年はショート丈のものが安定した人気です。パンツならショート丈〜膝丈、スカートならショート丈が似合います。

ダッフルコート

主にメルトン生地で作られ、トグルという留め具が特徴的なフード付きコート。トグルとそれを通すためのループ紐、その縫い付け方にもさまざまな種類のものがあり、その組み合わせでも表情が変化します。カジュアル系やガーリー系と相性がいいコートです。

ロングダウンジャケット

膝上ほどの長さのあるダウンジャケット。通常の腰丈のダウンはカジュアルな印象ですが、丈が長くなりウエストにも若干の絞りが入ることにより、クール系の服に似合うラグジュアリーな雰囲気が増します。

トレンチコートコーデ

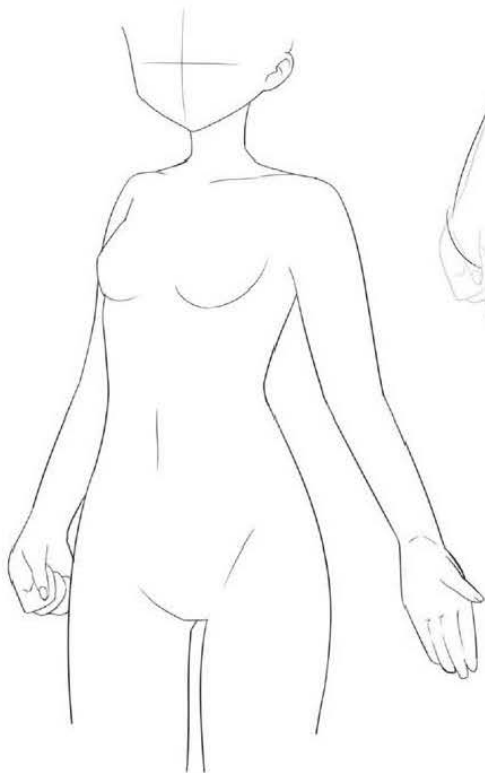
世代を問わず安定した人気を得ているトレンチコートは、ウエストのベルトをしっかり締めると女性的なラインが強調されます。全体的にカッチリとした雰囲気ですが、ベルトの締め方を工夫することで外しを与えるのも面白くなります。

チェスターコート

テーラードジャケットのような作りで丈が膝上ほどの長さのコート。もともとはメンズ向けとして愛されてきたアイテムであり、クール系のテイストに代表されるスタイリッシュさやマニッシュな雰囲気を取り入れたいときに最適です。

モッズコートの描き方

①体のアタリを描く

体の上半身から太ももまでのアタリを描きます。鎖骨や胸、おへそなど服を描く上でおおまかな目安になる部位の線も描き込みます。

②コートのアウトラインを描く

アタリを参考にモッズコートのアウトラインを描いていきます。体のラインよりも少し外側をゆるやかな線で包むようなイメージで袖や胴のラインを描きましょう。

③細部やシワを描き込む

襟の内側の縫い目、コートの前立て、襟元や裾のドローコード、ポケット、袖口などを描き込んでいきます。

④襟のファーを描く

襟の形に沿うように雲のようなもこもこ波打ったアタリを描き、そのアタリ上に細かく毛先を跳ねさせたファーの線を描きます。外側だけでなく、襟の内側にもファーを描き込んでいきましょう。

⑤仕上げて完成

ファーに重なった襟の線を消し、ファーやシワなど細部に影を描いて完成です。寸胴気味なシルエットなため、腰周りには影を入れないところがポイントです。

モッズコート

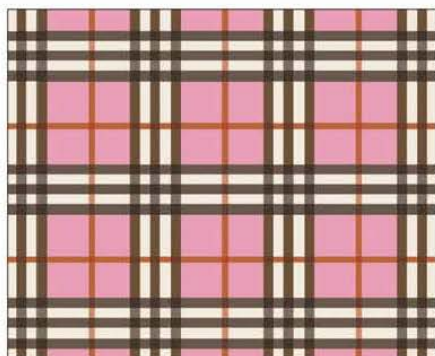
もともとは軍用のパーカーコートで「M51」の名でも知られます。裾などには防寒性を高めるためにドローコードと呼ばれる絞りひもがつけられており、これを利用してシルエットに多少の変化をつけることも可能です。カジュアル系を中心に着回しが利くアイテムです。

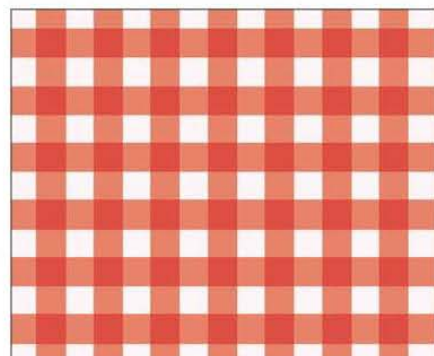
洋服の柄・模様

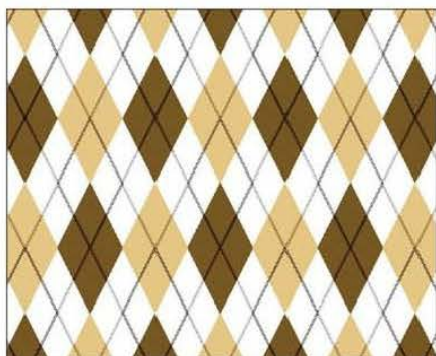
洋服の柄や模様は、規則的な線で構成されたものから花や動物の毛皮などたくさんの種類が存在します。数ある種類の中から、女性服で使用される機会が特に多いものをピックアップして紹介します。

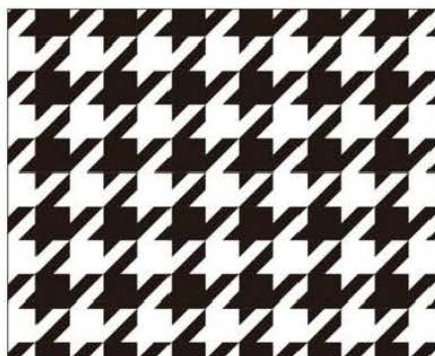
洋服の柄・模様

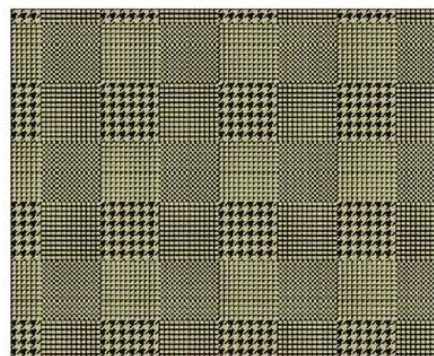
タータンチェック

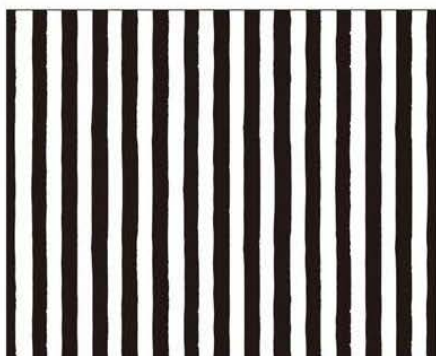
スコットランド発祥のチェック柄。チェックシャツやマフラーはもちろん、学校制服のスカートやアイドルの衣装にもよく使われます。

ノバチェック

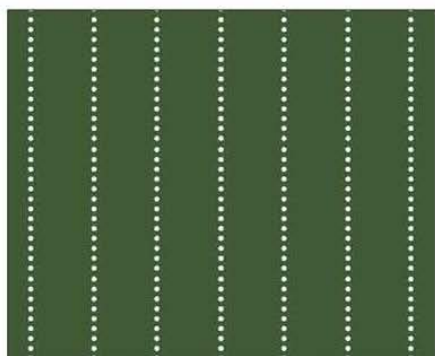
トレンチコートの裏地向けに生まれたチェック柄。清楚で上品なイメージを持つため、スカートやマフラーなどにも使用されます。

ギンガムチェック

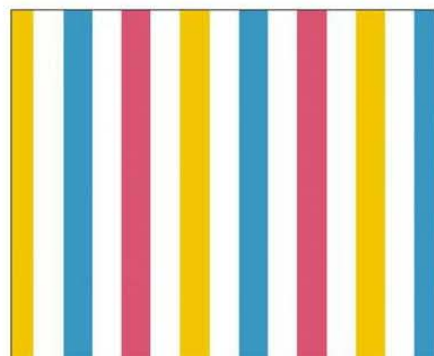
白地の上に縦横同じ太さの線をシンプルかつ細やかに並べたチェック柄。爽やかさやかわいらしいイメージを与えたいときに便利です。

アーガイルチェック

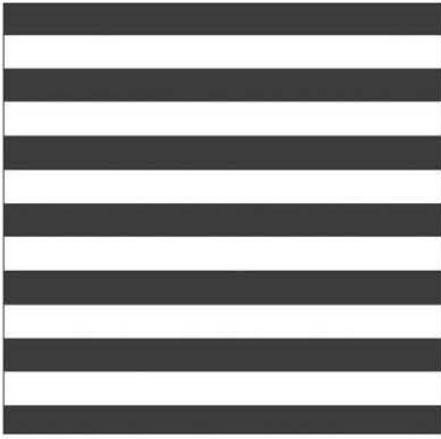
２～３色ほどのひし形を並べ、その辺に平行するように斜めの線が入ったチェック柄。ブリティッシュ調の優等生的な雰囲気が生まれます。

ハウンドトゥースチェック

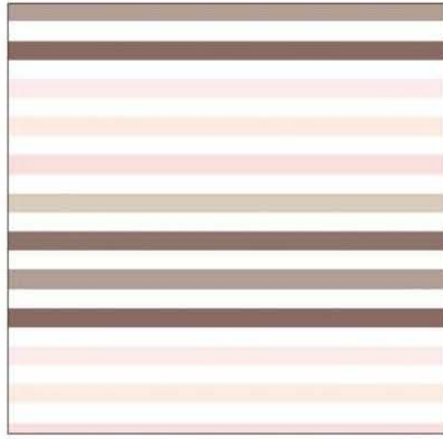
猟犬の牙を模した特徴的なモチーフを並べたチェック柄。トラッドやコンサバなど、シックで大人っぽいスタイルによく似合います。

グレンチェック

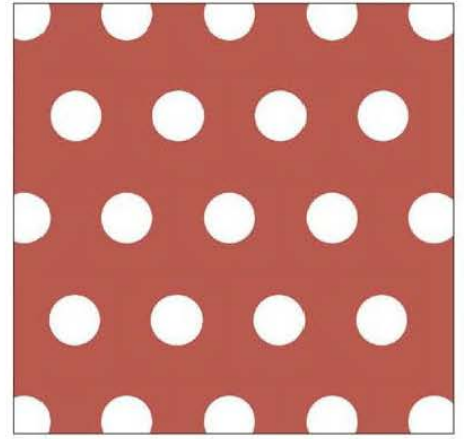
ハウンドトゥースなどの４つのチェック柄を規則的に並べ、その間に細い線を入れることで一つの大きなチェック柄としたもの。

ストライプ

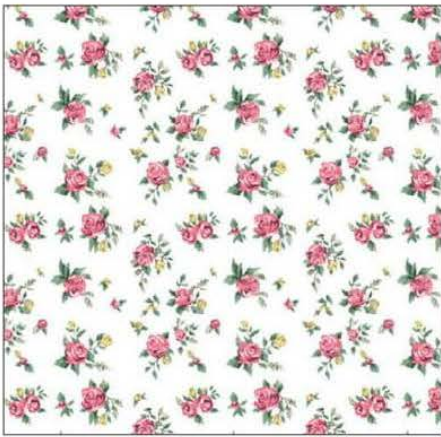
縞柄の総称で特に縦方向のものを指します。カッチリとしつつも爽やかさがあり、視線が上下へと流れるのでシャープな印象に。

ピンストライプ

ピンで打ったような細かな点が連なることで形成された線によるストライプ。メンズライクな印象が強く、クールなスタイルに最適です。

キャンディストライプ

パステルカラーの線を複数色並べたストライプ。まるでキャンディのような鮮やかさがポップでキュートなイメージを強めます。

ボーダー

横方向の直線を交互に並べた柄。カジュアルながらも自然な品のよさがあり、どんなテイストへも相性良く取り入れることができます。

マルチボーダー

複数色の線を並べたボーダーで、レトロで大人っぽい雰囲気が生まれます。パステルカラーのものはルームウェアの柄としても人気です。

コインドット

小さな円が並べられた柄。円が小さいと上品さやかわいらしい印象が、大きくなればなるほどアバンギャルドな雰囲気が生まれます。

花柄（小）

花柄のなかでも小さなモチーフを並べたもの。キュートながらも品があるため、女の子らしい清楚な印象を高めたいときに向いています。

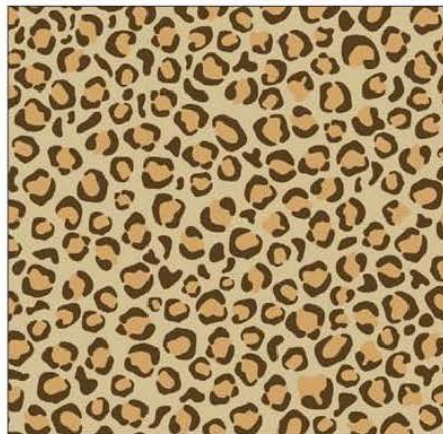
花柄（大）

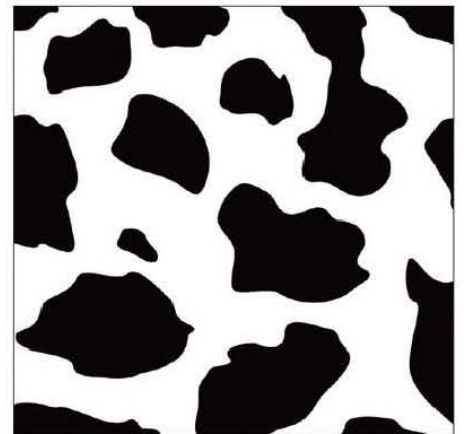
花柄のなかでも大きなモチーフを並べたもの。レトロながらも洗練された、大人の女性らしいイメージを高めたいときに向いています。

ボタニカル

葉や実、枝など植物全般がモチーフの柄。花柄と比べて大人っぽく、レトロな雰囲気やリゾート感を出したいときに適しています。

マーブル

大理石の模様のような、独特の滲み感や色ムラのある柄のこと。華やかで個性的なためリゾート感の強いコーデなどに向いています。

レオパード

黄色地に黒や茶の斑点を不規則に並べた、いわゆるヒョウ柄のこと。ゴージャスな雰囲気から主にギャルやセレカジで用いられます。

ダルメシアン

白色地に黒の斑点を不規則に並べた、同名の犬の毛皮を模した柄。レオパード柄よりも大人しく、ドット柄に近い感覚で使えます。

エスニック

民族的な柄の総称で主に東南アジアやアフリカ的なものを指します。異国情緒があるため、個性的な水着の柄としてもよく使われます。

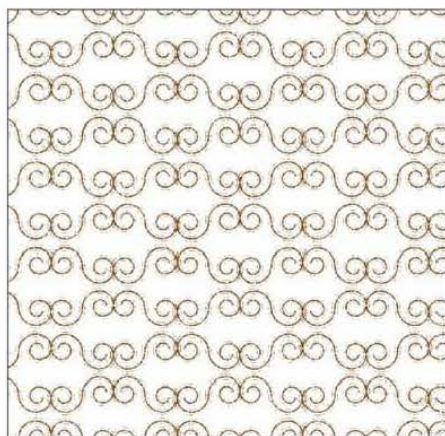
ペイズリー

インドで生まれイギリスで発展した生命力をモチーフとする柄。独特ながらも品があり、ワンピースなどで大胆に使われることも。

トライバル

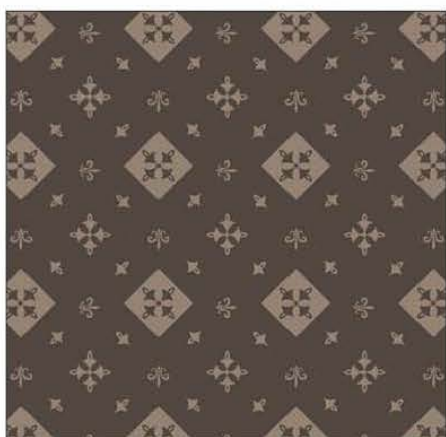
ポリネシアの島々の民族的紋様。エスニック系の柄のなかではシックな印象が強く、きれいめコーデのアクセントとしても使われます。

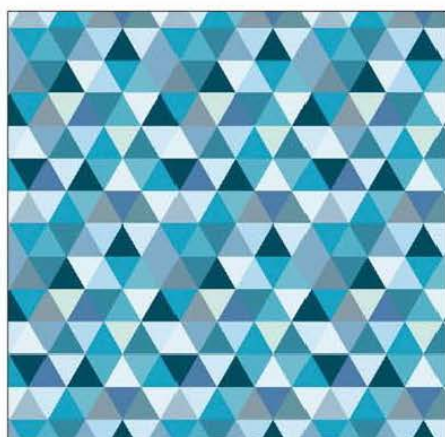
ダマスク

隙間を極力省いた形になるよう植物的なモチーフを敷き詰めたアラビア風の模様。エレガントなイメージを与えたいときに便利です。

アラベスク

動植物や幾何学的なモチーフなどを規則的に配置したアラビア風の模様。衣服はもちろん、スカーフなどの小物にも広く用いられます。

カモフラージュ

いわゆる迷彩柄のこと。基本的にはアースカラーが用いられますが、ピンクなどでポップなイメージを作り出したものも存在します。

モノグラム

複数の文字の組み合わせによって構成された図案を並べた柄のこと。高級ブランドやスポーツチームのロゴとして用いられます。

幾何学模様

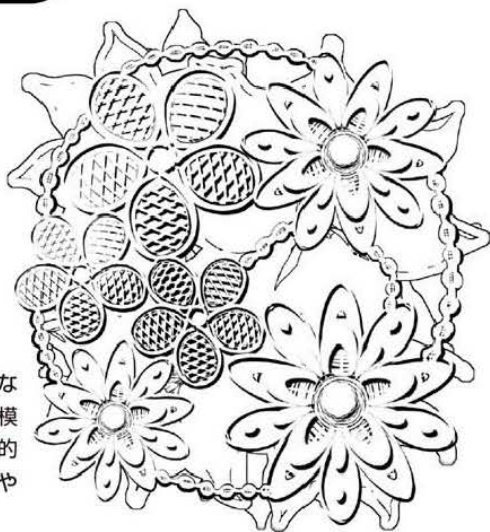
多角形や直線、曲線を規則的に並べることで構成された模様。色調や図案次第で、神秘的なものからサイバー調まで広く対応します。

具象柄

特定のモチーフを素材として並べた柄。イメージに沿ったオリジナルの柄を生みだすことで他にはない個性を主張することができます。

レース模様

花

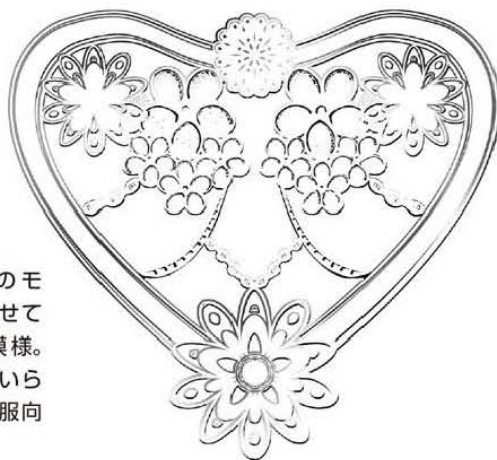
複数の花や周囲の葉などをまとめて１つの模様にしたもの。女性的でどんな服にも使いやすい万能模様です。

草・木

草や木をメインのモチーフにした模様。葉っぱの形や茎などを象っており、ナチュラル系のワンピースなどやわらかい服に向いています。

バラ

バラの花をモチーフにした模様。黒レースの服など大人の雰囲気が漂うトップスなどに向いています。

ハート

花や葉など特定のモチーフを繋ぎ合わせてハートを象った模様。ガーリーなどかわいらしさを強調したい服向けの模様です。

蝶

蝶を象った模様。花や草などそのほかの模様との組み合わせで使われることが多く、華やかさを強調します。

幾何学模様

特定の図形が規則的に並んだ模様。主張が激しくなく、シンプルに透け感だけを表現したいときなどに向いています。

Item Index

Illustrator Profile

はねこと
カバーイラスト、P6、42

http://tetrapot.weebly.com/
https://www.pixiv.net/member.php?id=2106422

R_りんご
P6、11～12、16、22～27

https://www.pixiv.net/member.php?id=1667545
http://r-ringo00001.tumblr.com

鴨見カモミ
P11、17、34、37～38、41

http://www.pixiv.net/member.php?id=711569
http://www.camomicamomi.com/

cocon
P30、110

http://www.pixiv.net/member.php?id=9992
http://oftns.jp/

佐倉おりこ
P6、17、46～53

https://www.pixiv.net/member.php?id=1616936
https://www.sakuraoriko.com/

SWAV
P9、11、13、81～83、85～87

https://www.pixiv.net/member.php?id=5130774
http://swav-taro.tumblr.com/

chimaki
（合同会社スリーペンズ）

P7、14、17～19、27、31、33、55～56、58～59、62～63、67、74～75、78、88～91、93～94、98～101、105、111～113、124～125、127～128、130～136、141

https://www.pixiv.net/member.php?id=56249

ちょこ庵
P7、9、13、16、60～61、104～105、114～117

https://www.pixiv.net/member.php?id=5955130

てるてる法師
P11～12、18、35～36、39～40、71

https://www.pixiv.net/member.php?id=3823720
http://teltelhousi.strikingly.com/

naoto
P11、13、64、66～67

http://naoto5555.tumblr.com/
https://www.pixiv.net/member.php?id=246106

ねむりねむ
P43～45、130～131

http://remoon.strikingly.com/
https://www.pixiv.net/member.php?id=1114585

珀石碧
P7、68～70、133

https://www.pixiv.net/member.php?id=15584364

はせがわ
P11、72～73、132、136～137

https://www.pixiv.net/member.php?id=10185679

ひづきみや
P7、9、11、16、96～97、100、122～125

https://www.pixiv.net/member.php?id=401332

星咲玲汰
P7、10、17、76、80、84

https://www.pixiv.net/member.php?id=5494559
https://hoshizaki-reita.jimdo.com/

popman3580
P16、102～103、106～107

https://www.pixiv.net/member.php?id=4403712

水溜鳥
P7、10～12、14～15、19、28～29、31～32、49、54、92、108～109、118～121、126

https://www.pixiv.net/member.php?id=595405

みらくるる
P65、74～75、77、79

https://www.pixiv.net/member.php?id=790821

本書の内容に関する質問は、下記のメールアドレスおよびファクス番号まで、書籍名を明記のうえ書面にてお送りください。電話によるご質問には一切お答えできません。また、本書の内容以外についてのご質問についてもお答えすることができませんので、あらかじめご了承ください。

●メールアドレス book_mook@mynavi.jp
●ファクス　03-3556-2742

デジタルツールで描く！魅力を引き出す女の子の服の描き方

2017年　8月26日　初版第1刷発行・電子版 ver1.00

●著者　スタジオ・ハードデラックス
●発行者　滝口直樹
●発行所　株式会社マイナビ出版
〒101-0003　東京都千代田区一ツ橋 2-6-3
一ツ橋ビル 2F
TEL03-3556-2736（編集部）
URL：http://book.mynavi.jp
●装丁・本文デザイン　松本優典、平山尚史（スタジオ・ハードデラックス）
●編集　石川悠太、茅根駿（スタジオ・ハードデラックス）
坂あまね（サイバーダイン）

デジタルツールで描く!
魅力を引き出す
女の子の服の描き方
かわいい服でドレスアップ!
洋服から靴、カバンまで女の子のかわいい服や小物を
ガーリー、フェミニンなどのスタイル別に解説!!
マイナビ